夕刊 滿洲日報 十一月廿九日 （昭和二年十二月十五日 第三種郵便物認可）

露支和平交渉地は結局大連に決定しやう

全權　支那側　哈爾賓籌備處長　蔡運升氏　勞農側　元哈爾賓總領事　メリニコフ氏

【ハルビン二十八日發電】東鐵問題に關する奉露間の原則的取決め成るとの報に依り北滿の勞農國民は愁眉を開く、露支交渉地點につきロシアはハバロフスクを指定してゐるが支那側は通信其他の點に於て同地を不便としてゐるので結局大連、奉天、哈爾賓、滿洲里の内大連に落つくだらうと、交渉全權は支那側はハルビン籌備處長蔡運升氏、ロシア側は元哈爾賓總領事メリニコフ氏と傳へらる、尚細目交渉は幾多の紆餘曲折を經るものと見られてゐる

支那側の解決案

第三國を加へ實地調査

【南京廿八日發電】王正廷氏は露支紛爭解決のため廿五日ドイツ政府を通じてロシアに左の妥協條件を提出した旨本日外交部より發表した

一、露支兩國は同數、第三國より一名を選び共同調査委員會を組織し實地調査をなした上双方の責任を明かにす

二、ロシアが右提案を應諾せば兩國軍隊は直ちに現在戰線から三十哩を後退す

三、双方共責任回避又は相手國非難の如き言動を一切中止し第三國の正當なる判斷を待つ

四、斯くて東支鐵道其他一切の懸案を解決する

兩國とも駈引多く

露支交渉の前途は多難

【ハルビン特電二十八日發】露支交渉の氣運は奉天を中心に動いてゐるが交渉の形式と面子に引つかかり今や協議を重ねてゐる、ロシアは支那國防軍の内兜を見すかし最初聲明せる原狀の回復を撤棄せず支那の具體的誠意の披瀝があるまで交渉に應じない、その誠意とはソウエート管理局長の無條件就任にある、支那は外交手段として米國に信頼せんとしてゐるがロシアは期待しない、且つロシアは今回の支那が採つた軍事行動に反撃を與へる用意を有してゐる支那は表面は和平を主張せるも海拉爾以西の勞農軍の撤退を眺めては再び强腰となり勞農軍の軍事行動はこれ以上に出ぬと限度を知り高を括り交渉は容易に進捗せぬと觀られ、若し交渉する場合は第三國の居中調停を避ける意思である

前線の支那兵進出

勞農軍國境撤退を見て

【ハルビン特電二十八日發】ハイラル以西に勞農軍の隻影を認めずとのことで一時狼狽して潰走した支那軍はハイラルに一ヶ旅を派遣し前線には諸部隊を派し勞農軍の狀況を偵察せしめつゝあり札來諾爾滿洲里の奪回は刄に衂らず容易に行へるであらうと

英國支那の好意

駐英公使の依頼に

【パリー二十七日發電】ロンドンよりの來報に依れば英外相ヘンダーソン氏は本日駐英支那公使より露支紛爭に關する南京政府の依頼を受けたが之に關する回答を保留せるも英國は支那側の希望に好意を有し居り成行は注目されてゐる

對露强硬主義の呂督辦辭任せん

和平機運濃厚に伴ひ

【ハルビン特電二十九日發】露支紛爭の種を蒔いた東鐵督辦呂榮寰氏の位置が問題となつて來た、氏は對露强硬論者でこれまで十二分に交渉成立し得る機會があつたのに徒らに時期を失し大軍を損傷するに至つた、これは明かに呂督辦の政策の失敗であると反呂熱が擡頭して來た、從つて氏の辭職は時の問題である之に次で對露政策に種々なる役割を演じた張國忱氏も同樣辭職せねばならぬであらうと

外交權の奉天還元

【ハルビン二十八日發電】過去四ヶ月間に亘つてさしも紛糾した露支問題も愈々圓滿解決の時期に達したが奉露單獨交渉開始は一旦南京に移つた東北四省の外交權が實質的に還元した譯で此結果日本對東北四省外交關係は必然的に好轉

博克圖驛大混亂

博克圖機關庫撤退

【ハルビン特電二十九日發】ブヘト驛に廿八日午後二時勞農機八臺同二時三分五臺飛來し驛及び第二軍司令部を破壞し大混亂を呈してゐる、支那兵は算を亂して退却しつゝあり

【ハルビン特電二十九日發】博克圖驛の機關庫は札蘭屯に撤退し驛内にあつた列車一二等車は爆彈のため破壞された

軍縮開會式場

英上院皇族室

【ロンドン廿八日發電】ロンドン海軍會議出席のイギリス代表は來月二日マクドナルド首相より發表せられる筈であるが會議會場は最後の決定なきも開會式は多分上院皇族室の模樣である

小橋文相辭表提出

病氣其任に堪へずとの理由でけさ濱口首相を訪ひ

【東京廿九日發至急報】小橋文相は本日午前十一時病氣其任に堪へずとの理由にて濱口首相を訪ひ辭表を提出した

文相後任に田中氏

他の閣僚入替は行はず

【東京二十九日發至急報】文部大臣の後任は田中隆三氏に決定今日中に左の如く親任式を擧行さるる筈

從四位勳二等　田中隆三

任文部大臣

尚政府は單に文相の椅子を補充するに止める事となつた

田中新文相略歴

田中隆三氏は舊秋田藩士田中隆世の長男で、元治元年十月生れ明治二十九年家督を相續し、同二十二年帝大法科を卒業し農商務省に入り參事官、審判官、鑛山監督官となり後衆議院書記官法制局參事官、長崎縣書記官等を經て農商務省鑛山局長、行政裁判所評定官等に歴任し又一時辯護士たりし事もあり、退官後藤田組に入り、小坂鑛山長、本店常務理事等に擧げられ、尚曩に農商務次官たりしこともある、從四位勳二等で、秋田市より推されて衆議院議員に當選する事四回に及び現に其職にあり又秋田銀行、秋田水力電氣取締役である、かま子夫人は明治三年八月東京に生れ、長男隆一郎氏は明治二十三生れ東京帝大工科出身、隆一郎氏のふじ子夫人は明治卅三年生れ、小坂順造氏の妹で、次男隆二郎氏は明治廿八生年れ、帝大農科出身、藤田組兒島灣農場勤務、同氏の操夫人は明治卅七年生れ海軍中將齋藤半六氏長女で、尚此の外、孫チツ子（大正九年生れ隆一郎氏長女）同喜久子（同十二年生れ同二女）あり妹ヨネ（明治三年生れ）さんは秋田縣士族小野崎佑助氏に嫁してゐる

小橋氏辭任後の優遇考慮

【東京二十九日發電】小橋文相辭職後の優遇方法については安達内相が頗る心配し首相と協議の上遺憾なきを期する意向である、なほ大麻參與官は小橋氏の慰留に依り辭任を見合すに決した

小橋氏の辭任挨拶

【東京二十九日發至急報】小橋文相は濱口首相と午後一時よりの閣議に列席し自己一身上に關し種々釋明した後辭任の挨拶をなして辭去した

荻川放談（126）

惡夢なれ（其三）

もう宣傳の時期じやない、今度の經濟國難打破は、その困難と云ふ大事なるだけ、趣旨は既に國民に徹底したかと思ふ、況んや金解禁の現實問題は刻々に逼り來るとき、之に伴ふべき諸問題も亦現實として取扱はねばなるまい、そうして國民個人に對すべき緊縮の要諦は、之を其團體の働きに待つべしとは既に說いたところなるが、關東州及び滿洲の各地方でも、在留邦人に此活躍はこれあり、殊に新聞紙上に報ぜらるゝ撫、滿鐵社員婦人部の、之が爲に立てる如き、特に婦人團體なるがゆえに、之を歡迎し、之を尊重す。

◇

由來我婦人の社會的奉仕は乏しい、而も我等大和民族は斯うしたことを婦人に委ね、男子には須らく國家的事業に心身を傾投せんことを希ふべきにあらずや、云ふ勿れ、婦人にも國家的事業ありと、之は否認せぬ、されどこゝに云ふは家庭を營む婦人に就てのことなり、此意義に於て今度の緊縮には、最も多く婦人の力を借りたい、そうして堂々たる男子が、其緊縮の爲めに、やれ時刻の勵行だとか、宴會の改善だとか、緊縮ならずとも常に考えねばならぬ事柄につき、浮身を窶せるを、婦人側からひつくり返してやりたいのである、これから考えると、公私經濟緊縮委員にも婦人を參加させたくなる。

◇

今更公私經濟緊縮委員に、婦人を參加せしめよとは云はぬが、亦これまでのような婦人では參加せしめても餘り喜しかるまいが、こゝに婦人團體が立つた、公私經濟緊縮委員會は直にそれと連絡し、其の持或は其指導を爲さねばならぬ、すべての民衆團體にも此事は必要である、併し婦人團體に期するところ多いだけ、それだけ同委員會の注意をこゝに傾注して欲しい、斯くならんには委員會に前編で述べた部門の設定、其部門による研究、其研究を以て常該團體に臨むの急務を感ずるではないか、そうして部門の研究は抽象ならずして、須らく具體のものたるべきなり。

◇

何んとあつても個人の緊縮は、消費節約を最先とす、これが山來てこそ、物價の高貴た喙を容れ得る、亦負擔の輕減に向つて口を挾むべし、家政社交を改善もせで、譯なく課稅の高率を呪ひ、失費の多額なるを喞つ如きは末なり、そこに家政社交の改善方法が、婦人によつて考案さるべし、婦人團體によつて實行さるべし、進んでは緊縮から來る失業なんかも、或程度迄は婦人の手に拯はれたいものである、こゝに濱口内閣の經濟國難打破に共鳴し、其運命を氣遣ふに方り、端なく起つた感想を語つて爾か云ひしのみ。

疑獄事件と研究會改革派

【東京廿九日發電】貴院研究會は二十八日午後茶話會を開き疑獄事件の進展につき意見交換する所あつたが、席上曾我、大河内子等は研究會の一部にも疑惑高まり居る實情に鑑み疑惑の渦中に在る會員に潔白を證明せしむべしと驗類一掃の第一聲を揚げたが、全會一致的贊成を得るに至らず其儘散會したが、曾我、大河内子等の革正派は近く幹部に會見聲明問題につき進言すると共に司法權の徹底的發動を促すこととなる模樣で會員佐竹三吾氏に就ては有罪を待つて除名處分を提議する方針を決定して居り今後革正派の活動は注目を惹いてゐる が議論を紛糾する模樣である

大連の近接地に製鋼所設置陳情

市會委員滿鐵總裁へ

大連市會に於て可決された昭和製鋼所を大連近接地に設置する件に就て廿八日委員會を開いたが市より調査研究實行の事務を委囑され廿八九日中石本市長は右九名の委員と共に仙石總裁を訪問して陳情することゝなつた

度頗る寶國的なること明かとなつたので十二月二日第二次監察委員會を招集し彈劾することゝなつた

對支政策の要諦は日支共通の福利に立脚

現内閣は斷じて瓦解しない

近畿大會における濱口總裁演說

【京都廿八日發電】民政黨近畿大會に於ける濱口總裁の演說要旨左の如し

軍備縮小問題

我國の海軍々備縮小問題に關する態度は豫て確定不動の方針がある、即ち我海軍は世界の何れの國をも脅威せざると共に世界の何れの國からも脅威されざること、國際平和の精神を貫徹すると共に國民負擔の輕減を圖るべく絶對的に軍縮の實を擧ぐる事である、此主張により我海軍力は必ずしも英米より低きを厭はず只比率の限度は萬一の際我が國の存立を脅かされぬを要する

對支問題

對支政策の要諦は日支共通の根本的利害に立脚して百年の長計を定め當面の各問題に善處するにある、個々の問題に就ては不滿の點もあるであらうが眼界を廣くし靜かに考ふれば結論は自ら明かである大所高所に立ち互に疑念を避け胸襟を開いて東洋平和の維持、兩國の使命の遂行につき目標を定めて進むべきである

緊縮と金解禁

金解禁は國民經濟發展の行路に横はる第一の關門を突破し我國經濟をして世界經濟の常道に歸らしむるに過ぎぬ、今後益々國際貸借關係を改善し金本位制を擁護し財界の回復發展を圖るべく國民的努力をなすを要す、今尚ほ解禁時期尚早として悲鳴を放つ如きは時代錯誤と云はざるべからず

陰謀排斥と政黨政治

最近疑獄事件を利用して内閣倒壞を圖らんとの陰謀說を聞く政府は司法部の活動を何等制肘せざるのみならず益々司法權の威嚴を確立せんとす現内閣は斷じて瓦解するものにあらず國民は政黨の美點を認識するに先立ち政黨の缺點を見せつけられた感がある、斯くては政黨政治の信用を繫ぐ所以にあらず國民が政黨政治を信用せざれば我國の憲政は再び逆轉せざるを得ぬ若し今日の社會思想混亂の時に憲政の逆轉を見ば其結果は眞に恐るべきものであるべしと思ふ

現内閣彈劾聲明

政友緊急幹部會で決議

【東京二十九日發電】政友會は二十八日午後六時半より本部に緊急幹部會を開き時局問題につき協議の結果左の如き要旨の聲明書を決定發表し九時半散會した

國務大臣は天皇輔弼の重責に任ずるものなり、若し一閣臣國法に問はれんとし天下の疑惑を招ける時之を

奏請せる

總理大臣の責任は素より重大なり、小橋文相の免るべからざるを知るや濱口首相は内閣改造を行ひて時局を彌縫せんとするが如し、抑現内閣が十大政綱を揭げて政治の公明民心の作興、綱紀肅正を唱へながら文教の府に小橋氏を長たらしめし濱口首相の責任は斷じて免かるべからず、況んや若槻全權に對する疑惑未だ解けず渡邊法相の司法權濫用未だ糺されず疑獄の前途なほ幾多の

閣臣に及

ぶや知るべからざる時に於てをや、且つ十大政綱は畏くも曩に陛下に奏上せりと聞く、總理は自から省みて政治道德上何等責任なしとするか小橋文相は國民敎化總動員をなし國民精神の涵養を力說す、その國民を欺瞞したる罪斷じて許すべからず、之れ小橋文相獨りの責任に非ず、濱口首相は須らく上輔弼の重責に鑑み下國民に對する責任に顧み正に闕下に伏して罪を待つべきなり

外務省善後協議

佐分利公使自殺の爲

【東京二十九日發電】佐分利公使突如自殺の急報に外務省では日支通商條約改訂交渉を控へてゐるので大いに狼狽し、幣原外相は直に午前十時濱口首相を訪ひ此旨報告した

善後策を講じ一方省内では吉田、永井兩次官、有田、武富、堀田、松永等各局長參集重要會議を開いた

市長辭任口約は自治政治の反逆

區長有志輿論を喚起

二十八日石本鏆太郎氏が市長職を投出すとの聲が傳はつたが二十九日午前中に於ける市役所の空氣は表面何等平日と異るところなく市長の決意を訊せば屢々言明した如く紳士協約の趣旨に基き有給案を提出せしむるに其の道を以てせざれば提出し難いと頑張つてゐる、然し各派市議を繞る空氣は啻ならぬものがあり寄々密議を凝らしてゐる、一方區長間に於ては市役所は市民の自治機關であつて市會議員の市役所ではない、市民が關知しない所謂有給市長案の口約は一種の密約であつて市政を私し民意を反映しない自治政治への反逆である、故に石本市長は口約に束縛されず市民の市長として市民の前に責任ある措置をとるべしとする市長に好意を持つ區長が蹶起し寄々鳩首協議を重ねて區長大會を開くべく目論でゐると傳へられるが差當り約十名の區長有志が今明日中市長並に議長を訪問して有給案の經過と市長の決意を聽取したる上都合によつては市長に留任勸告を爲す模樣である

一部市民の市長擁護大會

之と同時に石本市長を擁護せんとする人達が市民大會に名を藉り市長有給案を主題とする演說會を來る日曜日間二三ヶ所に於て開催し大いに氣勢を擧ぐることに決定した、主催者は今日中に確定するが多分區長有志主催になる模樣である

治廢一方的宣言引込みの前提か

國民政府商議を要求

【北平廿八日發電】國民政府は英米駐在支那公使をして來年一月一日より自發的治法撤廢の積りなるも一方的宣言にて撤廢するは不法なる故速かに代表を派し商議せられ度いと通告したが、這は列國の絶對反對する所で且つ内亂鎭定に至らず北滿の形勢益々惡化の形勢に在るを以て當分隱忍の外なしとし誕廢棄の强がりを引込ませる前提と見られてゐる

汪精衛氏黨籍褫奪

【南京二十八日發電】國民政府では陳公博氏等改組派に對して斷然たる處置を取り只汪精衛氏に對しては黨の元老たるの故を以て寬大に取扱つてゐたが、最近汪氏の態

人事

▲エマーソン氏（技師）廿九日出帆榊丸にて上海へ

▲橋本關雪氏（畫家）同上

▲陳希濂氏（各省政治專員）同上

▲徐兆蓀氏（同）同上

▲ボンドリヤン氏（國際聯盟保健局新嘉坡支局長）廿九日入港大連丸にて來連

▲伍連德氏（東三省防疫總辦）同上

▲蔡鴻氏（南京政府防疫部長）同上

▲坂本一次氏（前大汽青島支店長）同上

▲田部章一氏（陸軍步兵中佐）外六名と共に靑島祝祭中のところ同上

▲三浦義秋氏（關東廳外事課長）二十九日朝來連英國領事館に駐屯英國大使訪問

大觀小觀

奉天側は、東支鐵道の原狀還元を條件として、勞農側と單獨交渉を開くことに屁古垂れた。

◇

一事は萬事。支那のことは、概ね斯くの如し。

◇

例の治法撤廢、一方的の宣言のみにて斷行も出來ぬとあつて、代表を派し商議せられたいと英、米駐在公使をして通告せしめたと。

◇

矢ッ張り氣になるか。

◇

田中隆三氏、小橋氏に更りて文相に親任さる。

◇

内閣の生命たる政策に破綻を來さぬ限り、政變などと騷ぐは尚早

◇

佐分利公使、突然の自殺。時局過勞で神經衰弱の結果とは哀悼の至り。

◇

殊に對支案件の山積せる秋において、邦家のためにも最大損失。

天氣豫報

（三十日）北西の風晴れ
日出 六、五一　日沒 四、三三
滿潮 前九、二五　午後 九、五五
干潮 前三、三〇　午後 三、一五

暴風警報解除　二十九日午前十一時三十分、南滿洲附近一帶の暴風警報を解除

わが佐分利駐支公使 箱根でピストル自殺す
ゆふべ宮ノ下富士屋ホテルで 原因は神經衰弱

【小田原廿九日發至急報】目下歸朝中の我駐支公使佐分利貞男氏は二十八日朝箱根宮ノ下富士屋ホテルに投宿したが、今朝六時半に至るも起き出でず、樣子が怪しいと見た女中がノツクしたところ、更に應答なきためドアーを破つて入り見たるに公使はピストル自殺を遂げてゐた、この旨屆出により所轄署では目下原因その他詳細取調中である（寫眞は佐分利公使）

夫人を喪つてこの方は味氣ない生活振だつた
急死を聞いて驚愕この上なく 外相、令姉ら急行

【東京二十九日發電】歸朝中の佐分利公使は帝國ホテルに滯在し幣原外相等と共に二十七日外務省に於て支那の形勢、今後の日支條約交渉方針等につき會議をなし至極元氣で自分の意見等をも陳述し

何等變つた 樣子もなかつたが、二十八日朝箱根富士屋ホテルに赴き投宿したが、今朝六時ピストル自殺を遂げたことを發見しホテルより直に外務省に急報して來たので幣原外相、吉田次官、有田亞細亞局長は驚愕措く能はず直に午前十時東京發、谷アジア第一課長、藤井人事課長、佐分利氏の令姉光子、公使の甥等は箱根に急行した、原因については外務省でも思ひ當ることがないので頗る不審に思つてゐるが、頃日來對支外交の經過につき憂慮してゐた樣子であつた、併し這は直接

事件の原因 とは思はれない、公使は往年關税會議事務總長格として日置全權に隨伴して北京に赴き活動中最愛のフミ子（小村侯の令妹）夫人を失ひ以來自ら本郷吉祥寺住職に頼んで戒名を貰ひ得度式まで行つて一生獨身生活を續けることに決心してゐた、その後各方面から妻帶を勸められてゐたが、公使はいづれもこれを一笑に附して取合はなかつた、そして單身支那公使として十月初め赴任し南京、北平を經て本月歸京したのである、公使は

家庭を持ず 常に帝國ホテルに宿泊し餘暇あれば箱根に出掛ける位のもので全く無味乾燥の寂寥たる生活を續けてゐるうちに自然神經衰弱に罹つてゐたものと見られてゐる

孤獨の 生活から箱根の如き雄大な大自然に接し發作的氣分からあゝしたことになつたのではなからうかと自分は想像してゐる、操行嚴格で人格の立派だつた氏を失つたことは返す〲も惜しいことである

略歴

自殺した佐分利氏は工學博士佐分利一嗣氏の令弟で明治十二年一月生れ、同三十八年東京帝大法科を卒業後外交官領事試驗に合格、外交官補に任じ露支佛各國に在勤、同四十一年十月外務省參事官に轉じ、同四十五年四月大使館三等書記官に任ぜられフランスに駐在、大正三年十二月二等書記官に、同五年十二月一等書記官に進み同七年五月外務書記官に任じ大臣官房人事課長を命ぜらる、大正八年講和會議全權委員隨員仰せつけられ、後外務省參事官となり次いで大使館一等書記官に轉じ米國駐在を命ぜられ、翌九年國際通信會議豫備會議隨員を仰せつけられ同十年大使館參事官に陞任し、華府會議全權隨員となり、同十三年九月外務省通商局長に任じ更に本年芳澤公使の後を襲ひ支那公使に任ぜられた、家族は亡兄一嗣妻みつ（明五、一生）同長男一武（明三二、六生）及びその弟妹がある

極めて冷靜な外交官だつた
『仲よし』を失ひ暗然として 大藏滿鐵理事語る

僕とは仲のよい友達でしてね、高等學校では二年先輩、大學では佐分利君は法科で一年先輩だつたが僕が歐洲旅行中も不思議に二人はよく出會つたよ、最初は昨年の暮モスクワで會ひ次に今年五月ロンドンでも會ひ

最後は 先日來滿した際に會つたのだが惜しい人物を殺したものだと思ふ、性格は外交官としても極めて冷靜な方で何が今度の自殺の原因であるか全く見當もつかない、學校時代は非常に快活なスポーツマンでボートが非常に好きでロンドンで會つた時もスカールを二隻も有つてゐて暇を得ては漕いでゐると云ふ風だつた、先日來連の際は晩餐を共にしたが林檎が大變好きで滿洲産林檎を口を極めて賞美し、南京に歸つたら大に滿洲林檎を宣傳する等と

悅んで 出發の際四籠も持歸つた程だつたが、今はそれも故人を偲ぶ悲しい追憶となつたよ恰度一昨日僕の家へ來た時撮つた記念寫眞が出來たので發送した所だつたがあの寫眞も遂に受取人を失つて了つたよ、頭腦の非常に緻密な調査的好きの男で近代支那に對しては可成り深い理解があり一時軟弱外交だ等といはれたこともあるが、これから幣原外相の

片腕と なつて大に働かうと云ふ今になつて君を失つたことは我が對支外交のため大きな損失であり、恐らく幣原さんが大きに力を落されたことだらう、最近では「僕も妻も亡くなつたしこれからは本でも澤山讀んで見聞を廣めて、政府が使つて呉れる限り働く決心でゐるよ」と語つてゐたが、君、實際悲痛な心持ぢやないか

珍らしく元氣な人
森少佐の談

過般の來旅に際し爾靈山戰蹟を案内した關東軍司令部の森少佐語る 佐分利公使が變死された事は全く夢のやうな話です、爾靈山に案内した折なぞは隨行の書記官等は自動車で普通の路を登つたがたゞ一人公使は私と二人であの松山の中の五町に餘る惡い坂道を眞直に頂上を極めたのでした、然も元氣で自動車から降りるなり手早くオーバを脱いで片手に持ち戰爭當時の模樣などを私に尋ねながら年にも似合はぬスパしこさでグン〱登られた元氣で快活で神經衰弱なんてそんなお方とはちつとも見えなかつた、私もこれまで幾十回となく戰蹟の案内をしたがあんな方は全く始めてゞした

いふべき言葉も出ぬ
神田內務局長談

餘りに意外な事で云ふべき言葉も直ぐには出ない、氏があの溫顏に微笑さへ浮べながら語られたのはツイ二週間前のことで私の目には未だあの時のことがハツキリと寫つてゐる、此度こそは懸案の日支條約改正問題も必ず解決出來るかと只管に期待したのであつたが皆水泡に歸して了つたわけである、全く此際に方つての此の變死はたゞ國家のため慘しいと云ふ外はない

惜みて餘りあり
今朝來連の 三浦關東廳外事課長談

來寧中の駐日英國大使サーチレー氏に挨拶の爲め二十九日朝九時五十五分列車にて來連の三浦關東廳外事課長を佐分利公使自殺の報をもたらし驛頭に出迎へると「それは夢のやうな話ですね、本當ですか」と驚きながら 先日公使が大連に立寄られた時は

非常に 元氣で、旅順戰跡を案內した時など爾靈山の麓まで行くと公使は自動車を降りて上衣を脱ぎ、シヤツ一枚になつて徒歩で、それも道のない急勾配を頂上目がけて眞直ぐに駈け登られ、我々が道路を歩くより遙に早く山頂に達し、歸りも同じく道のない急斜面を山麓まで一直線に駈降り隨行員を驚かされた、公使は一高時代から運動には非常に興味を持たれ、私共が一高在學中も時々母校へ來て

後輩に 話をされる序には必ず運動を奬勵されたもので、今度の旅行中も機會ある毎に運動を續けて居られた、別に神經衰弱などに罹つてゐられた模樣も認められなかつたし、例の日支通商改訂交渉に關しては沿線視察中にも朝早く夜は更くまで書類や參考書を見て熱心に研究を續けられ、時に自信の片鱗をも漏らされてゐた位であるから決してこの難問題を目の前に控へて煩悶の爲め神經衰弱に陷られた結果などとは考へられない 唯先年公使は

最愛の 夫人を亡くされて以來ずつと獨身で華かなるべき外交官としての生活に孤獨の淋しい影が搖曳してゐるかに餘所目に觀られたことは非常にお氣の毒に感ぜられてゐました、公使の自殺が果して事實とすればその原因の如何に拘らず、日支諸難問題解決に對する折衝の最適任者として內外より期待されてゐた丈けに、惜みても餘りある次第です

學生時代は運動の選手

【東京特電二十九日發】箱根に於て自殺した佐分利公使は三十八年帝大佛法科の出身で、同窓には前大藏次官黑田英雄、佐竹三吾、川崎第百銀行頭取、堀越日銀理事等多數の名士あり、學生時代はボートの選手で當年名コツクスとして其名を稱はれたものであるさうである、死因は不明だが先年愛妻を亡ひ且つ支那問題に關し憂慮の結果、神經衰弱に罹つたものだらうと友人達は云つてゐる

遺骸けふ歸京

【東京廿九日發電】佐分利公使の遺骸は多分本日中に遺族知友に護られ歸京のはずである

けふ彌生高女で正しい力の測定
體育の普遍化を圖るためと 關東廳の新しい試み

體育の普遍化を圖る爲めにはまづ體力を正しく測定調査せねばならぬと云ふので、文部省あたりが中心となつて新器具應用の體力測定を行つてゐるが、關東廳でも管轄各中等學校からこれを始めやうと云ふので、今廿九日午後一時から關東廳體育研究所の山本主事が彌生高女を振り出しに從來の（一）身長（二）體重（三）胸圍の各測定以外に（四）背筋力（五）肺活量（六）握力の測定をやりはじめた、即ち（四）の背筋力計はほんとうの人間の持つ力を測定し得る珍しいものである（五）のハツチンソン肺活量計は寫眞の如く自分の吐く息を以つて肺の活動量を示す器具（六）握力計もスメツドレー氏式と云つたものである、これ等を綜合して各個人の「正しい力の測定」が出來る結果となるのだと

受持教師に叱責された級友への同情休校
沙河口公學堂の高等科女生徒 教育界近來の不祥事

受持教師に叱責されて休校した級友に同情して沙河口公學堂高等科一、二年女生徒が同盟休校をしたといふ近來にない教育界の不祥事が勃發した、事件の起りは去る廿五日午後、同校に見學に來た旅順師範學堂生徒と同校の高等科生と

蹴球試合 があるため前記高等科女生徒一、二年（同一教室）は午後よりの授業である五時間目の中國文と六時間目の淸書時間を蹴球應援のため入れ替へて授業を行つたが、五時間目の授業終了直前、一年生徒朱淑英、鄒桂貞の兩名は受持教師楊宮升氏の許可なきうちに椅子を机の上に置き歸り仕度をなしたるため、兩名は楊教師より叱責され同日はそのまゝ歸宅したが翌廿七日は兩名のほか朱淑英の親戚關係にある二年生級長朱淑新及び朱淑珍の四名が

無斷にて 休校、更に廿八日は突然同教室の生徒十五名が休校し廿九日も引續き同盟休校を行つてゐるので、學校當局では大いに狼狽し小澤堂長以下各關係者が目下善後策を講究中である、右につき小澤堂長は語る 支那人の教育はなか〱困難なもので今回の事件も日本人の教師が起したものとすれば日支間の融合上問題となつたかも知れないが支那人教師であつたゝめそんなこともあるまい、生徒は日本人の教師には良く從ふが

支那人の 教師には時々不遜な態度を取ることがあつて持てあますことがあります、取敢ず昨日は登校して居る殘生徒には良く訓戒して置きましたが引續き休校するやうであれば父兄を呼び出し善後策を講じ生徒の登校を促すつもりであります

マネキン孃奉天に現る
年末賣出して

【奉天特電二十九日發】奉天においても年末賣出し期間中マネキンガールがショーインドに艷姿を現はし顧客の足を惹つけることになつた、それは市場正門前森島吳服店で十二月一日からの大賣出しを機會にこの程東京マネキン倶樂部に交渉の結果、同倶樂部のスター星瑠璃子、青木みどり子の兩孃が來奉し同店のショーインドに一日から五日間現はれるといふのであるが、早くも顧客の胸を躍らせてゐる

滿洲警備へ
獨立守備隊新入營兵 今夕、大連港外着

嚴寒を控へ滿洲警備の重任を双肩に擔はされた獨立守備隊第二期入營兵千百十五名は各師團より選拔されたもので何れも邦家のため、艱苦もなんのそのと意氣物凄いものがあるが一同は平尾、鈴木兩大尉に引率され、補充馬八十頭と共に去る廿六日大阪出帆の

御用船 宇品丸をもつて希望多く責任重い滿洲目指して出發したが、愈々本夜大連港外着、卅日午前九時より廿一番バースに繋留、上陸する事となつた、從來とかく歡迎者の少いうらみがあつたが明朝は旗を押立て聲をあげてこれらの新しく選ばれた

諸勇士 を迎へ樣ではないか？尚上陸と共に一同は關東倉庫に向ひ午後四時半よりは協和會館における歡迎會に出席すると

滿鐵で歡迎會

別項の滿洲獨立守備隊新入營兵に對し滿鐵では恒例により同日午後四時半より協和會館に全員を招待して歡迎會を開く筈で小日山理事歡迎委員長となり副委員長は宇佐美鐵道、保々地方兩部長、各課長および囑託將校等を接待委員として大に遠來の勇士達の勞を犒ふ筈である

對支外交上・非常な損失だ
大平滿鐵副總裁談

佐分利公使の訃報を聞し大平滿鐵副總裁を訪へば「僕も今その電報を見て驚いてゐるところだ」と冒頭して大要左の如く語る 公使は備後福山の生れで僕とは同郷で大名藝に通つてゐる當時からの知合である、氏の長兄一嗣氏は既に他界してゐるが次兄秋山廣太氏は大阪合同紡績の社長で關西の財界には

重鎭を なしてる人である氏のフランス語に堪能な事は有名なことで曾つて西園寺公がフランスに行かれた際などはその通譯の任に當つて非凡な才を認められ、外務大臣幣原男にとつては公私とも非常に惠まれた人であつたが、唯家庭の人としては夫人に先だゝれたゝめ一子もなく全くの孤獨の生活で惠まれずこの點が氏の

煩悶を 作つてゐたことではなからうかと思はれる、東京ではよく帝國ホテルに泊つてゐたが外出の際などホテルのボーイなどをよく連れて出たものだ過般上京の途次大連に立寄つたときは僕の自宅で公使と二人晩餐を共にしながら三時間ほど話したが當時は僕の現在の生活を見てオレと同じ孤獨の生活だのうと述懷してゐたが今日自殺しようなどゝは夢にも思はれなかつた、對支問題に對しても

相手方 がどう出ようと自分は權謀術數などを用ひず何處までも誠心誠意正直にやつて行く積りだ、それが最後の勝利を得る秘訣である、然し對支外交は右から左へと片付くものでなく時を要する——副總裁もこの點はよく玩味されたがいゝなどゝ話してゐたが、今日同公使を失つたことは帝國の對支外交上非常な損失であらうと思ふ、自殺の原因など考へられもせぬが矢張

奉天醫大氷滑部の歐洲遠征を送る
附＝滿洲スケート界の將來 (3)
岡部平太

アイス・ホツケー

アイス・ホッケーは氷上に於て行はるゝ最も壯快たる集團ゲームである。醫大のテイームは奉天といふ地の利を占め、學生といふ集團力を利用して、始めからアイス・ホッケーの研究に沒頭した。大正十四年始めて天津の日本人テイームが遠征して來て以來まだ五シーズンを出でざるに

▽…**醫大** の進歩は實に目覺ましいものであつた。それまで毎年七對〇、八對〇と云ふ樣な大きいスコーアで敗れて居た、奉天外人團に對してさへ、醫大は今日逆さのスコーアで悠々勝つ樣になつた。早稻田、慶應、明治あたりの强テイームを以てしても醫大に對して七或は一〇以內の得點の差は望み得ないとである。醫大が今や日本に志を充たし得ず遠く北歐に遠征の壯擧を試みるといふ事は其研究的良心から云つて至當の事であつて現狀の儘に於てはホッケーも亦此後數年か停滯行き詰りの狀態に陷らねばならぬ、それは醫大として到底絕え得ることでないであらう。

スポーツと創造的進化

スポーツは他の科學、及藝術と共に前途に常に無限の擴がりを有つ、それは單に外面的でなく內面的にもそうである。ラグビーに於てプレヤー三十人のすべての知識と全神經は常にたつた一つのボールの動きに集注されて居る。然もそのボールがスクラーム（密集）の中に投げ込まれた瞬間、誰一人としてそのボールの次の運命を知るものはない。そうして次から次に起り來るボールの變化に從つて三十人の敵味方は各々一人一人の創造力によつて砂を蹴つて動いて居る、また動かされて居る。一瞬間も絕えざる創造的進化がゲームの生命であり、プレヤースのゲームの心理である。

▽…**嘗て** 或人が陸上競技を見て、スポーツマンが其五分ノ一秒を爭ひ、十分の一センチメートルを爭ふことの愚を笑つたと云ふことを聞いたがそれは勿論ゲームを知らないばかりでなく恐らく世に創造の愉悅に浸つたことのない人達に相違ない。繪畫や彫刻に就ても名作佳品の模寫で滿足の出來る程度の人達に相違ない、スポーツの世界は一瞬も絕えざる創造である、そうしてその前途は無限の原野である。

▽…**若し** スポーツからその創造的進化と云ふことを取り去つたならば、其スポーツはたゞに形骸だけが存する生命なき一つの身體操作に過ぎなくなりやがて其身體操作は精神と興味を失つて社會生活の表面から其存在の意義をさへ失つて終ふ。斯かる具體的事實は運動史上續々として起つて來る現象である。行き詰りは有ゆるスポーツを頹廢に導くものである。

▽…**日本** スケート界の行き詰りに對して滿洲全體は今や打開の義務を感ずる。アイスホツケーの進路を開拓すべく全日本の第一人者である醫大が遠くヨーロツパに遠征を企つる意氣を壯とする。經濟的、思想的に今や日本は受難の時代である。そうして之等の理由から諸君の遠征に反對するものもある樣だが自分は不贊成だ。誰へつて日本の國史を解いて何時の時代か大和民族の

▽…**受難** の時でなかつたか。吾々大和民族には如何なる受難の時代にも常に生成發展の力を失はない天禀があつた。それこそ民族をこれまでに偉大にした力であつた。諸君が今若き力、尊き野心に燃えて社會の極めて一角ではあるが其一角に於ても新らしき時代を創設せんとして遙かに渡歐せんとする意氣を壯とする。その意氣と野心とはやがて諸君が科學者としての業績の上に力をもたらし。また曠野の中に建てられた君等の滿洲醫科大學其者の學究的意氣と野心をも刺戟するに相違ない（寫眞は歐洲遠征を試みる奉天醫大氷滑部選手で向つて右から木下樹昌、西內豐比古、北河淸、稻葉眞久、高橋壽夫、林淸一、庄司敏彥、平野進の諸選手）＝終＝

輸組計畫の月賦販賣行惱む
問題は掛倒れ損害の責任
洋服月賦も不可能か

緊縮節約時代にあつて市民の購買力を喚起し需給相互の利益を目標に大連輸入組合に於て計畫中の月賦販賣制度は各同業組合もその主旨に贊成し先づ洋服の月賦から手を染め、漸次呉服、樂器、世帶道具其他生活必需品に移るべく既報の如く再三役員會に諮り實行問題につき協議してゐるが、實行に直面して種々難問題に逢着し行惱んでゐる、即ちその理由は

一、日本には月賦利高に對する法律がなく爲めに掛倒れの場合の損害を如何に處理するか

二、輸入組合が表面に立ち需要者との間に仕拂契約を結べば掛倒れによる損害を組合が負擔せねばならぬこと

三、月賦加盟商店への資金融通問題に就き困難なる事情あること

等であつて實行に移るには未だ研究の餘地あり、殊に洋服月賦の如く生地販賣と仕立とを分業制度にすることは、久しい洋服商の慣習を破壞し延いては生存權を脅かされるとて當業者中に反對意見が多く、洋服月賦制度は目下のところ實現不可能と見られ、他品にしても月賦拂込みの確實な方法を發見するが先決問題とされ急速な實現は困難なる模樣である

昭和製鋼所 州內設置 悲觀說傳へらる

昭和製鋼所の關東州設置運動とこれに伴ふ關稅問題につき上京中の大連商議篠崎書記長は十二月七日入港のばいかる丸で歸連することゝなつた、而して傳へらるるところによれば製鋼所の關東州設置は悲觀すべき事情にあると云はれてゐる

撫順炭 受拂高增加

撫順炭礦に於ける十一日より二十日に至る十日間の石炭受入出炭量は左の如くである（單位噸）

項目	數量
前旬よりの繰越	八三、七六四
受入出炭	二五三、〇六四
拂出　沒炭	二二四、二九六
消費炭	六、四三三
其他	一四七
計	二三〇、八七六
貯炭現在高	一〇五、九六二

拂出中の沒炭は販賣課に拂出されたもので消費炭は山元消費である、尚二十日現在に於ける本年度受拂總量は四、三二一、六一八噸で之れを前年同期に比較すると一一七、六八五噸の增加を示してゐると

正金賣りと外銀取組

【大阪廿九日發電】對外爲替市場は頭來正金賣の後を受けてアクチヤルコート三月三ポイント方引上げため對米四九弗八分の一にて二月ハンペルス賣チヤーター買十萬弗對英二志三十二分の三にて十二月物にチヤーター賣三菱買一萬磅四分の一にて四月チヤーター賣香港買一萬磅、對英二志三十二分の七にて三月物にエムシ賣三菱買一萬磅何れも出來した

正金賣に保合

【神戶廿九日發電】對外爲替市場は正金の賣に氣配落付き底固く保合を示した

九州關西方面 糖界は亂調子

最近精糖の亂賣は關門市場より漸次阪神地方へ移り關西、九州方面に於ける精糖賣値は二十一圓五、六十錢と會社側賣値より六、七十錢安値にて販賣されつゝあるため供給組合は市中安に連れ一月限より精糖二十一圓五十錢（八十錢下げ）耕地白糖二十一圓六十錢（六十錢下げ）とし精糖十萬俵耕地白一萬俵賣出すことに決定したがため市場は又復人氣惡化し年末の決濟期切迫と共に手持品の投賣現はれ關門市中の買氣は精糖二十一圓五十錢を唱へ亂調子である

沙河口藥種商 現金一割値下

沙河口藥業組合では物價低下時代の趨勢に應じて現金賣値下げを決議し十二月一日から特殊のものを除き定價の一割以內の値引を斷行することゝなつた

安東物價下落

安東輸入組合の調査によれば十一月下旬の小賣物價は前月に比し低落せるもの七十二種中二十六、保合四十三、騰貴せるもの三、內譯左の如し

△騰貴せるもの　白菜、澤庵、鷄卵

△低落せるもの　白米、大豆、小豆、麥粉、醬油、淸酒、味の素、砂糖、鰹魚、雞魚、椎茸、高野豆腐、麥麵、梅干、昆布、海苔、罐詰、玉葱等の食料品以外晒木綿、金巾裏地、モスリン、銘仙足袋

其他は保合なれど近く低落を豫想されてゐる

經濟往來

・・・判らぬ大漁・・・　室蘭近海では夏の不漁と引かへて昨今時期外れの烏賊の大漁續き、これは室蘭近海の水溫に變化を來し暖流が旺盛になつた結果までは判つたが、寒流を好む深水魚の目拔までが豐漁、漁師連の大漁節「……なにがなんだかわアからないのよ……」

◇・・・張れぬ北海道・・・　北海道の面積は九州、四國、臺灣と合せたよりも卅三方里廣いと北海道つ兒は威張つて居たところ先に陸軍參謀部の陸地測量部の測定の結果によると從來の面積より四百廿方里零三の五千七百三十方里零三と明し、今度は自慢出來なくなつたと云ふ譯は從來千島列島は十三方里あるとせられて居たが實測の結果は六百六十六方里……かなかつた……と云ふ次第

◇・・・南はジャバよ・・・　西はシベリヤ南はジャバよ……ジャバは浪花兒のみの天地ではない、今度名古屋市海外實務員として名古屋の織物賣擴めの重大使命を帶びて稻垣青年は同地へ出發した、ジャバは今や挽歌のジャバでなく我が海外市場の活舞臺となつた

特產出廻りに別段影響はない
牡丹江方面のみ危險
勞農機の襲擊事件で

東支鐵道西部線ハイラル、東部線牡丹江の赤機爆彈投下で時局影響を受けた特產出廻りは滿鐵哈爾賓事務所から東西兩線に混保取扱のために派遣されてゐるのは、東部は牡丹江、海林、一面坡、烏吉密阿什河、西部は齊々哈爾、小蒿子安達、滿溝、對青山で東部線は牡丹江のみが危險で西部線は海拉爾の關係は極めて薄く廿六日の各方面からの出廻り報告によると未だ何等著しい打擊を蒙つてをらず小蒿子、安達は約四百噸平均滿溝は五、六百噸、牡丹江五十噸一面坡五百噸、烏吉密五百五十噸見當で十二月中旬から一月上旬が出廻り最盛期とされ、ハイラル以東に露軍が進擊して來ぬことが判れば別に出廻りに障害を蒙るやうなことはない尚本年各地の出廻り豫想高は西部九一四九五〇噸、東部三六一千噸、南部四二五千噸、呼海三六萬噸で呼海は弗々出廻り、長哈南部は出廻り整理中である

豆粕豆油受渡 十一月末限り

大連取引所特產市場に於ける豆粕十一月末日限受渡しは廿八日前場を以て納會を告げた豆粕は賣買總出來高十一萬二千枚、受渡高十一萬枚、此の步合九割八分二厘強、標準値段二圓十九錢、此れを十月末日限と比すれば賣買總出來高八萬七千枚を增加、受渡高は八萬五千枚を增加、標準値段は六錢の下値である、當期中の高値二圓二十九錢五厘、安値二圓二十錢であつた、主なる手口を示せば次の如くである（單位千枚）

△渡方　同泰六、同匡厚五、乾豆和七、双豆福四、萬合公七、福順厚八、福和成四、福臣昌六、昇源一五、東記一八、西記一八

△受方　瓜谷三六、三井五六、三菱一八

次に豆油は賣買總出來高千箱、受渡標準値段十八圓二十錢、總出來高に對する殘玉步合十割で、これを十月末日限と比すれば賣買總出來高は三千箱の減少で、標準値段は九十錢の下値である、當期中の高値は十八圓廿錢、安値も十八圓廿錢である、手口を示せば左の如し（單位百箱）

△渡方　福順厚一〇

△受方　三井一〇

高見商船支店長

大阪商船大連支店長高見三吉氏は

東支沿線旬末穀物在貨（單位米噸）（十一月中旬）

品目	富拉爾基	小蒿子	海林	綏化	計
大豆	三、五五六	三、八〇〇	三、一八〇	四、八八〇	一五、三六八
豆粕	—	—	—	—	—
豆油	一六六	—	—	—	一六六
小麥	三二二	三六	—	六、八四〇	七、二一〇
麥粉	一四四	—	—	—	一四四
高粱	三三三	—	—	—	三三三
粟	二八〇	三六〇	—	一、一〇〇	一、八三〇
包米	—	一、八〇〇	—	—	一、八〇〇
其他	一四四	一四四	—	—	二、八八〇
[illegible]	二八〇	三二四	六〇	六〇〇	一、二四四
計	五、一〇八	六、三二四	三、二四〇	一三、五二〇	二六、二四三

安東特產界 閑散 泥濘で交通杜絕

安東地方は二十日前後零下十二、三度の寒氣襲來により結氷期接近を期待されてゐたが、昨今又復氣溫緩み路面泥濘の爲特產出廻り期に際し殆ど交通杜絕の狀態で特產關係は至極閑散尚今後の出廻りは自然遲れる模樣である

遞信購買組合 賣上げ增加

大連在住の遞信職員を以て組織する遞信職員購買組合は事務所を遞信局構內に置き配給所を大和町北大山通及電話局地下室の三ヶ所に置き遞信官署を始め民政署、警察署、海務局及び學校等關東廳所屬員約千二百人の組合員に對し日用品を安價に配給してゐるが昭和四年度上半期に於ける總配給高は約廿一萬圓の巨額に上り前年同期に比し約一萬餘圓（五分）の增加を示し極めて順調なる發達を遂げつゝあり今二十九日には總代會を開き剩餘金の處分（出資金に對し年一割購買高に對しては一分五厘の配當）案を附議せられる筈であるが尚當日は緊縮節約の一端として現金賣制度及び金券制度實施に關する事項をも附議する筈

株式市場の諸株配當豫想

五品取引所の株式現物組合では現物取引左記株式に對し廿九日後場賣買の分より左記配當落を以て取引することに決定

銘柄	配當豫想
商信株	三十一錢
新豆株	五十錢
錢鈔株	六十二錢五厘
滿鐵新株	一圓卅七錢五厘
郊外土地株	二十五錢

經濟雜叢

滿洲大豆の進むべき道（五）
歐洲の豆粕需要 將來はますく增加

歐洲に於ける豆粕需給の實情は前述したる如くにして、今後の需要につきては勿論穀類作柄就中飼料の大宗をなす玉蜀黍の豐凶並に輸出餘力の增減、動物油脂價格の高下、競爭商品との角逐等の關係により確言を許さぬが、一面歐洲諸國は各々家畜家禽の增殖方針を以て進みつゝある現勢より推し將來豆粕飼料の需要は多々益々生ずべきは明瞭である、倚戰前に進んで以上諸國の外東部並に中部歐洲に宣傳することによりて販路擴大の見込なしとせざるのみならず現在消費の地方に於ても其消費量の增大を期待し得るのである、現在英國に於て畜牛一頭當一ヶ年の粕消費は四分の一噸にして（普通一ガロンの牛乳を搾取するに對し三、五磅の粕を與ふるも多量の乳を生產する乳牛ならば一年一頭一噸半乃至二噸を與へるが常である）若し歐洲大陸各國に於て英國同樣の割合にて粕を與ふるものとせば粕のみの消費量は恐らく一千萬噸以上に及ぶことが出來る、如斯趨勢にあるを以て豆粕商域の擴大と消費量の增大と併行せらるるに於ては滿洲大豆即ち豆粕の需要量莫大なるを豫想せらるべく、此狀勢に順應し滿洲產豆粕の割込につきては相當の犧牲を覺悟せざるべからずと雖も現に歐洲に輸入せらるる米國埃及の棉實粕、印度の粕類年額六十萬噸乃至百萬噸及較屑其他の飼料との競爭に於ては宣傳、努力の如何によりては角逐の餘地がある、試し棉實粕輸出國たる米國の事情を觀るに曾て歐洲向棉實粕の輸出六十萬噸ありたるものは漸減して今日三、四十萬噸となつた其減少の理由は勿論棉のクロップ如何に左右せられても其遠因は米國の農業保護政策に依る國內相場の騰貴によりて輸出を阻止せしめたるは爭はれざる事實にして、且つ米國は自給自足の方針を維持する以上益々棉實粕輸出を困難に導くものと云ひ得る、又印度よりの輸出粕二、三十萬噸は或程度迄は値段關係にて壓倒し得べく玉蜀黍、大麥等は相場の如何によりては有効且つ割安なる豆粕を以て之に代用せしめ得るは論を俟たない、茲に於てか識者の考慮を希ふ所以のものは滿洲產豆粕の歐洲向輸出の適策之れである、昨年歐洲に輸出せらるるや殆ど見本的取引に屬するものの如きも一ヶ年間五萬噸の輸出行はれた之より之が輸出については運輸上又は荷役作業上並に宣傳的販賣等に自から多大の犧牲を忍びた結果であるが之等の事實に鑑みるも輸出上適當の方法が積極的に講ぜらるるに至らば滿洲豆粕をして歐洲に販路を獲得せしむるは可能事で以て滿洲油坊業現狀打開の一策たり得る

結言

以上述べたる處は主として飼料消費地側に立脚し之を考察したる所であるが滿洲大豆の進路を定むるには右の外更に眼を轉じて原料生產地たるアメリカ、インド、アフリカ等の油脂並に原料供給の實情を調査研究し、之れが大勢の趨く處を洞察し以て其根本方針を定めねばならぬ、之れ滿洲輸出品の大宗たる大豆に對し施すべき緊急事項と信ずる次第である（終）

・正誤・　昨日の消費狀態の表中原料輸入とあるは原料輸入粕の誤りにつき訂正

ハルビン地方に於ける最近の林檎の需給狀況（上）
今年は移入增加市價は漸落

北滿に對する林檎の販路擴張は將來有望視せられて居るが哈爾賓日本商工會議所の調査になる哈市に於ける最近の林檎の需給狀況並にその消費については左の如くである

◇…昭和四年中（一月より十一月廿六日迄）に於ける各地產林檎の哈市輸移入高は左の如くである（單位車）

產地	四年產	三年產	計
鎭南浦產	一二二	五	一二七
平壤產	一〇九	—	一〇九
南滿洲產	七	—	七
支那產	一三〇	—	一三〇
計（滿洲產を除く）	二三八	三五	二七三

即ち合計二百六十六車、一車平均五百三十箱（一箱正味四貫匁一入）として四萬四千六百九十箱にて前年（昭和三年）の九萬九千七百箱に比し既に四萬四千九百九十箱の增加を示した、今本年秋產のものに就て見るに既入荷二百三十八車の內十一月廿六日迄に賣却濟のものは約一百車にて十一月廿六日現在々荷は約百卅八車に達した、本年入荷多きは（一）產地何れも豐作なりしと（二）哈市が有望なる消化市場として各方面より仕向け多かりしに因るものである

◇…目下現在ストック品の處分につき各問屋共苦慮しつゝあるが露支時局の影響を受け滿洲里、綏芬河、及松花江下流地方向約三十車の市場を失ふたのを始めとし其他奧地の買氣薄く前途を案ぜられつゝある、然し前途には尚（一）支那正月を控へをると（二）パスハ（基督復活祭）による露人の需要見越及（三）本年は支那產の雜果實不作なりしを以て林檎の春先需要見込多く隨て難關を切り拔け得らるべく察せられる、市價は初入荷品は一箱五圓四十錢の高値を示したが漸落し目下（十一月下旬）安値二圓六十三錢高値、三圓二三十錢平均三圓を示して居る

黃塵

◇…緊縮節約の不景氣風に吹き捲くられて最も打擊を蒙つてゐるのが市內一二流の料理屋である

◇…從來ならば十月十一月は婚禮月で毎夜一組や二組の披露宴がある筈そうだが今年はサッパリない。

◇…サテこの披露宴はどこに持つて行かれるかと言へば殆ど支那料理屋でチン酒一本料理代一圓五十錢位で濟まして了ふ。

◇…花聟サンは友人知己の御祝金で結局結婚費が總出された上世帶道具も揃ふといふ勘定。

◇…不景氣の今日「結婚成金」が出來ると言ふ噂を調べてみればこの始末……世智辛い時代ではある。

錢鈔 銀塊安乍ら鈔票保合

今朝の海外材料としての倫敦銀塊は廿二片二分の一と（十六分の一安）先物は廿二片八分の五と（八分の一安）紐育は感謝祭で休み、孟買銀塊は五十一留比八分の五と（四分の一安）滙畑は六十九兩八五、滙申は七十二兩〇七五、大洋は百一圓六十錢、日米は四十八弗八分の七と同非米日英米、米支共に休み、上海標金は四百三十二兩二と寄り四百三十一兩九と止め當市の銀價は保合で大引

◇定期取引（單位錢）　出來高期近　百五十五萬圓

◇現物取引（單位錢）　出來高　銀對金十五萬三千圓　銀對洋二萬六千圓

商品 前場

●麻袋（軟り）　產地國際發當鐵同事乍ら爲替四分の三安千田別電直積三十五留比四分の三、十二月一月積三十四留比二分の一と市況軟りを示し加ふるに受渡期日を目前に控へて期近は軟りなるも先物は保合引際氣配は現二十二錢、十一月三十二錢九厘、十二月三十二錢、十二月三十一錢一厘、二月三十錢七厘、三月三十錢五厘見當

銘柄	約定期	值段	枚數
鐵筋	延十二月末	三二八	一〇〇
同	同	三二九	一〇〇
同	延三月末	三〇五	二〇〇

株式 內地株變らず 五品强保合

特產 人氣添はず一般平調

市況

市場電報

奧地市況

上海爲替情報

手形交換高（廿九日）

爲替相場（廿九日正午）

印度麻袋

橫濱生糸

神戶豆粕

平安異香 (184)

薬多默太郎作　中一彌畫

戀の行方(二)

邦貞はハつとなつて、思はず陣十郎を見返した。

母お蘭の方の腋の下に、奇妙な大きな痣があるといふ陣十郎。もとより邦貞はそんなことは更に知らない、家人がそんな話をするのを聞いた覺えもない。が、こんな事を云つて尋ねる陣十郎が愈々氣味の惡い人間に思はれるのだつた何といふ不思議な事を訊く男だらう——思つてゐると、陣十郎がニヤリと齒を見せていふのだつた。

「あるだらう痣が。見たことがあるだらう——尤も實は痣ぢやねエんだがなあ。知つてるだらう、髑髏さ。髑髏の圖柄の刺青……」

云ひながら陣十郎は邦貞の面てを見まもつた。些細な顏の動きも見遁すまいとするやうな眼——

「そんな馬鹿な——」

邦貞は激しく頭を振つて叫んだ

「そんな馬鹿なことがあるものですか。そんな事はない……」

「見たことはない、といふのか見たれども、そんなものはなかつたといふのか」

「腋なんか、誰だつて見ないでせう。だが、母はあなた太政入道の娘ですよ」

「さうさ、だが、廿歳そこ/\まで筑紫の片田舍で育つた人だ」

「その時に、何かあつたといふのですか」

「——」

「お前は知らないらしい。噂は噂だけのもので、根も葉もないことかも知れねエのさ」

さらりと流して、陣十郎はそれきり口を噤んでしまつた。

が、邦貞の心は穩かでなかつた。疑惑なことをいふこの陣十郎の本心が知りたくて、疑惑が胸中を駆けめぐるのだつた。そして激しく目を据て、陣十郎の横顏を見まもつた。

日はとつぷり暮れて、光を增した月光に、陣十の面は死面のやうに蒼かつた。しかも不思議なはその顏に不可思議な憐みの色が漂ふてゐる——

「誰だ——」

と、突然その顏が嗔んで振返つた。

驚いて邦貞が顧みると、月を浴びて一人の女がしやがんでゐた。

「あたしだよ」

と女は應へる。

「お京か。さつきからそこにゐたのか」

「いえ、今來たばかり——幕屋が暑いので……」

「さうか——」

と安堵したやうに云つて陣十郎はもとの姿勢に戻つた。が、長くは續かなかつた。間もなく立上つて、ザク/\と砂を踏んで幕屋の方へ返つて行つた。

お京もついて行くだらうと思つたが、一向動く氣配がない。そこに坐つてゐられると、何だか窮屈な氣がしたが、邦貞は再び陣十郎が遺して行つた疑惑に捕はれて、お京のことをすつかり忘れてしまつた。

疑惑は深かつた。陣十郎の言葉が根強く氣になつて仕方がないのだつた。

そんな馬鹿なことがあるものかと、念頭から追拂つてみても、瀦の滓のやうに爰に殘る不安がある腋の下に髑髏の刺青——そんなものが義母にあるべき筈がない。もし事實とすると、世間の噂にたつほどで同じ家に住む自分に、十何年の間知れずに濟む筈がない——と思ふ。

一體、腋の下の髑髏の刺青があればどうだといふのだ——とも思ふ。

邦貞は、今からでも家へ駆て歸つて、お蘭の方の腋の下を確めたい焦立を覺えもした。

そして、何にもないきれいな腋下を陣十郎に見せてやりたい——だが、何か他の目的の爲に、陣十郎がこんな荒唐無稽な云ひ種で以て、わしから何かを探らうとしてゐるのではないか——と、ふと邦貞は考へた。多分さうだらうと思ふ。

すると、遽に自分の馬鹿正直が馬鹿々々しくなつて、同時に心がひどく輕くなつた。

お京のことを思ひ出したので振返ると、お京はなほもとの所に動かずにゐる。

大日活 愈よ開館 梅村蓉子が挨拶と舞踊

去る廿三日華々しく開館式を擧行した新映畫館大日活はその後內部の設備を整へつゝあつたが、愈々興行を許可されたので昨二十八日夜間興行より一般に開館し落成記念興行の蓋を開けた、數日來梅村蓉子來るの聲と新館に憧れるファンで初日早々大入滿員の盛況であつた、プログラムは晝夜別ちなく日活現代劇特作品溝口監督の「蒼白き薔薇」に次いで梅村蓉子が舞臺挨拶をなし、新館落成と共に生れた大日活の名物と自負するジャズ、バンドの演奏後再び梅村蓉子が三田尻連中の地方で長唄「都鳥」の舞踊を演じ最後が日活時代劇特作品大河內傳次郎一人二役主演の「血煙荒神山」である

日本菊子再演 歌舞伎座で

沿線巡業中であつた新進女流浪曲家日本菊子は昨二十八日より向ふ五日間歌舞伎座に於て再演してゐるが、今回は新に米國より歸朝した立花芳子が加入し餘興に米國土產ホレホレ節を唄ひ共に好評を博してゐる

怪力實演會

四十五貫の鐵の棒を口に啣へて振廻すといふ稀代の怪力大日本體育獎勵普及會長北畑象高君は二十九日午後十二時四十分から滿鐵社員俱樂部の構內で二十人を乘せた自動車を曳く實演を一般に公開し同夜六時から協和會館で三十日一日の兩日大連劇場で公開する由

ゆふべ蓋を開けた大日活は流石にファンが待ちこがれてゐただけ▲開館早々から大入滿員、二階は固定席だけで足らず初日早々から補助椅子を出す騷ぎ▲そして梅村蓉子の舞臺挨拶と舞踊「都鳥」が物凄い人氣で館內は破れるやうな熱狂振り伊庭孝氏等一行はゆうべ奉天へ出發したが、昨日放課後神明高女の講堂で內田、箕出兩氏が特に女學生のために演奏▲ピアノが問題にならず箕田氏のために氣の毒であつたが女學生は思はぬ催しに大喜び▲映畫「死のアラスカ探險」に絡んで露人配給者アラケロフ氏と服部氏が紛糾してゐたが▲遂に服部氏解雇の廣告となつたが、その裏面に日露衝突のチヤンバラの場面があつたとのこと▲ところで服部氏は婦人に對する紳士の禮義を重んじたといふので大變な評判である▲宗兼氏が東亞映畫配給の權を持つて歸つたとのことである

滿洲日報

見よ全人類の法燈!!莊嚴こ神祕の一大寶庫!!

世界聖典全集

豫約募集 普及〆切

全三十卷 一冊 貳圓五拾錢 内容見本進呈

我々は一と通りマルクスを知つた。マルクス論理の盡きる所に宗教は始まるか、マルクスに先行するか—こまれ我々の心性は究極に於て宗教へ歸へらねばなるまい。既成宗教の研究は現在の墮落せる宗教制度の中にはない直接始祖の聖典へ!

編修顧問

東京帝國大學教授 文學博士 井上哲次郎
眞宗大谷大學長 南條文雄
東京帝國大學教授 文學博士 高楠順次郎
東京帝國大學教授 文學博士 服部宇之吉
東京帝國大學講師 文學博士 前田慧雲
東京帝國大學教授 文學博士 村上專精
東京帝國大學教授 文學博士 白鳥庫吉
青山學院長 高木壬太郎
法隆寺貫主 探題大僧正 佐伯定胤
東京帝國大學教授 文學博士 村川堅固
東京帝國大學教授 文學博士 加藤玄智
東京帝國大學教授 文學博士 黒板勝美

（第一、二回配本は御申込みと同時に即時發本）

第一回配本 コーラン經（回々教）上・前輯第十四卷 印度哲學 ウパニシャット全書（婆羅門教）1・後輯第三卷

次回配本 新約外典 全（基督教）前輯第十三卷 古事記神代卷 全（神道）後輯第一卷

注意 甲種會員には兩書を、乙種會員には「コーラン經」のみを配本

有川治助著

ジョン・ワナメーカ 人及びその事業

六拾版突破!! 本書一冊は百千の商業教科書に勝る

四六判 四一七頁 定價壹圓五拾錢 送料二十錢

發行所 東京市芝區愛宕下町 振替東京八四〇二番 電話 芝(43)二二一一番 二二一二番 二二一三番 二二一四番 改造社

新改正 刊

民事訴訟法註解

大審院判事 菰淵清雄先生著 菊版背革上製 紙數五五〇頁 定價四圓五拾錢 送料二十七錢

改正民訴の逐條解釋

幾多の疑義を孕む改正法は學理的解釋よりは先づ逐條的に研究し而して全般に亙る研鑚が最も喫緊である。著者は現に大審院判事の要職にありその長短を實地に應用せしこと茲年、茲に實施を見たる新法典に付き具さに之を檢討し尤も適切、妥當なる斷案を下して本書を成す。若しそれ内容に至りては流麗なる行文裡に凡ゆる難點を解決して遺憾なし。加之、編、章、節、款の各冒頭に於て懇切なる總括的解釋を施こし而して各條に付き明晰なる解說をなして以て一目瞭然たらしめたり。敢て江湖に推奬す。

◇發兌 東京神田今川小路貳丁目 電話九段五七八、振替東京七八六二七 合資會社 清水書店

科學知識

十二月號 定價五十錢 送料二錢

- 教化總動員と科學教育…大島正德
- 繪そら事の肯定…西岡正秋
- 硝子の曇るわけ…田端學士
- 豐富な南洋の林產物…三浦博士
- 水上機の爭覇戰…海軍大佐廣瀨彥太
- 木炭の標準規格…鴨居工學博士
- 航海者の守神鱶と海豚…海軍大佐雨宮厚作
- 金とその合金…細田工學士
- 英國大飛行船の完成…
- Z伯號の世界一周同乘記…
- 茸が踊るといふ話…石川光春
- ラ式蹴球の競技法…清瀨三郎
- 通俗自動車物語…藤田工學士
- ルイパストール傳…小新井誠夫
- 蘭領東印度への旅…森尾秀實
- 二大國際會議の盛觀
- 鋼管鋼材工場視察記
- 臺灣往復飛行の壯擧
- 我考古學の發祥地大森貝塚
- 印度の巧妙な鴨獵…
- 望遠寫眞フクロフの營巢…

東京市麴町區丸ノ内二の六 財團法人 科學知識普及會 振替東京四六六〇貳番

大人子供男女ヲ問ハズ 大流行ノ帽子

ペレーキャップ（一名フランス帽）

大小色合御好通リ製作イタシマス

トキワ橋 まるひ屋 電話八五〇八番

新科目開設 十二月一日開始（學費一ケ月二十圓 八ケ月卒業）

自動車修繕工養成

（送呈學則）

大連市北大山通り十四 日華自動車研究所（電二一〇六一番）

大連市三河町二番地 日下歯科醫院 電話三三六番

モヤ モヤと ゆげがのぼる

フワ フワと よい香がただよふ

ムク ムクと こまかいあわがたつ

その泡のなかから生れた この美しのみ手!

品質本位

花王石鹸

製造元 東京馬喰町 花王石鹸株式會社長瀨商會

へり 辻利茶店

宇治小泉謹製 オ茶漬ニ御用 トテモウマイ ワサビ漬 粉ワサビ 珍品鮎ノ酢漬

辻利食料品部 電話三三四八七六番

帝國美術院第拾回

美術展覽會原色畫帖

發行所 東京市神田區美土代町一ノ四四 文部省御用出版業 合資會社 美術工藝會（振替東京三一四八七）

特價金七圓 郵税十八錢 賣金順に送本す（十一月廿五日出來）

常に新柄と新型 ユルヤカニ シックリト

大連 丁子屋洋服店 電話六二六七 振替大連三四三九

正隆銀行

頭取 安田善四郎

家庭用として幽雅で……實用向の……

紫檀細工

各種製造販賣 大連伊勢町（吉野町角） 日支公司 電話六七四八番

新裝 カレンダー ポスター 製造御用

藤井卯商店 大連市浪速町 電話五八七四

JANUARY 1 一月一日 四方拜

七寶製美術品 金盃・銀盃・洋盃 金銀製寶飾品 ブロンズ工藝銅器 洋銀錫製美術品 一般彫刻象嵌 徽章記念品

金華號本店 大連市山縣通 目録送呈

大連市大山通 滿書堂書籍部 電話五三九六番 振替大連一〇八二番

最新刊

- 中里介山著 大菩薩峠 第三 實價三圓六十七錢送料十八錢
- 日夏耿之介著 明治大正詩史 卷下 實價四圓二十錢送料五十五錢
- 西谷勢之介著 天明俳人論 實價二圓六十八錢送料八錢
- ヘエウッド著 細井一六譯 世界地理發見史 實價三圓三十六錢送料十錢
- 野依秀市著 歐米徹底觀 實價一圓五十七錢送料十錢
- コマダ・ドプレス著 龍本二郎譯 洋裝心得と洋食作法 實價二圓十錢送料八錢
- 池崎忠孝著 日本潛水艦と太平洋作戰 實價九十四錢送料六錢
- 三宅克己著 寫眞のうつし方 實價一圓八十九錢送料十錢
- 芹澤登一著 母としての乃木夫人 實價一圓三十六錢送料八錢
- 與謝野晶子著 感想集光る雲 實價二圓十錢送料八錢
- 佐々木信綱著 和歌に志す婦人の爲に 實價二圓十錢送料八錢
- 櫻井忠溫著 煙幕 實價一圓七十八錢送料十錢
- 土の上水の上 實價二圓十錢送料十二錢
- 服部文四郎著 我國の金融と景氣 實價三圓九十九錢送料廿錢
- 九條武子著 薰染 實價一圓八十九錢送料八錢
- 村井政善著 結婚及祭禮儀式 實價三圓六十七錢送料十六錢
- 宮原欣著 未來 實價二圓六十二錢送料十四錢

大連市浪速町 大阪屋號書店

最新刊

- 鈴木一郎著 日支條約改訂問題の研究と批判 實價二圓送料十錢
- 滿蒙研究會編 露西亞最近の極東と東支鐵道 實價六十錢送料四錢
- 小笠原長生著 大海戰秘史 實價二圓五十七錢送料八錢
- 山東時報社著 支那の現實 實價二圓三十錢送料八錢
- 松村金之助著 鐵道功罪物語 實價二圓十錢送料十二錢
- 大朝經濟部 商賣うらおもて 實價一圓五十七錢送料十錢
- 白柳秀湖著 日本經濟革命史 實價一圓八十九錢送料十錢
- 伊東忠太著 支那の建築 實價四圓七十二錢送料十四錢
- 土岐善麿著 柚子の種 實價一圓九十九錢送料十錢
- 佐多芳久著 腦溢血の豫防と治療 實價一圓五十七錢送料八錢
- 東京日日新聞社著 常識百話 實價一圓五十七錢送料八錢
- 池長孟著 荒っ削りの魂 實價二圓十錢送料十錢
- 太平洋問題調査會編 海軍軍縮問題 實價五十二錢送料四錢
- 人見絹枝著 戰ふまで 實價一圓五十錢送料六錢
- 加藤三郎著 マーシャルと世界一大商店 實價一圓五十七錢送料八錢
- 片山興佐吉著 最新花札の手引 實價五十錢送料四錢
- 片山興佐吉著 最新トランプの手引 實價五十錢送料四錢
- 坂井源次郎著 平易に說いた自動車講話 實價一圓廿六錢送料八錢

露支和平交渉に對する 哈市支那官邊の方針

從來の如き東鐵片務的經營と 舊正副管理局長復任には反對

【ハルビン廿九日發電】東鐵問題の對露直接交渉につき當地支那官邊の意向は大體左の如くである

一、東鐵の原狀回復には異議はないが從來の片務的經營方針には絶對反對で一九二四年の協定を完全に履行し名實共に平等の權利で共同經營する事

二、露國は營利的企業である東鐵を對支赤化宣傳機關たらしめた證據歴然たるものあり依つて正副管理局長エムシャノフ及びエイスモンドの復職には飽く迄反對す、露國は東鐵を對支赤化宣傳機關としない、を保證すべし

三、露國が正副管理局長を新に任命する交換條件として支那も事件の責任者を更迭する但し相互に自發的形式を執る

四、東鐵事件に伴ひ監禁中の當該國民相互に之を釋放すること

五、國境に於ける武力行動を即時停止すること

尚支那側非公式代表は去る二十日既にハバロウスクへ向つてゐるが露國は交渉を有利に導くため滿洲里方面の赤軍を後退せしめ蒙古軍を使嗾しつゝあり斯くて奉露交渉は兩國一流の駈引に依り武力を背景に波瀾重疊を極めるものと見らる

一南京政府代表も參加する事になつて居り東鐵事件の責任者として呂督辦張景惠長官の二人は罷免される模樣で劉尚清氏が督辦に蔡運升氏が行政長官に任命される事に內定してゐると

東鐵幹部急遽歸哈 交渉の最後策を携へて

【奉天特電二十九日發】奉露單獨交渉進捗したのが爲めて來奉中の蔡運升氏、呂東支督辦、何東鐵理事は相攜へて本朝奉天發哈爾賓へ向つたが張學良氏との會見により露支交渉の最後的策を攜へ歸哈したものでこれにより露支交渉は急轉を見るであらう

勞農側幹部も歸哈

【長春特電二十九日發】東支管理局に、エムシャノフ、エイスモンド兩氏其他東支幹部はモスクワを出發せりとの電報あり細目交渉は一行の着哈を待つて開始されるであらうとソウエート職員は歡喜してゐる、尚ロシヤは東支の警備權を正式會議に主張する意思を有してる

勞農は武力を背景に 諸懸案解決に出ん 奉露交渉は廣汎に亘る見込み 大勢支那側に不利

【ハルビン二十九日發電】某方面の消息に依ればロシアは來るべき奉露交渉に於ては單に東鐵問題のみならず此の機會に武方を背景に多年の懸案たる

一、松花江、黑龍江の航行權問題
二、國境制定
三、通商貿易問題

其の他五十餘種に亘る懸案を一氣に解決する方針であり從つて奉露交渉は極めて廣汎な範圍に亘るものと見られてゐるが、大勢は支那側に不利である

管理局長の權限等 正式會議にて解決せん

【ハルビン二十九日發電】露支和平交渉の基本協定は成立しロシアは極東外務人民委員シマノフスキー氏を主席とし、支那側は蔡運升氏を以てし委員はハバロフスクへ向ふべく交渉の結果東鐵管理局長にはエムシャノフ、副局長エイスモンド氏の復任を見るべく、張景惠、呂榮寰兩氏は引責辭職の外無かるべしと觀らる、尚基本協定中原狀回復の管理局長權限、東鐵の損害賠償ソウエート人民の即時釋放は正式會議に俟つものと觀らる

損害査定は至難 ドイツ總領事曰く

【ハルビン特電二十九日發】露支交渉に關し當地ドイツ總領事ストペワ氏は語る

和平裡に交渉が開かれることは喜ばしい、問題は既に決定してゐるものであるから交渉上餘り至難なものは無からう、たゞ紛爭以來兩國の被つた損害の査定につき實際に協議することは六ケしいであらう、會議地はハバロフスクに決定しやうと思ふ

交渉開始と 支那側の異動 蔡氏を行政長官に 劉氏を督辦に任命

【奉天特電二十九日發】奉天側は[illegible]紛糾に苦み前に中央政府に露支交渉開始を要請中であつたが今回中央より奉天側に對し交渉開始委任の回答に接したので張學良氏は呂督辦、蔡運升兩氏と交渉的案件を作成し蔡氏をして目下浦鹽に滯在中のメリニコフ氏と非公式交渉を開始せしめた結果相互意見の接近を見たので奉天側は管理局長、副局長任命問題原狀回復逮捕露人の釋放を條件とする露國の要求を容れ正式交渉を申込んだので露國側の回答を得次第蔡氏が主體となり正式交渉開始の筈で右交渉には[illegible]

市政上の暗礁【三】

市長の責任 口約と市長有給案

所謂有給市長案の經過は以上の通りであるが、之に對する市民の公平率直なる見解はどうであるか、先づ該案成立の動機に於て不純な點があり民意を反映せず彌縫策として案出された傾きがある、即ち既報の如く貝瀨氏の失格、小數實助役の辭職、內海市長の助役推薦、村田議長の辭職等市會の紛糾したるに對し石本市長は情勢を緩和し得ずに有給案への道を辿つた跡歴然たるものがある

◇

石本氏が市長の器に非ざるがため又時局收拾のため有給案を結んだとの說もあり、一理あるがそれにしてもその手段方法に於て誤つてゐる點が指摘される、何んとなれば市會に於て一度市長に推したる以上市長に於て私人として重大過失がない限り妄りに之を忌避するが如き事に出づるのは禮節を缺ぐ宜しく態度を示し職務して政策を行はしめ果して市長の器なりや否やを眺めたるのち堂々と議場に於て合法的に政策を以て爭ふべきである、有給市長制實施の理由は主として人材を廣く各方面に求むる點にあるが市長適任者を市中に求むるは強ち難事でもなかるべく殊に滿蒙の事情に通曉する土地の名士を市長に擧げるのは一般市民の希望ではなからうか、市財政上より云ふも有給市長とすれば相當の名士を迎ふるには最低六千圓乃至一萬圓の本俸を支給するを要すべく之に加俸、家賃、雜費等を加算すれば約一萬二千圓乃至二萬圓といふ巨額の經費を要することゝなり跛行的の自治市で見るべき事業少く近き將來に於ても目覺ましき飛躍も望まれず且つ財政豐ならざる大連市にかゝる制度を布く要ありや疑問である

◇

あつた、然るに消極的に市會招集に陷らしめる戰術を用ゐ市民不知の間に大事を決したのは遺憾であつた、即ち有給案は云はゞ私の口約とも解釋することが出來、市民の前には影の薄い拘束力の弱いものである、但し石本市長が口約者に對する道義上の責任並に市民に對する政治上の責任は重大であつて當然その債務を果すべきは云ふ迄もない

◇

次に有給市長案そのものが大連市に適切緊要な制度であるか否かに就いても相當疑義があるにも拘らず該案が單に市長辭職の便法に利用され案そのものに就き公開的論議が行はれてゐないのは遺憾である

◇

然し石本市長口約の有給案提出は辭職そのものと同意義であるから市會に於て口約を離れ單に有給案の可否を問はれ純正なる判斷により否決されたる場合に於ても石本市長が口約に對する責任は依然として果すべきものである、なほ有給案可決の場合、內地に於ては名譽市長が多いのみならず、市長在任中の職制改正は差控ゆべしとの內務省訓令あるが故に關東廳は認可せざるべし、又認可するも現市長任期中に效力を生せざる限效力發生の日を定むべしと說くものがないでもないが右は牽强附會の說であつて關東廳が市會の意見を尊重し認可するであらうことは法理上行政上略安きところである

田中文相の親任式 廿九日午後擧行

【東京廿九日發電】田中文相親任式は二十九日午後五時擧行され左の如く發表された

從四位勳二等 田中隆三
任文部大臣

依願免本官 文部大臣 小橋一太

參與官は留任

【東京廿九日發電】田中新文相就任に際して文部省政務官は更迭せず野村次官、大麻參與官は留任することゝなつた

對議會策は變らぬ 濱口首相

【東京廿九日發電】小橋文相のことは遺憾千萬であつた、更に角文相の更迭も濟んでこの上色んな噂を立てるものもあらうが、內閣の基礎は微動だにせぬ積りだ、諸君國家のため爲すべき多くの仕事を有してゐる、來議會は解散方針で行くか否か經理として私から今斷言し得ぬが文相更迭によつて今までの對議會策は變らぬ

日支交渉は遲延せぬ 有田局長談

【東京二十九日發電】佐分利公使の死と外務關係につき有田亞細亞局長は語る

佐分利公使の死に依り日支通商條約改訂交渉開始に大遲延を來すやうなことはない、帝國政府としても亦民國側でも頻りに急いでゐるから可及的速かに後任を決定して交渉に取掛る積りである

後任を決め 交渉開始の準備 外務省にて善後會議

【東京二十九日發電】佐分利公使の自殺に狼狽した外務省は午前十時から吉田永井兩次官以下各局長參集善後策を協議したが、會議は午後零時半に及んだその結果左の如く決定

一、駐支公使の後任は幣原外相より最短期間內に決定する
二、日支通商條約交渉は成るべく迅速に交渉を開始する樣準備をなす
三、對支交渉方針は何等變る處なく公使の意見を尊重し日支親善主義で一貫する

駐支公使の後任 改約交渉を控へて決定を急ぐ 小幡、矢田兩氏が有力

【東京二十九日發電】外務省では日支條約改訂交渉を目前に控へてゐるので支那公使後任決定を急いでゐるが、目下候補者としては奉天總領事林久治郎、瑞西公使矢田七太郎、西班牙公使太田爲吉、外務次官吉田茂、目下歸朝中の土耳其大使小幡酉吉氏等の呼聲があるが小幡、矢田兩氏が其內で最も有力視されてゐる

その手腕に敬服した 幣原外相談

【東京廿九日發電】佐分利公使と最後に會つたのは廿七日で丁度アメリカ代理大使が來てゐたが、急いでゐる樣子なので其の間に約三十分間ばかり話した、公使は例の通り冷靜に日支通商條約改訂問題に就て極めて細密に明確に意見を述べてゐた、佐分利公使は何時も非常に餘裕のある一面決して落膽失望せぬ性質の人だつた、ワシントン會議での手腕など其の手腕には敬服させられた、自分は永い間の交際で良く故人を知つてゐるが氏の自殺は今以て不思議でならない後任問題を考へる餘裕等はない

軍縮最後の打合 全權一行首相官邸で

【東京廿九日發電】軍縮全權一行は愈々明三十日出發渡英につき二十九日午後三時より首相官邸に全權隨員一同參集最後の打合せ會を開くことゝなつた

國境砲擊が 奉派の屈服原因

【ハルビン二十九日發電】東鐵問題奉露單獨交渉は愈々近く開始される段取りとなつたが右は

一、蔣介石氏の旗色が惡くなつたこと
二、東北四省現狀維持を主張する張作相一派の蠻派が張學良氏を說得した事
三、露西亞の態度が一貫して强硬で露軍の頻々たる國境襲擊に依り奉天派は武力的に對抗力なく且つ財政的に窮したこと

等で去る十七日以來の露軍の積極的國境砲擊が奉天派を屈服せしめた最大原因である

溝口次官進退

【東京二十九日發電】疑獄事件の進展に伴ひ研究會に對する疑惑深まりつゝあるが、陸軍政務次官溝口直亮伯(越後鐵道買收當時陸軍參與官)は近く政務次官辭任を決行すべしとの說あり頗る注目されてゐる

露支交渉 前途觀測 八木總領事談

【ハルビン特電二十九日發】露支和平交渉につき八木總領事は語る

基本協定はハバロフスクで行はれ、東支鐵道問題の細目交渉は管理局長の任命後ハルビンで行はれるかも知れない、原狀回復は奉露協定後支那側が回收した學校經營、電信、電話、觀測所等の總てを含むものと思はれる

佐分利公使の自殺は驚いた、公使は非常に眞面目な人で奉天で面會した際は兩氏が說明するのを一々ノートに記し一時二時迄も疲勞を覺えない精力絶倫な人で神經衰弱とも思はれぬ

豫備的階段に重きを置く ロンドン會議の出發を前に 財部全權から聲明書

【東京二十九日發電】ロンドン會議財部全權は出發を控へ二十九日午後記者團との公式會見には左のステートメントを發表した

海軍々縮問題に對する帝國の方針は數次の言明並に對英回答に依り中外に明かにせられたる通りにして改めて申述ぶる迄もなく誠心誠意を以て列國と協商し國防の安固を期すると共に國民負擔の輕減を圖り世界の平和に貢獻せむとするものにしてこれがため單に軍備の制限に止まらずこれが縮小を實現せむとする處に在る事は世人の熟知する處なり、而して帝國海軍々備は他を脅かさず只自ら守るに安ずるものにして敢て特定の一國を目標としてこれと敵對せむとするが如き意義を有するものに非ざることは又數多の機會に於て宣明せられたる處なり今回の海軍會議に於ける軍事問題討議が不戰條約の精神を以てその出發點となさんとする趣旨は全然これと合致するものにして英米その他の國も亦等しく之を認むべきは我國民と共に確信する處なり、會議の圓滿なる成功を期するため帝國が豫備的階段に最も重きを置く事は既に對英回答に於てもこれを明示せる處にして既にロンドン及びワシントンに於てこれ等の階段が進行中なる事は周知の事實なり、而して之が內容に就ては今日未だこれを公表するを得ずと雖も我國の主張に對する英米諸國の態度言說中には其の深厚なる好意と誠意とを充分に窺知するに足るものあり帝國亦至誠と率直とを以て列國の立場を尊重し隔意なき相互諒解の上に立ち着々と本會議開催の準備を進めつゝある事を茲に言明し得るは最も欣幸とする處なり帝國の公正穩健なる主張に對し擧國一致の後援を得て本會議の公正圓滿なる成功を期するものなり

條約交渉の 最適任者だつた 愕然と王正廷氏語る

【南京二十九日發電】佐分利公使自殺の報を聽し王正廷氏を訪へば愕然として語る

事實とも思はれぬ程である、公的、私的共に遺憾に堪へぬ、公使は國民政府の良き理解者で自分とは關稅會議以來親交あり彼の人格に心服してゐた、公使の死は支那に採つて一大損失で條約交渉を控へ最適任者を失つたのは遺憾である

た人を失つた事は日支兩國のため惜んでも尚は餘りある、全支亦悲しみ惜むであらう、私は成るべく今日午後箱根に急行する

過去數年間暗雲に鎖された日支關係が公使に依つて舊狀に復さんとする時公使の死は暗夜に燈火を失つたやうだ

何處となく 沈んだ顏 芳澤公使談

【上海特電二十九日發】佛領印度支那に向ふ途中、フランス汽船にて當地に立寄り目下滯在中の芳澤前駐支公使は語る

佐分利氏が自殺しやうなどといふことは信じられない、若し事實としても、その原因がドコにあるか勿論推測できるものでない、ただこの前、賜暇赴任するとき私も東京驛に氏を見送つたが、今氏の死を聞いて考へると當時、氏は何となく沈んだ面持ちをしてゐた

北平でも痛惜

【北平二十九日發電】佐分利公使の報を聽し支那側各方面を歷訪せるに何れも驚愕と深甚の哀悼の意を表し中國民は公使に絶大の期待を掛けてゐたのに或ひは兩國の將來を思ふて其の犧牲となつたのかとも言ひ一人として痛惜せざるはない

眞僞を疑ひ 支那側の驚愕

【上海特電二十九日發】佐分利公使の死は當地支那側にも多大の衝動を與へ各方面とも驚愕するのみにて未だ眞僞をさへ疑ひつゝあるが主なる方面のこれに對する感想を聽けば左の如くである

國民政府外交部歐米局長徐謨氏は語る

自分としては驚くばかりである ただ日支交渉が氏によつて進展せんとしてゐた際、わが支那に多大の好意を持つて當られてゐた公使を失つたことは支那としては莫大な損害であり誠に遺憾に堪へないところである

また外交部辦公處で語る

當局には何らの通知なく殆んど信ぜられない事實としても勿論ない

その原因は豫測を許さず日支交渉の難問題が氏を自殺せしめたなどとは考へられぬ當處では日支交渉に關し何ら關係がないが支那側の主張と日本側の主張とは相當相違があるやうに一般に傳へて居り殊に治外法權の撤廢問題は支那、日本列國の意向一般の輿論等に挾まれて氏は隨分苦しい立場にあつたことは事實だつたらうが、これが氏を自殺せしめたなどいふことはあり得ない

また重光總領事は公使の死は公の事情によるものではなく私的事情によるものであらうと語つた

蔣氏より弔電

【南京二十九日發電】佐分利公使死去の公報に接した蔣介石氏は午後一時王正廷氏と共に個人名義で幣原外相と佐分利氏遺族に宛て弔電を發した

日支の損失 汪公使語る

【東京二十九日發電】佐分利公使の死を聞き駐日支那公使汪榮寶氏は語る

日支通商條約改訂の交渉開始を控へて公使の如き支那を諒解し[illegible]

再開日を繰上げ 早々に解散 政府と共に解散に邁進する 與黨內の有力な意見

【東京二十九日發電】文相の後任者田中隆三氏は山本達雄男松田源治小橋文相等の推薦に依るもので民政黨舊憲政系には相當不平あるも總選擧を前に擧黨隱忍自重する模樣で政府と共に一路議會の解散に邁進すべしとなしてゐる、或は議會再開日を各派交渉會に諮り一月十五日頃に繰上げ多少解散の時期を早むべしとの意見有力となつて來た

民衆に導かれて 大任を果したい 田中新文部大臣談

【東京廿九日發電】親任式に列して首相官邸に歸つた田中新文相は上機嫌で記者に語る

やア有難う、大臣になつたが、さて抱負と言つて何もない、しかし感想を一寸述べて見るなら私の從來の經驗では總じて物事といふものは人を相手に決めねばならぬことゝ、物を相手に經營すべき事とに別れる、後者は相手が物の事とて平素は何の苦情も持込まぬが、間違つた事がつゞけば何時か大きな缺損を見ねばならぬ、これに反し前者は相手が人の事とて三人が寄れば文句が出る、非常に面倒なことのやうに思はれるが實際は必ずしもそうでない、人の文句や苦情を願親切に指導して下さる有難いと心得てこれを味ふやうにしてをれば間違ひは起らぬ、理窟は文部省の事は不馴だが、同じだ尤も基礎的小學校の事にしてからが、相手は皆人だから間違があれば文句が出る、よく訴え求める處を察して行けば大した過失は起さぬ、立憲政治は民衆を指導するものでなくて民衆に導かれ流れに從つて動く事を本旨とせねばならぬ、大臣になつたからとて大威張で大きな事をならべ立てると兎角間違ひが起る、私は民衆の指導と周圍の人の監視により過ちなく大任を果したいと考へてゐる

舊本黨系の 起用だけ 政友會の批評

【東京二十九日發電】田中氏の文相就任につき政友會では小橋氏が舊本黨系である處から其の後任も本黨系よりせねば紛爭する惧れあるので田中氏を起用した迄で田中氏が文教の府の長として適任と云ふ意味でもなく又同氏に何等の抱負經綸がある譯ではない、又小橋氏の辭職したのは越後鐵道事件に關聯してゐるもので閣僚中より斯る怪我人を出した以上文相一人を辭職せしめ當面を糊塗せんとするが如きは斷じて許すべからざる非違であると論じてゐる

東北四省の對米 借欵成立說 交通事業米支合辦を條件に

【奉天廿九日發電】張學良氏の對米借欵說は從來も屢々報ぜられてゐたが最近又復借欵成立說が傳へられてゐる、事の眞僞はなほ不明なるも其傳へらるゝ所によると軍費の捻出に萬策盡きた奉天當局は對外借欵の意を決し米國の資本團モルガン商會に對し借欵の交渉を開始した結果本月初旬同商會より[illegible]異者米奉し數次に亘り交渉を續けてゐたが最近に至り

一、東北省政府に於ける交通事業は今後凡て米支合辦とすること
一、東北政府管內に於ける米國の銀行事業擴張
一、東北政府の森林鑛產事業の米支合辦

等を條件として借欵成立モルガン代表は近く歸米することゝなつたと

滿洲提出案 委員附託 商工會議所總會

【東京特電二十九日發】日本商工會議所定期總會は廿九日午前九時より東京會議所に開かれたが、滿洲よりの出席者は代表委員として奉天庵谷忱、大連藤田(民政)安東荒川ハルビン加藤四氏、野添奉天、藤原大連兩書記長等で、提出議案は

一、奉天票暴落に因る對策として銀券發行方建議の件(奉天)
二、支那官憲の通商妨害に關する件(奉天)
三、東支鐵道問題中心とする露支抗爭に因る經濟的打擊と之が窮境打開方策(ハルビン)

の三案にて何れも代表委員より說明あり委員附託となつた

米穀調査會 決定議案

【東京二十九日發電】米穀法根本策樹立のため設けられた米穀調査會は最初の總會より特別委員會に入り廿餘回に亘り討議の結果廿九日の小委員會にて漸く議案全部の審議を終へた、決定議案左の如し

一、米價基準設定案(生產費並に生計費を基準とする)
二、農業倉庫建設獎勵並に低利資金融通案
三、外米輸入局制度案
四、鮮米搗割移入制と農業倉庫獎勵、低利資金融通案(朝鮮總督府に一任すること)
五、臺灣米移入は放任すること
六、特別會計利子補給案

太田關東長官

【門司特電二十九日發】今朝うらる丸で門司に着いた太田關東長官は夫人令息令孃及び小林秘書官を伴ひ二臺の自動車にて門司若布刈神社延命寺などを見物した後午後一時うらる丸で大連へ向つた

英大使歡迎會

大連に於ける英國教會では二十九日午後一時から大連俱樂部に於て廿八日夜來連のサー、チリー駐日英大使の歡迎會を開いたが英國領事カンニンガム、大藏滿鐵理事、田中民政署長初め主なる內外出席者四十名で同二時半散會した

うらる丸船客

【門司特電二十九日發】一日大連入港豫定のうらる丸船客

太田關東長官、同夫人、小林秘書官、水谷秀雄、醫學博士遠藤繁清、辻村楠造、原田猪八郎、山田浩通、大木長藏、半川多三郎、田所耕耘、片谷傳造、柳澤仲衞、土井梅次郎、丘襄二、青田愼齋、平岡齊、柏木象藏、ブラモンド會社重役クロイトン、ロイド、丁抹領事スチミットジヨンソン

安樂椅子

大正十四年の冬、佐分利氏が通商局長時代文子夫人同伴で北京に赴く途中大連のヤマトホテルで寫眞を撮つた▲ところこの美しい文子夫人は翌年(大正十五年)の九月北京で亡くなつた、當時夫人の死去は佐分利氏にとつて非常な心痛であつたと云ふこと▲常から靜かな人であるが夫人の逝去以來殊に淋しさが色濃く見られてゐたと云ふ、その後ずつと獨身で通して亡き夫人の面影を慕ふてゐた▲ところが先日佐分利氏が久しぶりで大連に立寄つた時、この夫人と睦まじく撮つた寫眞を秋野寫眞通信子がわざ〳〵一枚燒き增して贈呈した▲佐分利さんは喜んで「この寫眞を長いこと欲しいと思つてゐましたよ、これがあれ(文子夫人)の最後の寫眞です、ありがたう〳〵」と云ひ乍ら懷の奧に大切にしまひ込んだと云ふことです。

本日廳報を添ふ

特產

定期後場(銀建)

▲大豆(混保)(單位厘)

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 三百二車

▲豆粕(强調)(單位厘)

普通大豆 出來不申

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 十二萬二千枚

▲豆油(强調)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 三千箱

▲高粱(區々)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 三十七車

▲包米(出來不申)

現物後場(銀建)

	寄付	大引
混保大豆(袋込)	六四二〇	六四六〇
大豆(裸物)	—	—

出來高 六十車

普通大豆 出來不申

	寄付	大引
豆粕	二一八〇	二一八〇

出來高 一萬五千枚

	寄付	大引
豆油	一八六〇	一八六〇

出來高 二千箱

高粱(出來不申)

包米(出來不申)

錢鈔

定期後場(單位錢)

限月	寄付	高値	安値	大引
期近	八〇〇	八〇〇	八〇七	八〇六

出來高 期近 百三十二萬圓

現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	八〇一	一二六八	一四四〇
二時半	八〇〇	一二六〇	一四三五
三時半	—	一二六〇	一四三五

出來高 銀對金 十七萬五千圓 銀對洋 一萬六千圓

商品

後場 出來不申

神戶特產(廿九日)

	先物	
大豆現物	六六〇	五六〇
豆粕現物	一九〇	四〇〇
滿洲小麥		六〇〇
豆油現物		一二二〇

東京期米

限月	後場寄	後場引
十二月	二八八四	二八八四
一月	二八八二	二八八一

神戶期米

限月	後場寄	後場引
十二月	二八七八	二八九〇
一月	二八八二	二八八九

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十二月	二八八二	二八八五
一月	二八七一	二八七六

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	七三〇	七二五
新株	五九〇	五九七
鐘紡	三六一	三五七
新鐘	一〇一五〇	一〇一五〇
日糖	不申	不申
郵船	不申	不申

東京株式(短期)

銘柄	五品	東新
安値	一一六〇	一一八〇
高値	不申	一二八〇
引値	一三六〇	一一三四〇
寄値	一二六〇	一一七〇

橫濱生糸

限月	後場一節當限落	後場二節當限落
十一月	一二九〇	一二七〇
十二月	一二四〇	一二九〇
一月	一二九〇	一二四〇
二月	一二九〇	一二二〇
三月	一二七〇	一二五〇
四月	一二一〇	一二三〇

滿洲日報

殷鑑は遠きにあらず

現實暴露の露支時局に觀よ

さすがの支那も、今度といふ今度は、その慘澹たる弱點を、世界の面前にさらけ出した。勞農側の威嚇に對し、一も二もなくへこ垂れ、國防軍の慘狀を、遺憾なく暴露してしまつた。これでは、いかに强がつても、その事實が伴はず結局は、勞農側の威嚇の前に屈服するより外はあるまい。勞農側としては、勿論、いまだ宣戰を布告せるにあらず、その國內の事情等から、支那に對し、眞に戰爭することの不可能なる經緯がないでもなく、いはば、かりそめの威嚇であつたやうであるが、とにかく、その勞農の威嚇に、一トたまりもなく縮みあがつてしまつたのであるから、今度の支那側の現實暴露は、實に御とも、申しやうのない悲慘事を通り越して、滑稽事とでもいふべきであらう。

そはともかく、逃げる以外に能事なく、働くかと思はるゝは、ただ良民を掠奪するときばかり、といふやうな支那の軍隊、しかも全く戰意がない。さすがの張學良司令の動員命令さへ、反古同然に顧みられぬ以上は、萬事休すで、勞農側に屈服し、東支鐵道を原狀に還元し、以て當面を糊塗することにせねばなるまい。

もと／＼露支の紛糾は、支那側の權利回收の夢に根ざし、例の理不盡なるクーデターによつて、東支鐵道を占收した結果に外ならぬのである。張景惠氏が、東省特別區行政長官となるや、その下に督辦長たる張國忱氏らの野心にそゝのかされ、無理押しに、暴力を以ても東支鐵道を回收せねばならぬとの方策を立て、それには、奉天における張學良氏も、一も二もなく贊成し、勞農側の、全く爲すなしとの誤診を信用し、つひに今春のクーデターを敢てすることになつたのである。然るところ、昨年多易幟以來、東北四省の統制に野心滿々たる南京政權も、東支鐵道の收益に着眼し、外交權統一の名義のもとに、露奉の交渉に割り込み、露支（といつても勞農と南京政權、奉天政權は同じ支那と內といふもの、南京政權の意思には統轄されぬ）交渉によつて、東支問題を、南京側に有利に解決せんものとあせつた。朱紹陽氏などを、はるばる滿洲里まで特派したのも全く露奉の間に、漁夫の利を占めんとした南京政權の策動であつたのである。がしかし、朱は全く勞農側より翻弄され、面子を喪失して引き下つた。その當時から、いや最初から、奉天政權には、對露交渉を、奉天單獨にて解決せんとするの肚があり、最近に至り、奉天における最高會議の結果、やつぱり哈爾賓交渉使の蔡運升氏が、勞農側に受けがよく、彼を働かしてゐるところに、今次の威嚇が襲來し、支那國防軍の弱點が、遺憾なく暴露されたから、周章狼狽したのは、何といふても先づ第一に奉天政權であらう。

かくなる以上は、面子も何もあつたものにあらず、南京側のいふことなど心にかけるの必要は更にない。ともかくも當面を糊塗して北邊の時局を收拾してゆかねばならぬといふことになり、東支鐵道の原狀還元はおろか、いかなる犧牲を拂ふも、勞農側の威嚇政策を中止さし實はねばならぬといふことになるは自明の理である。

時局が、かくまで切迫せぬ折、南京政權の信賴し得ぬことを痛感した奉天政權は、この大連において、この露支の紛糾問題に關し、嚴秘裡に露奉の交渉を開くことに、そて、交渉を進めつゝあつたのであつた。然るに、形勢は急轉直下し、支那の無力を、餘り實力の伴はない勞農側の面前にさへ暴露したのであるから、滿洲里における梁忠甲氏の屈從と同じく、奉天側としては、ハバロフスクが、よしモスクワであつても、勞農側の交渉に一割などと、應諾せねばならぬ實情に置かれてゐるものと申すべきである。

奉天政權や南京政權が、對外的に、いくら威張つたところで、その實力の伴はぬこと、概ねこの類である。支那の實情といふものが、いまだ、そこまで進んでは居らぬのである。共產革命以來、疲弊に疲弊を重ねつゝある勞農ロシアに對してさへ、かくの通りでありとすれば、その他は推して知るべきであらう。何といふても、支那はやつぱり依然たる支那であることに相違はない。而して外交權の統一制などと、近代的國家を眞似んとしても、支那の現實が現實であり中央政權の確立なく、地方政權の分權が、相當に有力なる實情にある以上は、南京政權の思惑なども全く夢物語たることを知らねばならぬであらう。この現實の支那を領得することなくして、支那の時局を收拾せんとする支那人、支那問題を解決せんとする外國人、いづれも結局、勞して功なきことに終るのではあるまいか。殷鑑は遠きに求むるまでもなく、露支の時局が、何物よりも雄辯に、萬事を物語つてゐる。」

避難者の群でごつた返す哈爾賓

南行列車は毎日鮨詰め

支那大官の夫人連は奉天引揚

【ハルビン發】東支東西兩部線は露軍の積極的軍事威嚇で避難民はハルビンに連日殺到し、驛三、四等待合室は勿論のこと一、二等室も身動きもならぬ程の雜沓で、東西兩線から到着する旅客列車は文字通りの人間の鈴生りである

氣早の連中 は家財道具を引纏めて南下するが萬福麟氏の夫人等は既に廿五日洮昂線で洮南に避難し、ハルビンの文武官の支那夫人で奉天に引揚げるものも多い、長哈南行列車は其等の避難乗客で毎列車ともに充滿してゐる、白系露人のうちにはハルビンに見切をつけて上海方面に逃げるものありソウエートの國籍を有し東鐵に從事してゐるものでもソウエート幹部が再び東鐵に來る時は行動を共にしなかつた爲めに如何なる壓迫を受けるか判らぬので戰々恟々としてゐる、特別區警察管理處にて發給してゐた

露人の護照 は廿八日限り管理處の事務室を撤廢し警察街の一事務所に移轉することになつたが、旅券査證を求める白系露人

避難支那大官

【長春發】哈爾賓方面から避難して來る支那大官の家族は益々增加する一方であるが、今日まで長春を通過した知名士の家族は東鐵管理局長范其光、副理事長李章庚、督辦呂榮寰夫人及び家族であるが殺到し午前十時から午後四時まで一日平均百名以上の露人が列を造つて押しかけてゐる

第一線として興安嶺を防守

以逸待勞支那軍の戰法

【ハルビン發】東北第二軍長胡毓坤氏は部下四萬の大軍を統率し滿洲里を奪回するとの氣勢を示し、張學良氏の指令を仰いだ處、興安嶺自然の天嶮なればこれを第一線として防守し、露軍の襲來に以逸待勞の戰法で當れと訓令あり、博克圖を司令部として興安嶺を守備することになつたが、大敗した軍隊を整頓した後一時露軍が積極的に出て來ない場合は又々例の强がりを主張することだらう、これは咽喉もと過ぎて熱さ忘れるの類である

◇海外兒童へクリスマスの贈物◇

日本少年赤十字團では今年も海外四十八ヶ國の兒童にクリスマスの贈物をすることになつた【寫眞はその贈物】

海拉爾戰で正體を暴露

支那軍豫定の退却を在哈各國人は嘲笑

【ハルビン發】赤衞軍が屢々國境を襲ひ支那に威嚇を與へてゐた當時にあつては支那は不戰條約を高唱して世界の輿論に愬へに努めてゐたが、ヂャライノールに次でハイラルに於ける勞農軍の太腰の攻勢振を視て

一溜りも 無く潰走し「これは豫定の退却である」と聲明し「ダウリヤを一氣に攻略しカルイムスカヤより沿黑龍の背後を遮斷する」と豪語した胡毓坤氏が衆に先立つてブヘトに退却し美事な逃げ振をみせたので、一般外人方面では「常に內國戰で訓練された支那軍隊であるから斯うももろく敗退するものとは考へてをらなかつたが」と支那軍隊の統制力なきと殆ど無秩序な指揮に惘いてゐる、彼等が慷慨悲憤し排外思想の宣傳に氣勢を擧げ中國二百萬の軍隊を高潮し不平等條約の撤廢法權回收を絕叫し被壓迫民族の解放、打倒帝國主義の行進曲で勇ましく

租界回收 のヂャンズで熱血の迸り出る示威運動をすれば「眠れる獅々は目覺めり」とヤング、チャイナの前途に光明の面影ありと囃し立てたのであるが、眠つた獅々は依然として事大思想の蒲團のうちに包まれ、外面的に誇張してゐる强がりは紹旬支那式の粉飾であつたことが判つたのである、眠つてゐる獅々は永久に醒めない阿片の魔藥に耽つてゐる――在哈各國人はこの現狀を直觀して「支那は矢張り支那であつた」と皮肉な嘲笑をもつて迎へてゐる、支那側の輿論は興安嶺を第一線として死守し假令東北軍は

最後の一 線に至る迄も「瓦となつて全きより玉碎するにしかず」と例の甲高な調子で激勵して不戰條約は歐米人の注意を惹かない、對露の戰ひは既に一東路問題を離れ民族主義戰ひとなつた東方赤化の侵略を防止する戰爭である――我四億の民は一億五千萬のスラブ民族のために征服されるか否やの危機に直面してゐるのだと囃たてゝゐる、飛行機五十臺をもつて散々に脅威されては百萬の大軍も一片の鐵筋にも及ばない、まして案山子のやうな掠奪主義の暴兵では東北政權の今日までの威嚴はこれによつて俄然地に墜ちたものである

南征雜錄（46）

難波勝治

墨ご醫師

斯く醫師の自由開業は禁止されたが、それは必しもメキシコの醫術が進步した爲でも、日本醫師の信用がなくなつた爲でもない、寧ろ無資格者が淘汰されたことに依つて、正規の開業醫は一層安定を得たらしく思はれる、尤もメキシコ市及び歐米人の

多數住居 する地方は、それ等の諸國から入込んだ競爭者があつて、段々顧客が得にくくなつたさうだが、太平洋岸や南部各地では頗る人氣好く、ダスマン小林柳章君の如きは殆んど毎日來診客の應接に遑ないと話して居た、タンピコの渊醫師と並び稱せられる斯界の長老は、マサトランの清水齊雄醫師だが、本籍は山梨縣、曾て金澤醫專に學んだ後北米に渡りデンバーで數年間の苦學と經驗とを積んだが、マサトランに來住してから間もなく革命に遭遇した、當時は在留邦人の數も非常に少なく

兵馬倥偬 の間に總ゆる不便と戰ふたが、メキシコ政府の信用を得て大佐相當官の待遇を受け一時は毎日五千ペソ位の收入があつた、紙幣相場の非常に下つた時分だつたが、併し亦能く儲かつたさうで、勢ひに乘じて君はロステホネス金鑛の大株主となつた、これは過去十餘年間隨分喧しかつた事業だが、君の出資額は彼これ十萬近くに上つて居る、併し今は專ら餘力を土地に投資し、市街地約六萬米突、借家三十戸許りを所有して居る、溫厚篤實の長者だけに民間の信用深く、毎日百名乃至二百名の

來診者が あつて、殆ど寸暇ないが、朝から夕方まで殆んど寸暇ないが、斯した間にも君は常に思ひを民族發展の上に注いで居る「メキシコ今後の政情は漸次北米の勢力に支配され、その感化の下に經濟的發達を遂げるであらうが、メキシコ人自身が果して自主獨立の繁榮を贏ち得るや否やは疑問である、唯肝要なのは日本人がこの間に善處して確乎たる地步を占むることだ、メキシコの自然は無限の富源を有するが、之を開拓する者は知識と勢力とである、左ればこの

其努力の 結果を利用する人の奮闘は固より必要だが、例へば農家の如きも生產者の堅實な組織を樹立せねば共に市場の販賣權を掌握し、外人と伍して遜色ない信用を握ゆべきである、自分は風に着眼して市街地に放資し、殊に五十餘町步の耕地を郊外に於ける……果樹の栽培や雜穀の住……

我國官民 も惡くない、之は甚し注意すべき點であらう」……

Greeting from Mazatlan Mexico ／ Kawaga Family

人の聲

投書歡迎　新聞行數五十行以內のこと　中傷を目的とするものは採らず

緊縮の眞意義

鐵嶺　田之上長江

緊縮々々の聲は轟々として渦卷く、曰く生活改善、曰く石炭の値下、曰く電燈ガス料の値下、曰く家賃の値下、曰く等等々、此の我等細民の眞の叫びは既に報いられつゝある、これは我等の指導者たる言論機關の賜に外ならぬ事を感謝する者であるが、其の反面に徒に資本家に反對せんが爲の論評に依て我等無智の者を附和雷同せしめ益々惡思想を煽り堅實なる社會を毒するものあるを悲む、我等はよく聽く「無い物は拂へない」と、然り無き物は拂へない、しかし三四個月も僅の電燈料をも拂はずに只「無き物は拂へぬ」と毒つく事が許され、送電中止を不當と堂々と紙上に書き立て得る現代の思潮を甚だ悲む、共產主義は吾國家の容れざる處、愚な私は「無き物は拂へない」此の思想を赤化思想と見る、此の思想のある間は滿蒙の發展は百年河清を待つに等しいであらう、見よ無き物を拂へぬと云ふ者が洋車に乘り、芝居を見、入々麻雀で豚饅を食ひ居るを、そしてストーブの前で股ぐらを眞赤にして一多二三噸しか焚かない炭價に就て明快なる議論、吐き夜ふかしするをば、よく日本人は物を損で買つて拂はうとしない、乞食呼はりする殊に然り、惡習慣が大は……小は日常の取引に……を及ぼしつゝあるか、……線に立つ同胞よ、緊縮……拂へる自信が出來て初……めるにあるではなから……料が拂へねばランプに……ければ高粱に、其の意……電燈料が、石炭が、米……いとて何のその、滿鐵……國家が富むのではない……先輩の血を流せ……辛苦……けば足りる、華人を見習……は金を用意して然る後……我等が彼等の長所を見習ふ事によりて滿蒙の發展は得られる、歐して働け

滿日地方版

奉天

石炭の需要が例年の半分 近年にない暖氣に

[illegible]

……に行くために先づ大……來たしか懷中無一文同地警察の保護を受け四日來奉したもの丶別……もないので同夜は鐵西……所内に入りこみ一夜を……け夜安奉線で橋頭に行……ある知人に惠んで貰ひ……郎に行くべく橋頭まで……方を驛員に交渉中であ……であるが僞名してゐた……罪はないかと引續き取……共に郷里にも照會中で……

緊縮委員會決議事項

[illegible]

火連寨地方に牛疫

[illegible]

邦人の無賃乗車

不景氣の生むこれは又珍しい機關車に乘り込んだ邦人の無賃乘車…香川縣琴平町生れ住所不定大工近石米吉([illegible])は廿八日朝四時半頃新民驛に於て乘車券なきため人の氣付かぬ機關車の車の下に隱れ文官屯まで來たが車の間から思ひがけない人が飛び出したといふので發見され直に逮捕し目下取調中である

怪しい邦人 奉天署で取調

去る廿六日午後八時ごろ奉天驛三等待合室を徘徊する擧動怪しい一邦人を認め取調べをなさんとすると中川とか森本林とか曖昧な事を云ふので遂に本署に連行し廿七日取調べた結果左の如く判明した
彼は福岡縣安德村生れ無職森勝衛門(四〇)と稱し一攫千金を夢みて本年九月大連に來り同地で就職口を探してゐたがこれといふ處もないので同地聯德街居住某滿鐵社員宅でボーイを勤めてゐたが一家の都合によつてそこ……

町の便り

十一月二十八日銃砲火藥取締違反として領事館法廷に於て判言渡されたものは市内青葉町七番地德佐茂(三〇)琴平町一番地松岡良太郎(三四)青葉町十四番地西岡明(二二)の三名で何れも罰金卅圓に處せられた
◇
市内汎島町二番地中央旅社周田貴方炊事夫孫波仁(二三)はこの程同家に雇はれたばかりであるが前からゐた炊事夫楊月貴(三八)と仲惡しく二十七日午後五時頃同炊事夫劉榮と共に楊を別室に呼び込み約一ケ月の打撲傷を負はしめ逃走し南市場附近を徘徊中を周が取押へ目下取調中
◇
廿七日午後一時二十分頃下り十一急行列車が沙崗南方六百米附近に差掛つた際踏切りを横斷せんとした一支那人が折から來つた上り十六列車のみに氣を取られて十一列車に氣付かなかつたため遂に同急行に跳ね飛ばされ即死した身許一切不明
◇
長春州車區煖房方劉炳恒(三四)が妻を同伴廿七日十四列車に乘り込み中固驛附近に差掛つた際同列車から墜落した事を妻が知りそれと手配した處廿六列車が進行中劉が虫の息となつて横つてゐるのを機關手が發見し直に同列車に乘せ鐵嶺まで送り目下治療中であるが生命には別條ないと
◇
最近市内にチブス患者續出し今月に入つて既に三十名の患者を出してゐるので之が防止策として二十八日午後一時から警察、醫大關係者は地方事務所に參集し衛生委員會を開き種々協議する處があつた

人事

▲藤田關東軍經理部長 廿七日遼陽より來奉
▲中尾長春署長 廿七日歸長
▲山形自治講習生一行卅一名 廿七日赴連
▲陸軍省派遣戰跡撮影隊一行 廿八日安奉線にて歸國
▲光井與四郎氏(新任勸業係商工主任) 二十七日夜着任
▲サー、チレー氏(駐日英國大使)令孃一行二十八日急行にて赴連
▲ロバート、スミス氏(英國クリスチアンサイエンス紙記者)夫妻 二十八日安奉線急行にて來奉同日哈爾賓へ
▲ゼーテイスケシト氏(萬國工業會議米國出席者)一行三名二十八日長春へ
▲柏桂林氏(兵工廠教務長) 今回露支戰線の督戰司令に任命さる

完成した旅順の新埠頭

旅順

滿鐵新埠頭に最初の横附 上海からの新屯丸

旅順の新設埠頭は二十七日の初入り貨車四輛が粉炭九十餘噸を卸し一般の埠頭氣分を現したのに引續き二十八日は午前六時二十分の貨物列車が三十三噸積粉炭を積載し十一輛、新設埠頭に引込まれ即時貨車卸しの活氣を呈した、大連汽船所屬の新屯丸千七百八十四噸は二十八日早朝上海から入港、直ちに新埠頭へ横附され同時に二百餘名の福昌華工に依つて粉炭は刻々船艙に運ばれる、又東寄の一部には三千二百平方米のバースが數百名の苦力に依つてトロの運行土砂の埋沒で彌が上にも活氣を呈し胸が躍る樣だ、未完成のバースが出來上ると全長約三萬平方米の岸壁が出來上るのであるが總經費は約五十六萬圓を要したので一股ぎ約二尺の土中には千五百圓程が這入つてゐる、長さ一八米、幅四十サンチ、厚さ十六ミリのシートパイルは最新式のドイツ製ランデン式で一枚二百圓を要する物が七百枚いづれも海の岩盤へ五米の深さに埋沒され日本一と云はれてゐる鶴見の三井の岸壁に使用してゐる十六米五十のシートパイルより一米半大きい物であるから正に東洋一と云つても好い、新設埠頭へ初横附された新屯丸は粉炭二千五百噸を積載の上二十九日の夕刻寧波に向け出帆の豫定であると

初荷役の祝賀

初荷役を行つた旅順新設埠頭では新屯丸入港と共に二十八日大連から關根船舶主任や九里旅順驛長古藤パイロット松尾旅順販賣主任三浦築港監督等は各關係人一同と共に記念撮影の後事務所に於て冷酒を酌み自祝する處があつた

撫順

苛斂誅求や大金の横領 縣民怨嗟の的となる 張某の地位危し

撫順縣の最要位にある張某は省政府の命令なりと稱し一般商民より印花税、脱税に依る罰金等の名目で約三萬圓、千金寨水害の際の炭礦の見舞金五萬三千圓の内羅災民には僅かに一萬七千圓を與へその大半たる三萬六千圓を横領計六萬六千圓を着服せる事暴露したとかで、武商總會長、白農務會長始め一般商民の怨嗟の的となり排斥の聲は今や全縣に瀰漫せんとしてゐる、右内容を探聞するに張某は私服を肥やさんが爲に印花税その他の二重課税を一般商民に課し、若しそれを納付し得ざるものは極端なる罰金、罰金を納付し得ざるものは體刑に處するなど辛辣を極め、商民は罰金納付の金を得べく妻、まなむすめ等を魔窟に賣拂ふの餘儀なきに至るものも相當あり、尚破産者續出するに至り且つ前記多額の撫順炭礦よりの見舞金の過半を着服するなど支那ならでは見られぬ暴政の限りを盡した結果、農商會長等は塗炭の苦みをなしつゝある商民を代表して同人排斥陳情の爲め赴奉するなどのごた返しを續けてゐるが、同人の罷免されるも近きものと觀測されてゐる

滿蒙植物の採集雜話(9) 旅順 佐藤潤平

第二編(四) 北滿のお花畠(A)

北滿のお花畠とはこゝでは大興安嶺のお花畠を云ふのである。大興安嶺は海拔僅に二三千米突にすぎないがその地北邊してゐるので高山のお花畠の氣候に相似よつて居り、從つて高山のお花畠のやうな現象を現出するのである。

即ち五月の下旬エゾムラサキツツジやオキナグサの類が春を告げそれから八月の末までが植物の生育期で九月に入るともう霜を見また雪が降ることがあるから正味植物の生育期は六、七、八月の三ケ月よりなくこの間に各種の植物特有の大きさまで成長し、花を開き實を結んで來るべき聞くも恐ろしい零下四十何度とか云ふ所謂嚴寒を越す準備をしなければならぬから、その成長が實に忙しいものである。實際落葉松などの樹を見てゐるとその成長が目に見えるやうな氣がする。

五月の下旬エゾムラサキツツジが雄大な山野即ち大陸氣分の含まれたゆるやかな山の斜面を紅に飾り、オキナグサの類即ちキタノオキナグサ、ホソバオキナグサなどが「原の草叢を紫色に織るなど北滿特有の春氣分に打たれる。

六月に入ると各植物の生育よいよ〳〵急となり、所謂百花爛漫の景を出現して全山お花畠と化する大興安嶺のお花畠は高山のチッポケなお花畠と異り、實に雄大なもので大陸氣分がたつぷり含まれてゐる。何にしろお花畠のうちシベリア鐵道線が通ふてゐるによつてもその雄大さ加減さがうかゞはれる。

ハクサンイチゲは六月の初旬野に群生して人目を引く。アルプス山下の一小村落ミルケの諺に「我をして白山一夏の如く岩燕の如くに赤からしめよ」といふことあり。眞に此の花の雪の如くに白きは譬へ難くが如き潤澤があつて。恰も珠を磨くが如きものあり、人をして慣れ親ましめず自から渇仰の念を生ぜしむる。

ハナカラマツサウは群生することなく散生して他の草花と相和して北滿の草野を飾り、その花の白きはいと優雅に見える。この頃シロバナヘビイチゴもその白花を草叢に見せて後日ジャムの材料を提供するもの丶如くである。

オホゲンゲ葉は羽狀複葉で花莖と共に簇生し花穗は實に美しい紅紫色で草叢に群生してゐる狀は紅玉の華曼を點綴したるが如く、採りて山姫の髷となし無心の愛にその日を暮りたい感がある。

スギナゲンゲ、從來本草をスギナエンドウと呼んでゐたがエンドウと名がつくと蔓を思ひ出されるので此の草の形態とは一致せず、私はスギナゲンゲの方が本草に最もふさはしい名として改めたものである。スギナのやうな葉と花莖と共に簇生する狀は前種に類似するがその花穗色淡く花期又早く六月初旬にあり。本草の群生してゐる狀も前種には劣らない程である。

【寫眞(上)ハクサンイチゲ(下)スギナゲンゲの群生と標本】

鞍山

滿期兵 三十日出發

滿二ケ年酷寒酷暑と戰ひ鐵道警備に在留邦人の生命財産保護に其の大任を全うし三十日滿期除隊となつて懷しい故郷に歸る事となつた鞍山守備隊下士二名及兵卒四十名は、同日午前六時十分發の北行列車で離鞍する事になつたが、市民は可成多數驛頭で見送りませう

除隊兵に感謝 記念品を贈る

林地方事務所長、加藤實業協會長、石川地委副議長、堀區長總代の四氏は市民を代表し二十九日午前十時守備隊を訪問し滿期除隊兵四十二名に對して在任中の勞を謝し、在鞍記念としてグラス製灰皿一個宛を贈呈した

モーターカー顚覆して負傷

櫻桃園採礦所員入鹿山某は二十七日午後四時頃鞍山よりモーターカーを操縱して歸所の途中、沙河附近に於て轉覆しその激動に依つて入鹿山は線路上に顚倒しモーターカーの下敷となつて腰部に重傷を又同乘して居た大瀨某は線路外に振り落されて輕傷を負ひ、直ちに滿鐵醫院に收容し手當中であるが顚覆の原因は何者か線路上に石を置いたものらしく目下取調中であると

教化動員協議

三十日午後一時から警察署樓上に小中兩學校長、神社神職、各宗教家、實業青年團長、在鄕軍人分會長、白百合會長、修養團支部長、青年聯盟支部長、家庭研究會長等參集の上教化動員に關する協議會を開催すると

輸入組合協議

鞍山輸入組合では二十八日午後七時から實業會室に於て定例役員會を開き、共同カレンダー作製の件、歲末聯合大賣出しの件、持口數限度評定の件、小賣商店々主協會より要望の消費組合の件其の他に就て協議する處があつた

賣藥業者に戒告

鞍山警察署中木衛生係主任は二十七日午前十時賣藥營業者六名を同署樓上に集め近時各地の藥品營業者間に於て其の筋の目を掠め禁制品を取扱ふ者が多くなつた樣な傾向であるが、幸ひ鞍山にはそうした不正業者を見ない事は結構なことであるが、今後之れを發見した場合は法規に依つて苛責なく處分すると、一場の訓戒をなした

琴曲師匠招聘

鞍山に於ける琴、三絃の同好會では斯道に權威ある師匠を招聘して之れが向上を計るべく豫てより計畫中であつたが、今回奉天滿鐵音樂會部講師名和榮治郎氏の推薦に依り近く大連から來鞍當地に永住する由であるが、入會希望の向きは大正通り村松夫人まで申込まれたいと

熊岳城

落花生 出廻り旺盛

滿洲特產物中の主なる生產品として熊岳城を中心とする落花生の出廻りは今や出盛りとて、多數各地よりの華客當地に乘り込み驛ホームに押し寄する運搬の馬車は毎日數百車に及び、山積みされた落花生の山に驛貨物係に於てはてんこ舞の多忙を極めて居る、今年は戰亂の爲め北滿行きは舊台に少きも大連方面へ向け新に搾油用食用として輸送せらるゝに至り相當多量の發送を見るに至つた、目下の相場は現地引受百斤に付き現大洋五圓内外の由

旭萠會演奏會

當地岡島旭萠會に於ては現政府教化總動員令の趣旨を體し、國民思想善導のため國民に正しき歌舞音曲を普及せんがため、來る三十日午後七時より演奏會を滿鐵俱樂部に催し入場無料を以て公開する由

鐵嶺

持兇器强盜横行 物騷極まる鐵嶺近郊

最近鐵嶺近郊に持兇器辻強盜續々と出沒し通行人を脅迫して金品を掠奪し其の被害少なからず、支那側では極力犯人逮捕に努力してゐるらしいが未だ就縛しないと、最近二、三日の被害のみでも
▲二十四日午後五時頃縣下東芦溝堡馮國勳外一名が城内からの歸途興隆店西方に於て二人組の追剝に襲はれ奉票九百四十元衣類等強奪され
▲二十五日午後五時頃組麗先外一名は柴河北岸を通行中四人組の一團に襲はれ一名は右大腿部を刺され拳銃で脅迫されて大洋二十五元奉票千五百七十四元馬四頭を强奪されたが、馬は翌日平頂堡附近で發見した
▲二十六日午前八時頃には大汎河渡場土豪子附近に於て通行の農夫が襲はれ馬三頭を奪はれ
▲同日午前八時頃にも遼海屯附近で農作物賣却の農民十餘名打連れて歸路を急ぐうち三人組の一團に襲はれ所持せる二萬元全部を掠奪されたと

醫大の演奏會プログラム

奉天醫大スケート部の歐洲遠征援助の爲め既報の如く同大管絃樂團は今三十日午後六時より當地小學校講堂に於て大演奏會を開催一般に公開するが、入場料は大人五十錢小人三十錢とし入場劵は圖書館、松屋運動具店、大和屋書店等にて前賣りする、演奏プログラム左の如し

一、開會の辭 小野鐵嶺醫院長

一部

一、高等學校行進曲 オーゲストラ
一、砂漠の沃地にて マンドリン オーゲストラ、四重奏
一、スケルツオ、ミリテール マンドリン、ソロ
一、ドナウの小波 オーゲストラ

二部

一、エリヂールダモーレ マンドリン、オーゲストラ、バイオリン、ソロ
一、ドンヂ、オバニー マンドリン、オーゲストラ
一、バリトンソロ 東海林太郎、
一、マンドリン四重奏
一、軍隊行進曲 オーゲストラ

同團本日午後一時半から特に駐箚隊に於て慰問演奏會を開催すると

列車から墜落 全身に大怪我

廿七日午後九時鐵嶺驛着第十四列車が開原平頂堡間進行中列車から振落されたといふ乘客あり、其妻が鐵嶺驛着と同時に屆出で大騷ぎをしたが、右は長春列車區備員劉炳([illegible])と稱し妻王氏を引連れて奉天に行く途中滿鐵乘車證を所持するので急行料金は不要と思つてゐたところ、車掌から請求されたので業を煮やし車中で火酒を呷り醉つ拂つてデッキに出たところ全速力で走る急行の動搖に一たまりも無く振落され、全身數ケ所に打撲傷を負ひ人事不省に陷つたのを巡邏中の守備兵に助けられ、二十八日鐵嶺醫院に入院したが生命に別條なしと

民會の議員會

當地居留民會では來る三日午後六時より事務所に於て通常議員會を開催左の議案を附議すと
一、昭和四年度上半期收支決算
一、同賦課金未納及缺損處分の件
一、同上半期所有財產報告
一、昭和五年度上半期賦課金查定
一、同收支豫算の件

茶話會協議會延期

昨日開催の筈であつた鐵嶺茶話會設立協議會は都合により今三十日午後五時半より滿鐵クラブに於て開催すと

大石橋

澤幡巡查殺しの李頭目は親の仇 檢擧されて香玉悅ぶ

本日二十一日支那官憲に引渡しを了せる馬賊頭目李洪臣の情婦香玉には悲慘なるエピソードがある、香玉の父は曾て該頭目に人質となつて慘殺されたので香玉は彼に身を任せつゝも復讐の念に燃えてゐたが纖手の能く爲すなきを涙を呑んでゐたものであるが今回檢擧されて親の仇を打つて貰へることになり非常に歡喜してゐると

伊藤社司着任

新任大石橋神社々司伊藤美都雄氏は二十八日急行十一列車にて家族帶同着任、驛ホームには多數出迎へ者あり挨拶の上社務所に入る

營口

大泥棒逮捕せらる

去る二十七日南本街淡路政太郎氏方に忍び入りたる犯人については營口警察に於て極力搜查中であつたが同日午後四時ごろ舊市街路上に於て擧動怪しき支那人を發見し尾行し來りたるに、新市街の入口、タルク會社前に差掛るや愈々擧動怪しいので直に取押へ、本署に同行取調べたるところ思ひ掛けなくも淡路氏方に忍び入りたるのみならず川野佐吉、長谷川熊太郎方へ忍び入りたるものも此奴なることが判明、犯人の申立による贓品隱匿の方面に徹宵活動し續々と山なす贓品を引揚げて來た、近來盜難頻出に居住民を脅かして居た大泥棒も署員不眠不休の活動に依つて檢擧せられ安堵の胸を撫下すに至つた、犯人は前科八犯連類者も多數あることゝて續々檢擧さるゝ模樣である

長春

西公園スケート場 十二月一日から開く

待ち焦がれてゐた西公園潭月池のスケート場は本年が例年より寒氣の遲れた爲めに開場するに至らなかつたが、一兩日前から一段と寒氣が加はつて氷の厚味が增したので、愈々十二月一日から開場すると

除隊兵 三十日出發

當地守備隊更代兵四十二名、三八聯隊除隊兵三百名は何れも三十日當地發內地に向ふ筈

教化聯盟行事

長春教化聯盟の十二月行事として左の通り常任委員會で決議した
▲十二月一日 第三回國恩感謝デー
▲十二月中 時間尊重の時
一、公私集會時間の勵行
二、時の空費を戒め業務の能率增進並に思想の向上人格修養の爲め活用すること

終航は遲る

北滿露支時局の影響を受け南下貨物の激增に依り當港は例年になき活況を呈し、時に本年は暖氣の爲め終航も例年に比して後れ終航は多分十二月五日出帆の岡崎汽船八千丸代なるべしとのことである

安東

滿期除隊 本日內地へ

連山關獨立守備第四大隊の滿期兵除隊式は二十八日連山關本隊に於て執行され、安東よりは四十五名の滿期兵と同下士三名に大津中隊長以下多數參列した、尚今期安東滿期兵の安東出發は三十日午後五時三十分であるから一般市民も擧つて見送られたいと

司法官會議

安義司法官會議は三十日午前九時から安東署に於て開催される事に決定した、近來安義兩地には司法關係事件が山積して居る事とて今回の會議は安義兩地市民より期待を以て迎へられてゐるが、會議は相當永びく模樣である

親和會の献金

安東驛親和會評議員會では國債償還獻金問題に對し滿鐵社員會より贊助を求めて來たので、二十六日協議會を開催した結果次の如く決議した
一、献金額は各自の任意とする
二、献金は復興債券又は無記名公債で差支ない
三、献金は各係で取纏め十二月五日迄に庶務係に通知する事
四、現金は十二月俸給から差引く事

音樂と講演會

東京中外文化協會員一行六名は今回音樂趣味普及及び正しき音樂の紹介の爲め十二月一日地方事務所社會係後援の下に安東高等女學校講堂に於て午後六時三十分より講演と樂器音樂の實演を開催する事となつた、料金は大人金五十錢、學生小人金二十錢にて多數來聽を歡迎すると

平北技師更迭

平安北道技師松井猪之助氏は二十五日附を以て平安南道技師に轉任を命ぜられた、後任としては現產業技師本田孝氏が任命されたと

岡見氏永眠

元南滿電氣安東支店長岡見正治氏は心臟病と痔疾に冒され本年初めより伊豫松山市小川ツギ方で專ら靜養中であつたが二十六日午後二時遂に永眠した享年五十四

モグリ損ねる

二十六日午前十一時頃採木公司に風體卑しからぬ一日本人が訪れ來り、新義州中之島營林署構內に水天宮分社を建設するからとて喜捨を依頼せるが、課長不在の爲め斷り立去つた後警察に問合せたるところ許可せる事實なく警察では同日午後二時三十分頃八番通五丁目路上に於て逮捕本署に引致取調べるに、原籍長崎縣東彼杵郡下波佐見村皿山鄉一六一無職本山義美(三三)にて新義州府及び中の島在住の知名の士の名を書連ね僞造印鑑を捺したる寄附帳を所持し居り一儲けせんと企んで居たものである

遼陽

演能大會開催 斯界權威集る

遼陽謠曲聯合會では滿鐵の後援で十二月一日午前十時から斯界の權威者森川莊吉、片桐綾作氏等廿餘名を招聘して小學校講堂內に舞臺を設け演能大會開催の準備中であるが、當日は駐箚軍隊の將校及び同家族も招待慰安すと當日の能題は
△清經(觀世)稻本勇、泉泰一郎、久津見晴一外
△蟬丸(寶生)片桐綾作、森川莊吉、牧野壽太郎外
△藤戶(觀世)泉泰一郎、林猛、平山武夫外
△黒塚(寶生)片桐綾作、久津見晴一、平山武夫外

囃子

△枕慈童 森川千賀江、池田之榮、三原豐外

狂言

△鼻取相撲 土田他吉郎、岡田久太郎、瀨崎久雄
△因幡堂 松本謙三郎、龜川允俊
△棒縛 土田他吉郎、龜川允俊、瀨崎久雄
附祝言千秋樂

警察互助會

遼陽警察署では署員相互の困厄に際し融通救濟をなす目的を以て今回警察職員互助會を組織した、內容の概略は監督者一時出資卅圓巡査[illegible]

咄堂氏講演日變更

加藤咄堂氏の講演は四日夜公會堂に於て開催の豫定なりしが、旅行日程の變更不可能の爲め四日午後八時二十四分來原一泊翌五日午前八時より開原[illegible]

開原

冬期射場新設せらる

開原弓道部にては年と共に弓道の隆盛に向ひつゝあるが、多年射場なく練習し能はざるを遺憾とし之れが新設につき種々奔走中なりしが、本年漸く其希望を達し滿鐵俱樂部道場內に射場を新設し多手射的を練習する事となり、十二月一日午後三時より同所に於て發會式を擧行する事となつた、同好者は奮つて來會され度いと、尚同射場使用時間は毎日午後四時まで日曜日は終日使用差支なき由なりと

空巢狙ひ御用

二十七日午後一時頃當地敷島街滿鐵社宅大慈味方留守宅の便所窓を破り屋內に侵入したる賊あり、夫人の歸宅に驚き逃走せるが屆出により追跡逮捕された、同人は奉天某客棧の客弓習文華(二七)と稱し當地へ來るまでに既に鐵嶺に於ても同樣滿鐵社宅某家の便所の窓を破り侵入金側懷中時計、腕卷時計、置時計現金等を竊取せる旨自白狀りと

强盜被疑者

去る十月四日掏鹿大街[illegible]米店に三人組の强盜侵入せるが、開原當局にては搜查中原籍山東省潛河縣解家庄住所不定王成文(三七)を被疑者として去る二十五日開原城內で渡部刑事等逮捕し取調中なるが同人は前科五犯のしたゝか者なりと

咄堂氏講演會

加藤咄堂氏の講演會が廿八日午後零時半から滿鐵道場で開催された當日は警察署が恰も定期召集日に相當したので點檢訓授後全員聽講したのを初めとし多數の社員有志が參集極めて盛會であつた

家庭慰安活動

滿鐵社會係では廿九日夜遼陽座に於て社員及び家族の慰安活動寫眞會開催

て其の額を決定すと

人事

▲中西敏憲氏(滿鐵地方課長) 廿七日朝北方から來遼同日急行で南行
▲藤田關東軍經理部長 廿七日來遼

滿日名家 敗退將棋 (其三)

【志澤氏一回二勝目】

香平交左香落 四段 △鈴木一禎
三段 ▲志澤春吉

持駒 志澤氏 ナシ

【圖は六二玉迄の局面】

持駒 鈴木氏 ナシ

【盤面以下指方】 △三八銀 ▲七四歩 △三九玉 ▲七二玉 △二八玉 ▲八二玉 △八六歩 ▲七二銀 △一六歩 ▲一四歩 △八五歩 ▲九四〇 歩

【對局者の感想】 志澤三段曰く七四歩は敵に位を張られると桂の捌きが重くなるので當然の運びでせう。鈴木四段曰く八六歩は敵玉頭を壓する意味で此形では飛の働きを廣くしないと損が生じます。志澤三段曰く九四歩は四二玉が順當の樣に思つたが同じ樣な結果になります。

【大崎八段講評】 上手三八銀と締りしは豫定の運びなるも緩し。直ちに七五歩と突進する方自然に敵玉の形を低くし七六銀と活躍する順を作りて遙かに優れり。

滿洲日報
株式會社 萬年社 扱

初冬の健康と生活

冬來る。木枯の聲もあはれに、炭火に親しまれる。自然も、都會も、人間もすべて慌たゞしく季節の假裝と其の準備に急しい……

目下緊縮の聲が喧しい折から、浪費は勿論、愼むべきであるが、之と共に大切なことはウンと働くべきことである。緊縮とはつまる所、能率の增進にある。能率を增進するには、如何なることにも飛躍し得る體力が何よりも大切である。家を興すにも、富を獲るにも、脆弱な體力であるなら何が出來よう?今や新春早々には、長期に亘つた懸案の金解禁の實施を見んとする。この多事なる國民經濟の立直しに際して、國家はその功を吾等國民の力に、大なる期待と希望を賭けてゐる。

和氣藹々たる一家團欒の鍵は家族全員の健康にある。吾人の健康は家を興し、財を富ます段階であり富國の一大源泉である。若し吾人にして衛生に關する知識に缺けたり、或は不健康者であるなら、吾人の一家は、吾人の財は、吾人の國家は一體どうなるであらう?

吾人の體軀は言ふまでもなく強健に、家庭は明るくなければならない。一家全員か、潑溂と太陽の如く元氣であることは如何に幸福であるか!時は冬である。此時に當つて、自身の保健を圖ると共に、一家の衛生及び健康增進に留意すべきは今更に述ぶるまでもないことである。（東京大衆）

淺田宗伯翁今なほ 日に〱人を救ふ

「飴を舐らせて扨て無心なり」といふ川柳がある。飴は何時の世に出來たのか古しへの唐書には「帝毎出獻飴獎」とあるから、支那では遙かなる時代から飴は滋養物として珍重がられたことが分る。日本の古代にも飴が有つたか否かは知らぬが、奈良朝時代になると立派に飴があつた。

京都伏見の稻荷前　で盛んに製造し飴に滋養分のあるは稻荷の神德だといふ樣な附會說さへ生じた、又今日謂ふ水飴は奈良春日の社家がこれを煉り常上方へ奉獻したといふ記錄がある。

舊幕時代のエンサイクロペヂヤ　たる「和漢三才圖會」には飴は和名で「阿女」と云ひ俗には地黃煎と云ひ滋養料として卓絶な効能のあつたことを述べてゐる。

兎に角飴は滋養物として、即ち藥として用ひられて、その効があることを春日の靈驗だ、稻荷の氣息がかゝつてゐるからだとさへ云つたものである。そしてその製造が進み、上等料理には飴も今日砂糖や、昆布、味淋を用ひる樣に飴が用ひられ、且つ醫療用としても進步して來た、殊に幕末から明治に亙る

漢法醫界の明星　とされ、大正天皇の侍醫として、皇宮に伺候した、淺田宗伯先生が獨特の製法を考案した、即ち精製せる飴を元とし、朝鮮人蔘や多量のヂアスターゼを含有せる數種の高貴藥を配合して製せられ、そして宮中に奉進せられたのであつた。晩年、この飴角の製造を淺田宗伯翁に昵懇にしてゐた堀內氏に直傳された、それが今日の淺田飴である「良藥にして口に甘し」の標語と共に淺田飴の名を知られぬ人は殆どない程に有名になつてゐる、たんせき一切に卓効あり、感冒の咳、喘息、息切れ、聲の嗄れ百日咳等に不思議な程好作用を齎す、そして產前產後、病後の衰弱虛弱者等に絶好の滋養料たるは改めて云はずもがなである。況んや芳香甘味でどんな藥嫌ひな子供でも、老人でも喜んで口にすることが出來る。

淺田飴の創製されたのは明治二十年であるが爾來四十餘年、年一年と需用は增し殖民地から外國へも輸出される樣になつたのは決して偶然ではないと信ずる。

淺田飴は東京、大阪、門司、小樽に店舖を有する堀內伊太郎氏の謹製にして日本內地は勿論、朝鮮、臺灣、樺太、支那、滿洲等至る處の藥店に販賣されてゐる。

固形淺田飴　はまた携帶至便なれば旅行、觀劇、聲樂、人込等の好伴侶として白熱的歡迎を受けてゐる。

思へば淺田宗伯翁は國手であり、大醫であつた、棺を蓋ふて既に幾十年、然かも尙ほその處方直傳は生ける人々を救ふてゐるではないか。

淺田飴　東京市神田區鍛冶町　淺田飴本家　堀內伊太郎謹製

保健講座

鼻と腦と肺に 最も合理的な吸癒療法

安全、確實な家庭療法の權威

寒氣が增すにつれて、感冒や呼吸器病はいよ〱猖獗する。鼻、咽喉の故障から氣管支、肺を冒されるものが少くない。又鼻と密接な關係にある腦にも障害を起し勝ちである。

でなくてさへ現代人の多くは、重いか輕いかの差こそあれ、何れも之等の病氣には可なり惱まされて居る。從てその對症療法として種々の內服藥や外用藥或は注射等色々の方法が講ぜられて居るが、其中で最も新しく且つ最も合理的で非常に手輕に確實に奏効する療法として推奬されて居るのが、

湊式吸癒療法

である。

發明者の湊病院長ドクトル湊謙治氏はかう云つて居る。……

「癒り難い病氣を手輕に癒すこと、これが現代人の最も望む所で、注射以上に簡單な療法としては吸入に若くものはないと思ふ……」と

即ち服藥の時代から注射の時代へ、更に吸入の時代へと醫療は進步して行くといふ信念の下にこの療法は發明されたのである。

然らば吸癒療法とは何か?一口にいへば、最も奏効確實な吸癒液を微細な煙霧にして、鼻若くは口から體內に

吸入浸透させる療法

であつて、ゴク手輕に電車や汽車の中、或は執務勉學中等でも應用出來たのである。

而してこの吸癒液は、湊氏父子

保健漫談 日光の壜詰

◆何と飄輕な名前　ではないですか。日光を壜詰めにして小出しにして使はうといふので未だ聞かない事が日本の、大阪のまん中で發明されたといへば、眉唾ものぢやないかと疑つて見る前に一體それが何に役立つのかとそれからして聞きたい。御尤です。

◆太陽七光線のうち　皮膚に暑く感じるのは赤外光線で日に焦けるのを紫外光線といふ位の定義は何人も御存知だが、その紫外線エネルギーがヴ井タミンDに當り、佝僂病、夜盲症、角膜乾燥症、骨軟化症、齒牙の發育不全、齲齒、幼兒の榮養不良、小兒腺病、肺結核等に素晴しい効果のある事はヘツス氏によつて唱へられて以來まだ日新しく、これにより細菌に對する免疫性の體質を作り、新陳代謝を促進し血壓を低下して中風の豫防となるなどの發見に至つては極めて最近の出來事でした。そこで近頃

◆太陽燈の照射　太陽光線療法、紫外光線何々等々目まぐるしい迄に斯うした治療法が現出したが、機械を使ふと使はぬでこそあれ何れも日光浴に變りなく、要するに機械なら裝置や扱ひ方に費用と手數がかゝるか日向で甲羅を曬せばそれらの無駄が省けてヴ井タミンDを正味に取入れる事ができると、當然の事を當然に考へたが、さてこの當然が都會人などにあつては愈々實行に移す段になつて行惱んだのみでなく心臟の弱い者、病後の衰弱者等には考へものだと木戸をつかれてしまつた。ところで唯一つ、日光紫外線以外には何物にも望まれないと思へたヴ井タミンDが

◆鱈肝油には頗る多量　に含有せられ、特にD以外ヴ井タミンAに至つては滋養食品の最たるバターに比し約二百倍も多量に抱合されて居る事が判つた。一體ヴ井タミンDはAと共に溶脂性と唱へ脂肪に溶ける性質のもので最近迄はAと混同視されてゐたがAの含まれてゐないオリーブ油等にもその存在が認められる處からDと呼れて獨立する事になつたのでした。

◆植物でも日光浴をする　部分即ち綠葉にヴ井タミンD成分が多い如く、海水を通して日光に惠まれる綠色海藻中にはヴ井タミンA及びDが多量に含まれ、それらに誘導せられたヴ井タミンを持つ小魚や、さうした海藻を直接常食とする鱈の體內特に肝臟中にヴ井タミンA及びDが最も多量に貯藏せられるに何らの不思議もない譯ですが、世間多くの肝油には何れも加工や混和物が施されず、ヴ井タミンA及びDの効果も怪しいが獨り

◆眼鏡印肝油のみは　極めて無加工を誇るばかりでなく、極めて服み易く小兒らには知らぬまに肝油に親しませる習性を作り前記の諸症以外營養及び循環障害を除いて、產前產後その他貧血諸症によく婦人のヒビ、シモヤケの豫防となり、皮膚を滑澤に毛髮を美化し脱毛を防ぐ等の効果に至つては一々擧盡せません。そこで眼鏡印

◆肝油の壜詰ツマリ　日光紫外線の持つ特異的なヴ井タミンDの壜詰めだから、どの道日光の壜詰めに間違ひなく、それがいけないといふ人があるなら、鏡を通して日光にかけ合つて頂くより仕方がありますまいテ、アハヽ

寒風怖るゝに足らず 冬の基本的健康法

皮膚の美化、衛生に 理想的化粧クリーム 吾等のメンソレータム

健康は一切の力の源泉、生命の母で衛生は健康の湧き出づる唯一つの淵であります。

冬です。寒風は肌を刺すやうに吹き荒み、雪は骨にしみ、萬象凍る――この冬に、戸外に躍れ飛ぶ健康美ほど溌溂と耀やかしく、頗る壯快きはまるものはありますまい。

御覽なさい!スキーにスケートに山野を疾驅する若人達の健康美を。ハチ切れさうな元氣が漲り、彼等は冬を樂しみ歌つてゐるではありませんか。寒風恐るゝに足らず……と。

私共は先づ健康であるべきで、それには皮膚の保健に留意し、冬季に美化を圖ることが大切です。即ちメンソレータムは理想的化粧クリームで、何より皮膚を強く丈夫にし、冬の猛威に抵抗する強い力を培ひます。これがその使命であり、世界の家庭藥として大衆の愛用を深くしてゐる所以であります

世界の耐寒藥 美肌凍傷外傷 メンソレータム

しかも快い香氣を有し無痛で、塗布と共に快適な刺戟を皮膚に與へ、彈力性のあるなめらかな美しさに輝かせます。殊に冬にかけるその作用は、實に驚異すべきもので、朝夕之を使つて居れば皮膚が寒氣に損はれる怖れは絶對にありません。

その上メンソレータムはアレ止、雪燒け防ぎに、優秀な化粧料となり、アカギレ、ヒビ、シモヤケを根治し鼻カタル、風邪、頭痛に特効著しく、更に打傷、火傷、神經痛、濕疹、たむし、齲齒、痔、リウマチス、齒痛等に特殊の効果を有し鬚剃後の消毒保健の完全衛生化粧クリームとして、最も適應範圍の廣い獨特の家庭常備藥であります。

メンソレータムは米國のメンソレータム會社の創製でありますが、今やその聲價は全世界に普く、世界的の家庭藥として一家には必ず一個を備へられ、絶大なる賞讃を蒙る譽で博して居ります。

滋賀縣近江八幡の近江セールズ會社が之を一手販賣し、全國何れの藥店化粧品店に有り、價は二十五錢から四種。携帶便利なコンパクト型、使ひよきチューブ入、お德用の陶製容器入の各種があります。

が四十年の苦心研究によつて創製されたもので、內容藥物の十數種が互に相扶け、單に一藥のみでは到底發揮出來ぬ獨特の偉効を奏する藥液である。其特長は

(1) 疼痛に對しては鎭靜作用を
(2) 黴菌に對しては殺菌消毒力を
(3) 炎症に對しては自然治癒力を
(4) 咳嗽に對しては根本鎭制力を
(5) 血行の不調に對しては調整的偉力を確實にもつて居る。

從て之を鼻の病氣に用ふれば、鼻腔內の粘膜に作用して自然治癒力を一層強烈にし血液の循環を旺盛にし、急性、慢性の鼻カタル、肥厚性鼻炎等に顯著な卓効を示し

蓄膿症に對しては　完全に根絶的に手術の必要なく、治的特効を有するのである。

更に腦の障害に對しても極めて良好の結果を與へる。即ち腦底に接して居る鼻の奧の粘膜を適度に刺戟して腦全部の血液の循環をよくし、腦に鬱滯して居る疲勞廢物を除去する活力を送り込むから、頭痛や腦神經衰弱には實に的確な効果を齎すのである。

迅速な卓効

尙呼吸器諸病に對しても最も効を表はすのであつて、この療法の如何に有効で確實であるかは數多くの證狀がよく實證して居る。發賣元發藥所の大阪市北區堂山町一四七明星社(電話北四九三五)へ申込めば直ちに詳細な說明書を無代送呈する。

強腦、強精に 驚異的偉効を奏する ノイラレ、チチン(腦精素)

腦神經――腦髓、脊髓、神經――

は常に特殊の榮養素を必要とするもので此榮養素をレチチンといひます之は有機的含燐性物質で腦神經、精液、血液、膽汁等に缺くべからざる貴重成分ですが、過度に腦神經を酷使すると此レチチンが甚だしく消耗して了ひ、神經組織を榮養不良に陥らしめて腦神經衰弱を起すのであります。

レチチンは生活體中自然に生ずるもので、之を人工的に製出する事は從來最も至難とされて居ました。然る獨逸ケルン市のレチチン興造會社で始めてその製出に成功したのが即ち「ノイラレ、チチン」であります。

「ノイラレ、チチン」の特長は

(一) 含有レチチンが自然の形態を有し、最も純粹である。
(二) レチチン含有量が最も多い(一個中約〇、二グラム)
(三) 頗る美味で小兒でも好んで食す
(四) 消化吸收が極めて容易で、副作用が絶對にない。

腦神經衰弱に對して根本的の治癒力を有することは幾多の臨床實驗で確實に實證されて居ます。

【適應症】は腦神經衰弱、ヒステリー、不眠症、生殖器衰弱、貧血小兒發育不良等一般神經系統の疾患に對して奏効最も的確です。五十入百入十七日量四圓五十錢。五十入二圓五十錢送料各十八錢。輸入元大阪北區永樂町文明新藥社(振替大阪六九〇九六)發賣元大阪東區道修町鹽野義商店。全國有名藥局で販賣して居ます。尙詳細說明書御入用の方には輸入元から進呈します。

肺ろくまく 天惠療法

結局!

結核諸病に御惱みの方はアレコレ迷はず結局カワウソのキモ療法より他に優るものはありません

全快の栞と說明書呈す

大阪市西區梅本町六一 岡本直子

元來、結核菌なるものは蠟狀、脂肪性、リポイド性三樣の軟體被膜に包まれてゐて容易に撲滅し得ない。しかし此の軟體被膜を破壞して殺菌作用をなさしめるものは今日、神秘的偉力を持つカワウソのキモより他にない。即ちキモには病體の病毒菌に對する抵抗力を旺盛ならしめる一番肝要なる榮養素を多量に含蓄してゐるからである。それ故、キモを服用すると身體の各部諸機關及全組織の整調を促し抵抗力を旺盛ならしめ菌體を破壞死滅せしめて體力と精力を回復せしむるのである。

十日で全快した岡本直子さんは如何にも健康な美しい顔で語る。「信仰に依り生ずる精神の安定は、病者にとつてこれ以上必要なものはありません。信仰に基く慰安、合理的療法、私はそれを續けました。肺結核はもう恐るゝに足りません。私は惱める病者に、藥餌療法中で最も權威あり信頼のおけるものとして確固たる自己體驗から、獺のキモ服用療法を推獎したいのであります」と

岡本さんは嚴律な宗教的依者で、多くの肺に惱める方の爲に必治の天惠合理療法即ちカワウソのキモ療法の內容を奉仕的に公開してゐる。惱める方は、大阪市西區梅本町六一、岡本直子さん宛にハガキで申込めば早速「說明書」と「全快の栞」を無代で送呈して呉れます。また犧牲的に獺の膽を實費で分讓してゐる。

養生の話

肺病肋膜炎と天惠合理療法

結核菌を撲滅する唯一の神秘力を推獎す

カワウソのキモが肺病、ロクマク炎、一般結核等に卓絶せる偉効を奏する事は古來より有名である。最近帝國大學教授醫學博士白井光太郎先生はカワウソのキモ療法が極めて合理的にして特効ある事を公に證明せられた。

岡本直子さん

健康は活動の源泉 幸福の眞隨 テルラピン 刺戟體

一テルラピンは現代醫學界に非常の興味を喚起しつゝある非特異性刺戟體療法の代表的理想的製劑なり

一テルラピンは東京武田テルラピン研究所主武田信孝氏が粒苦研鑽二十星霜を費して成功せる製劑なり

一テルラピンの注射應用による卓效は奇蹟的痛快的に靈現を示し各病院及び專門醫家の實驗は眞に驚異的事實を證明しつゝあり

一テルラピンは數種動物の臟器エキス幷に膽汁類脂肪蛋白を主成分とし如何なる應用にても絶對に危險の副作用なく如何なる藥劑と併用するも禁忌なく然かも內服藥外用劑として應用し尙且つ偉大なる効力を有するが故に劃期的進步せる刺戟體として學界に非常な「センセーション」を起しつゝあり

一テルラピンの應用により著効を奏する疾病は

腦溢血、神經衰弱、神經痛、神經麻痺、扁桃腺炎、急性肺炎、喘息、肺尖カタール、肋膜炎、胃腸障害、盲腸炎、腹膜炎、肝臟疾患、腎臟病、膀胱疾患、遺尿、子宮及附屬器疾患、淋毒性疾患、性能障害、遺精、痔疾患、糖尿病、脚氣、僂麻質斯、疔癤、筋炎腫瘍、淋巴腺腫、丹毒、腋臭、頑癬、水疱疹等、濕疹

一テルラピンの包裝

テルラピン注射液　ネオ武田液　テルラピン道座藥　テルラピン軟膏　內用テルラピンA(膠囊入)　テルラピン肛門座藥　テルラピン膣球

一テルラピン研究所は一般醫家に解放し隨時其實驗を歡迎しより多くの醫家により廣く救病の實績を擧げんとしつゝあり

發賣元 大阪市東區北久太郎町二丁目五十一番地 大阪武田テルラピン研究所 電話船場三六五一番 振替口座大阪八七二一六番

特約店 大阪三越藥品部

診療 毎日午前九時より午後五時まで 但し日曜午前中祭日休診 大阪市東區北久太郎町二丁目五十一番地 大阪武田テルラピン研究所診察部

結核 免疫 治療豫防 新劑 AO(アーオー)

- AOハ 結核ノ理想的 — 積極的免疫劑デアツテ有馬、青山、太縄三博士十年研究ノ結晶デアル
- AOハ 肺結核ノ初期 — 肺尖加答兒ニハ特ニ有効デ治ンド他ノ療法ヲ要セヌトイハレ全治輕快九〇%以上
- AOハ 肺結核ノ中期 — 非常ニ有効デ一般療法ト相俟ツテ全治輕快八〇%以上
- AOハ 腺病ルイレキ — 殊ニ有効デ之ヲ全治スル上子供ノ健康ヲ著シク增進スル全治輕快九〇%以上
- AOハ 骨關節結核 — ニ血ヲ見ル手術ヲ施サズシテ多數速ニ全治セシムル全治輕快八〇%以上
- AOハ 眼科的結核 — ニ神効アリト稱セラレ同時ニ其人ノ健康ヲ著シク增進スル全治輕快九〇%以上
- AOハ 副睪丸結核 — ヲ切除セズシテ全治セシメ男種ノ保存ヲナスコトガデキル全治輕快九〇%以上
- AOハ 泌尿器結核 — ノ初期ニ在テハ手術ヲ要セズシテ多數全治セシメ其全治輕快九〇%以上
- AOハ 肋膜腹膜炎 — ニモ著効ガアリ多數速ニ全治セシムル全治輕快八〇%以上
- AOハ 皮膚結核 — ニ對シテモ例外ナキ治効ガアツテ顔面美ヲ保存シテ治癒セシム
- AOハ 結核發病 — 豫防ノ實効アルコトガ證明セラレテキルカラ結核患者ノ家族若クハ兒童成人其外集團的結核豫防ニ適切デアル
- AOハ 不快ノ反應 — 皆無使用法極メテ簡易、使用回數少ク從テ治療費ガ輕イ
- AOハ 世界唯一 — ノ新機軸ニヨツテ造ラレ、日、英、米、佛、加奈陀、愛蘭政府ノ專賣特許品デアル

文獻贈呈　發賣元 須美商店 大阪市東區北濱四ノ四〇

あんまの瓶詰

藥名 アンメルツ　▲リウマチ ▲神經痛 ▲コリ一切 ▲疲勞痛　速効藥

全國藥店にあり　五十錢・一圓

子を持つ母の心配

わけても三四才迄の幼兒は尤も危險な時で育兒上失敗するの多くはこの期間で木枯吹きすさぶ時季をひかへて特に注意しなければなりません。

そこで最も必要な事は確實な育兒藥を常に手元に備へて一寸惡いなと氣の付いた時など直ぐその効力を活用して大事を防ぐ事です。

育兒藥と言つても勿論信ずるに足るものを撰定しなければなりません。信用に於て實効に於いて、先づ樋屋奇應丸の右に出づるものはありますまい。樋屋奇應丸は小兒特有な病氣を征伏する丈けでなく日頃虛弱な幼兒に對してはこれを健康づけまた突然のひきつけ、ぎぜつなど火急な場合でも意外な神効を持つて居ます。

先づ以て日常手元はかかさずこれを活用することです。

本誌名記入本舖へ申込まれば有益な育兒知識を綴つた『嬭育兒之友』を無代で進呈致します。

小兒良藥 ヒヤ奇應丸

主効 カンムシ、キヤツ、ヒキツケ、ゼン息、夜泣、下痢、チフ、ウシ、カゼ、ネツ、ツ、ツ、ハシカ

大阪天滿 樋屋奇應丸 合資會社 振替大阪二二六〇番

コドモページ

學校劇 正しき道(中)

濱野健三郎

……間……

さきほどの少年があわてゝ飛込んで來る。

少年。(あたりをさがすやうな目つきで)あのー、こゝいらに僕の財布が落ちて居なかつた?

主人。(ニコニコして出て來る)あゝ、坊つちやん、何です?財布ですか、えーと、そんなものは落ちてゐませんでしたがねえ おい!李、財布が落ちてゐなかつたか(睨つてゐろと目でしらす)

李。(もぢもぢしながら)……ない……。

主人。なかつたか、坊つちやん、やはり無かつたさうですよ。どこか外で落したのではありませんか。

少年。僕家に歸つてから氣がついたのぜ、今、ずうつと道をさがして來たんだけれどなかつたんだよ。どこで落したんだらうなあ。

主人。もう一度外をさがしてごらんなさい。

少年。困つたなあ、お金が澤山入つてゐたんだが……(泣き出しさうになる)……あのう、ほんとうにこゝには落ちてゐなかつたんだね。

主人。ありませんでしたよ。若し見つかつたらあとでおとどけいたします。

(少年は力なく外に出やうとする)

李。(ためらつてゐたが決心したやうにすつくと立ち上つて)もしもし坊つちやん、一寸待つて下さい、あなたの財布ありましたよ(主人がしまつたところから財布を取り出して少年に渡しながら)これでせう。

主人。(李を恐ろしい顏でにらみながら)何?あつたのか、何故早く出さないんだ。

少年。あ、これだよ、有難う、では、さよなら(ニコニコしながら出てゆく)

主人。(少年のあとを見送つてゐたが、少年の姿が見えなくなると急に恐ろしい顏をして)馬鹿奴!、よくも主人に恥をかゝせたな、貴樣のやうな奴は店に置くことは出來ない、出て行け、

(李を力まかせになぐる)

李。……(土間に倒れながら涙にうるんだ目で主人を見上げる)

主人。えーッ、何をぐづぐづしてゐるか、早く出て行け。

(李は首をうなだれながらトボトボと外に出て行く)

洋上に浮ぶ飛行機の着陸場

米國では大西洋の眞只中に飛行機の途中着陸場をつくることになり先づ此の寫眞のやうな模型をこしらへて實驗をしましたが大成功でした

ニドメノ大チヤンノタンケン (151)

ハルミチ作 ジラウ畫

「オヤア! マタ アンナトコロニ アタマヲ ダシタナ、オヂサン、コンドハ モグツテ オツカケテ ミマセウ」

「ソレハ イイ カンガヘダ」

フタリ ハ ミヅ ニ モグルジユンビ ヲ シマシタ。

大チヤン ハ ボンヤリシテヰル ダラス ヤ ブル ヲ センシツニ ハイラセ ジブンタチモ シタニ オリテ イリグチノ トヲ ミヅノ ハイラナイヤウニ シツカリ トヂテ シマヒマシタ。

オヂサン ガ キカイ ニ テヲカケルト センスヰテイ ハ マタタクウチニ ミヅノ ナカ ニ モグツテ シマヒマシタ。ダラス ハ ビツクリシテ メ ヲ パチパチ サセテ ヰマス。

冬の理科 霧のかゝるのはどんなわけ

はるみち

一郎。あゝ、ひどい煙だ、お父さん、向ふが見えない位に煙で一ぱいですよ。

父。煙ぢやない、あれは霧だよ。

一郎。あれが霧ですか、僕は煙突から出た煙が一ぱいたまつてゐるんだと思つた。今日はお天氣がよかつたら西公園に寫生に行くことになつてゐたんだが、こんなお天氣では駄目だな。

父。今日はいゝお天氣だよ。

一郎。だつてこんなに霧がかゝつてゐるぢやありませんか。

父。なあに、もうしばらくするとこの霧はすつかり霽てしまうさ。

一郎。どうしてそんなことがわかるんです。

父。陸上で霧のかゝるのはお天氣のよい日に限つてゐる。

一郎。ふしぎですね、お父さん霧はどうして出來るんですか。

父。それは霜ができる時と同じやうに、水蒸氣をたくさん含んだ空氣が溫度の下つた地面に冷された時にできるのだ。

一郎。さうすると霧は水蒸氣なんですね。

父。水蒸氣ではない、水蒸氣がこまかい水滴になつて空中に浮んでゐるのだ。

一郎。では雲と同じやうなものですね。

父。さうださう、つまり地面に近いところに出來た雲が霧なのだ。

一郎。霧は太陽が出るとどうして消えてしまふのですか。

父。それは太陽の熱によつて地面が暖められ、それと一しよに今まで水滴になつてゐたのが再びもとの水蒸氣になるからだ。

一郎。日中に霧がかゝることがありますか。

父。あるとも、それは、地上の空氣が非常に冷てゐるところへ水蒸氣を多量に含んだ空氣が送られて來るやうな場合だ。

一郎。海にも霧がかゝりますか。

父。海の霧は陸の霧よりももつとひどい、航海をする者に取つて最も恐ろしいのは海上の濃霧だ 船員は霧のことをガスと言つてゐるが、此のガスがかゝると一間先も見えなくなるので船はめくら同樣だ。盲人ならば杖をたよりにあるくが汽船は他の船と衝突するのを避けるために汽笛を鳴らしながらそろそろと進んでゆくのだ。

一郎。さうさう、このまへバイカル丸が朝鮮沖で暗礁にぶつかつたのも霧のためでしたね。……では、海の上に霧のかゝるのはどんなわけですか

父。それはいろいろの場合があるが、大ていは水蒸氣をたくさん含んだ暖かい空氣が冷たい空氣のあるところに流れて來たり寒流だとか、流氷などに出遭つた場合急に霧が出て來るのだ

一郎。お風呂の中に入つてゐるやうな時窓をあけたりすると急に湯氣が一ぱい出來るのと同じですね

父。さうださう

兒童の作品

足のきづ

龍岳城小學校 尋三 森川浩吉

僕は十一日くらゐ前に左の足をすりむいて血を出しました。それがどうしたものか、うみ出しました

二日ばかりはいたくてたまりませんでした。朝學校へ行く時、くすりをつけてゆくのに一しゆうかんたつてもなほりません。ふろにはいつて、うんでゐるそばのきたないところをきれいにしてもなかなかなほりません。ある日おかあさんにきくと「からだに、どくがまはつてゐるのでせう」といはれました。右の足を見ると、すこしうんでゐました「やつぱり、からだにどくがはまつてゐるのだ、右の足も左の足もきずをするとすぐとうむから」と思ひました。おかあさんにきくと「からだをきれいにしてよく、くすりをつけたら早くなほります」といはれたので僕は、さうしようと思ひました。それから、おんせんのふろへ行つて、きれいにからだをあらひましたら、おかあさんの言れたとほりなほりました

短歌

神明高女二年生作品 金子幸枝

×

ちさければ波に遊らふすべ知らず行きつかへりつ小蝶よあはれ

×

湧きたり消してはかへる砂もじの渚に今日もたはむれにける

×

星ケ浦なみまに月のさゆらぐを我はなぎさに波とたはむる

×

玄關の鉢にさかりの夾竹桃友の便りをふと封じこむ

×

ぬば玉の闇に今宵も秋をきく、音して散し白き落葉に

×

名山の歸りなるらし、紅き葉の肩にさげしをしと思へり

齋田美穂

×

我が友をのせた汽船が尾を引いて去りしあとには唯かもめ飛ぶ

×

夕燒けを埃とゝもに背にあびて馬鐵の馭者はむちを振りゆく

市橋ツル子

×

泳ぎ得ぬ我は寂しくこしかけぬ暑きプールの石の上かな

新年兒童讀物 ……懸賞募集……

一、童話 尋常三四年程度、一回十五字詰七十行内外三回完了のもの

二、童謠

締切 十二月五日限り

發送先 滿洲日報社編輯局

但し「懸賞兒童讀物」と朱書のこと

◇賞金

童話 一等三十圓、二等二十圓、三等十圓

童謠 一等十圓、二等五圓、三等三圓

【注意】

▽童話の應募はどなたでも差支へありません

▽童謠の應募は小學生に限る

▽童話、童謠共に滿洲の色彩の豐かな內容の明るい無邪氣なもの

▽字體は明瞭に書くこと

▽一人で何篇應募してもかまひません

▽原稿の末尾には必ず住所姓名を明記して下さい、紙上匿名は差支なし

▽童謠は自分の學校名と學年を書き添へて下さい

最近惡化して來た家主と店子の爭
家賃請求や明渡しの訴訟が だん／＼激增する

財界物價の低落に伴ひ家賃値下げも全國的な輿論となり大連においても先般歌舞伎座にて家賃値下要求の市民の第一聲を擧げたが、最近家主店子間の關係も頓に惡化して家主側より家賃請求、家屋明渡の民事訴訟が俄に增加し十月以降地方法院に受付けたる家屋明渡訴訟二十件及び家賃取立が三十二件あり其金額四萬九千四十六圓に及び、家賃に關する訴訟は實に全民事訴訟件數の四分の一を占めてゐるこれ等は全部家主より訴訟を提起したもので中には例の大連市場商興株式會社より鶴ビルの千子に對して提起せる如き家主が自己所有の貸家を抵當に置き借金せしを返濟されざるため其代償として第三者の債權者より其店子に家賃取立訴訟を提起せるものが殖えたが又訴訟の額にしても二十九圓と云ふ樣なものもあり深刻な不景氣風も窺はれるが亦一面家主の辛辣な取立振を物語つてゐる

本町二丁目より出火百五十圓を烏有に歸して五時鎭火した原因調査中

父の反對は無い筈
愛子孃語る

【下關二十九日發電】華やかな外交官の夫人へと噂の種を蒔いて歩いた高島愛子孃(二〇)は結婚の喜びを前にイソ／＼と今朝ばいかる丸で大連から歸着した出迎への妹さんと共に下關花壇の父北海氏の許に歸つた船中御目出度ふを浴びせられながらいかにも嬉し相に終始ニコ／＼として語る

來月七日擧式の豫定で東京ですするか下關でするかは父と相談して極めますそして來月九日神戸出帆 佛國汽船で維也納の任地へ參ります、此の夏滿鐵の前田さんから手紙が來て遊びに來る樣にとの事で早速出縣け見合を致しました父も其の時お前さへ氣に入ればと私委せにしてゐましたから今更兎や角と申す事はありますまい、永井は四十七のお爺さんですが、別に主義があつて獨身でゐた譯ではなく各地を轉じてゐた爲めでせう、私等の結婚は決して戀愛結婚ではありません、私も始めて女になつた感じが致します

獨船の武器は海關に渡す
昨日水上署で關係者が集り 漸く解決をつげる

紛糾を重ね何時果つべしとも思はれなかつた例のドイツ汽船リックマース號の武器積載問題が漸く十七日目の廿九日午後三時より水上署々長室に開催された關係者の第二次會議において解決された、此日關東廳よりは三浦外事和田保安兩課長南京政府の命をうけ北代海關長、リ號船長ヘルムス氏、ホルスタイン會社代理店よりニース氏この外に寺田水上署長等集合約一時間に亘つて協議の結果、船側は文句なしに海關に引渡す事となり關東廳又これを容認すると云ふ態度をとる事となり解決を告げたものであるが問題の武器百五十噸は三十日午前九時より海關の手に引渡される事となつた

十七日振で片附いた
三浦課長談

右に就き三浦外事課長はホッとした面持で語る

十七日目ぶりでやつと片附いたよ、關東廳として證據もなき武器の買込みの足場にこの大連をされては困ると云ふ理由と危險性な武器である關係で保安上も困ると云ふ理由で陸揚げを許可しない方針であつたのであるしかるに去る十七日、南京政府の王正廷氏は上海總領事を通じ北代海關長を南京政府の代表者とするからこのものに引渡してくれと正式に依頼して來たので取敢ず十九日水上署で第一次會合を行つたのであるがその節に船會社と海關との云ふ事が一致しないで有耶無耶に終つたものであつたが今日は船側の方も極くおとなしく本店との打合せを濟ませ引渡す事を納得したので關東廳としても承認した次第なのである

尚同船は本國行の豆粕七千噸を積んで歸國する事となつた

夕張でも大火
百五十戸燒く

【札幌廿九日發電】今朝四時夕張

馮庸大學の來征
蹴球と籃球部選手が 十二月一日に來連して試合

奉天馮庸大學蹴球部及籃球部選手一行二十五名は愈々十二月一日朝八時三十分着列車で來連する事に決定をしたが籃球部選手は同日午前十時より大連第二中學校コートに於て南滿工專と一戰し(入場無料審判宮畑、大井)更に午後七時より敷島町YMCA屋内コートに於て大連YMCA(日本人)と戰ひを交へ(場内整理上入場料一人十錢、審判原田、伊藤)一方蹴球部選手は午後二時三十分より大連運動場に於て先日の本社後援のア式蹴球聯盟リーグ戰の勝者中華青年會(中華人)チームと戰ひ兩部選手共同日二十一時三十分發列車にて歸奉する筈である、因に馮庸大學チームの大連遠征は今回が最初であり其の實力は全然未知數に屬するが東北大學と併立する強チームだけに必らずや面白い戰ひとなるあらう

外遊に先だつて
藤原義江氏のお目見得
獨伊の大物に日本民謠を織交ぜ 素晴しき彼の美聲

この春歐洲より歸朝の途次大連を訪れてあの豐富な甘美な肉聲をもつて義江ファンを陶然たる恍惚境に誘ひ心憎いほどの好評を博して內地へ立つたテナー藤原義江は、今回六度目の外遊に先だち來月四日入港のほんこん丸で下の關から來連、五日午後六時半から**協和會館**に於て本社の主催で獨唱會を催すこととなつた、歸朝後病を得て一時靜養してゐたが退院後天性の美聲はます／＼冴へて細かくよくなり、深さと幅が加はりそのテクニックも完全に洗煉されてきた、彼は二月早々渡米してトーキーに這入ることになつてゐるが今度來連して唱ふ曲目は獨伊等の大物に日本民謠の甘いもの、それに滿洲のローカルカラーの多分に富んだ**滿洲小唄** 民謠の類を織交ぜて唄ふことになつてゐる、この內でも特に今度の呼物は「佐渡おけさ」である、これはヴイクター會社がこの民謠を世界的にするために彼に囑し本月五日に東京で吹込んで原板をアメリカに送つたもので切々たる哀調を帶びた唄は聽者を魅了せずにはおかぬであらう彼の甘い美しい男性的の彈力に富んだ聲、黑い濃い眉、瘦せ形ではあるがジョン、ギルバートを思はせるやうな颯爽とした顏立、これ等を綜合して**ステージ**に立つたあのスマートな姿は新らしい男女のファンがわれ等のテナーとして騷ぐのも無理はない、來月の五日の宵テナー義江を迎へる協和會館は幾多の藤原讃仰者を引きつけることであらう(寫眞は藤原義江氏)

武藝十八番の昭和武者修業

沖繩縣の人大宮龍介(三五)と云ふ芝居に出る武藝者のやうな見るからに强さうな昭和の武者修業が二十九日本社に來訪、其の得意とする唐手、氣合術、棒術、熱湯術、柳生流白刄取術等々……氣合一つで明煌々たる日本刀、頰を押切つても斬れなかつたり、素足で短刀の刄に立つ手足を縛して三尺の長刀を拔いたり、疊針の如き長い針で二の腕を突通したり、短刀の拔身を素手で摑み荒繩で其拳を力一杯に緊縛した上で白刄を引拔いたり、一寸四分の厚板を拳骨で割つたり、生きた鷄を一喝の下に動かぬやうにしたり種々物凄くも勇ましい妙技を實演して見せたが、中にも吉備釜の鳴動術と半裸體の上半身に沸き返る熱湯を浴びて平然たる熱湯術は精神統一の不可思議なる作用を如實に示し大に喝采を博した(寫眞は熱湯術の實演)

無殘に
蹴られた貧書生の熱烈な戀
コウして永井長春領事の結婚は延びてゐた

【長春特電二十九日發】一時映畫界の人氣女優であつた高島愛子孃と永井長春領事との婚約問題に對し意外にも高島孃の父から四十七歲の今日まで永井氏が獨身でゐた理由が判明しなければ娘はやれないと飛んだ苦情が出でその成りゆきは注目されてゐるが、永井氏が今日まで家庭を持たずに不自由な生活を忍んで來たのには痛ましい物語がある。

◇……◇

それは氏が學窓を出て外交官の試驗を受けやうと準備してゐた血氣盛りの青年時代にさかのぼる氏が敎へを受けた某大學敎授の家庭に接近するうち敎授の愛娘に熱烈な戀を捧げた、然し大學出の秀才なら娘をやらうといふ時代であつたから外交官の試驗を受かつてゐない貧書生この結婚には敎授は父はあまり氣のりがしなかつた、そして折角咲いた花も無殘に蹴られてしまつた

◇……◇

眞正直なそして飾りけのない性格を持つた永井氏は二十年前のことではあるが、自分にとつては此の生々しい記憶を抱いて五十近い今日まで獨身生活を續けて來たのだといふ「その時一生結婚はしまいと決心したので」と永井氏は云つてゐた、爾來永井氏は芬蘭、濠洲、滿洲 外交官の常として轉々として席の暖まる時もなかつたから新しい戀の芽生へる機會もなかつたらしい、その永井氏が今度二十年間の固い決心を翻へして家庭の人とならうと決心したのは氏としては隨分慎重に考へたことであらう。

伊豆伊東の大火・
百卅戸を燒失、七名燒死

【熱海二十九日發電】二十九日午前二時伊豆伊東東海自動車會社より發火、榮町附近一帶に燃え擴がり午前五時半漸く鎭火した、燒失戸數七十七戸百四十四棟、損害百五十萬圓、保險高百萬圓の見込みである、燒失個所は伊東一の目貫の町で出火當時は風速十二三米の烈風あり見る／＼間に三町餘を舐め盡し溫泉旅館、大阪屋、扇屋等五軒、駿河銀行支店等燒失し、伊東館を半燒にした、この騷ぎに湯治客外一名の燒死者を出した、負傷者多數ある見込みで伊東町では緊急町會を開き救援に努めてゐる火元の東海自動車では自動車三十三臺燒失し附近の自動車を集めて運轉を續けてゐる

公使の遺志で葬儀はせぬ
菩提寺に葬るだけ

【東京廿九日發電】故佐分利公使の葬儀に就いては親族會議の結果故公使の遺志を尊重し葬儀を行はず菩提寺駒込吉祥寺に葬ることゝなつた

遺骸外務省へ
箱根から歸京

【東京二十九日發電】佐分利公使の遺骸は二十九日午後三時箱根富士屋ホテル發外務省より出迎への各課長親戚に護られ自動車で歸京外務省に安置された

石炭の百斤賣り愈よ始める
滿鐵の承諾によつて 市社會館宿泊者の救濟に

大連市社會館では宿泊人救濟の意味で下層階級需要者のために噸値段と同じ割合で石炭の百斤賣を開始すべくそれ／＼關係方面に交涉中であつたが、滿鐵では社會館が商業機關でないので特に便宜を與へ**十噸を**限度とし普通卸値段で供給することを承諾した、それで社會館では近く百斤賣の需要に應じ配給を始むることゝなつた、右につき滿鐵小川販賣課長は次の如く語る

滿鐵が地賣炭の一部値下をやつたわけでは決してありません、右の樣な要望は從來も幾度か受けてゐますし各種の**理由で** そんな要求を受けますが一個の商業機關として一々それに滿足される樣なことも出來兼ねます、勿論それは社會政策的のものも全部否定するといふのではなく、それには別途に適當な施設方法を講ずべきで今迄やつて來て居り金も出して居るのです、たゞ今回は販賣店側に特に滿鐵から命令して殆んど實費で五十噸、百噸の需要者も一、二噸の小口需要者も同値で右の**行商者**に卸す樣にした丈です、從つて今後百斤買位の小口需要者としては噸當切込炭十四圓五十五錢、塊炭十六圓五十五錢見當(持込)の割合で買へるわけで從來割高であつた丈け廉くなることゝなるだせう

滿洲の保健狀態調査

國際聯盟新嘉坡保健局長代理ボンドリヤン氏は今回現職に新任すると共に之が挨拶旁々保健狀態其他觀察の爲南京上海を視察中であつたが廿九日入港大連丸にて南京政府防疫部長蔡鴻氏、東三省防疫處伍連德氏等と共に來連同じ目的の爲旅大及び奉天を視察安東經由東京に向ふ事となつた、これより先滿鐵よりは金井衛生課長、安[illegible]博士、關東廳より黑井[illegible]師等一行を沖まで出迎へ取敢ず檢疫船にて寺兒溝棧橋上陸直ちに檢疫所の視察をなし十二時半自動車にて星ヶ浦ヤマトホテルへ向つた尚ボンドリヤン氏は廿九日夜行にて旅順に赴き卅日夜奉天に出發奉天にては張學良氏等に會見する豫定になつてゐる

佐竹三吾氏起訴さる
昨日正式に

【東京二十九日發電】佐竹三吾氏は罪狀明白となつたので二十九日正午正式に起訴された

兩相の告發人が抗告す

【東京廿九日發電】濱口、江木兩相告發人牧野、西村、庄司三代議士は二十九日午前十一時半抗告した

若槻氏出發を嚴重警戒する

【東京廿九日發電】三十日若槻全權一行出發に際しその首途を擁し不穩の行動に出でんとするものあるを探知し大塚警保局長は廿九日午後丸ノ内警視總監と會見し當日は嚴重警戒をなすことゝなつた

寒空に白い作業服支給
注文違ひで埠頭の繫船係に

注文間違ひから飛んだ目にあつたのが埠頭繫船係りの現場の人達七十餘名、この寒さに向かふと云ふのに考えてもゾツトとする白い作業服を支給されて[illegible]の樣な恰好で働いてゐるこの間違ひのもとを尋ねると滿鐵の調度課の連中、机の上で何の苦もなく見積書を認めたもので現場の作業服がどんなものが好いのかもよく考えずに注文したものらしく、その白い服が支給された時なぞ繫船係りの猛者連こんなものが着れるかと憤慨したと云ふが寒くなると云ふのに白い作業服、大連埠頭名物にならねばよいがと埠頭衛生係が囁いてゐる

殉職三部長に恩給書を下附

遼寧大連及び大石橋に於て殉職したる故吉田、黑田、澤幡の三巡査部長の遺族に對しては豫て關東廳で扶助料として恩給を支給する樣その筋に向け稟請中であつたが二十七日を以つて左記の通り夫々恩給證書を下附された

吉田ハナ子恩給年金二百八十四圓△黑田まつ子同上百四十四圓△澤幡かね同上三百九十七圓

圖太い運轉手

二十八日午後四時二十分市內沙河口大正通六五實用タクシー運轉手岡村誠(二一)は自動車は市內薩摩町二三番地十字街路において市內淺間町王振堂の倪寶福(三〇)の荷馬車と衝突し挽馬を傷けたが、其際岡村は實用タクシーのマークをとり自動車後尾の番號を裏返して逃走せんとせるを警官に發見され二十九日午後大連署に呼出され大いに叱られた

自動車電車に追突

廿九日午前九時ごろ埠頭行き四號系電車(運轉手宮世德)が市內西崗街一五四番地先に差しかゝつたところ、十字路において北崗子方面より疾走して來た旅順水師營大盛運送店の劉興懷(三三)が運轉する貨物自動車が制動機に故障のため追突し、自動車は車輪及び前部を電車は窓をそれ／＼破損したが乘客には被害はなかつた

加藤氏送別會 今回福昌華工公司取締役を辭任せる加藤友治氏のため滿鐵記者俱樂部主催となり三十日午後六時信濃町三ツ輪に於いて送別宴を開くが會費二圓五十錢、出席希望者は滿鐵記者俱樂部電話八五六七へ申込まれたいと

けふのラヂオ

昭和四年十一月三十日(土曜日)

自午前十一時 相場(特產、錢鈔、株式、各地相場)
自午後零時三十分 相場(特產、錢鈔、各地相場)ニュース
自午後三時三十分 相場(特產、錢鈔、株式、各地相場)ニュース

一、ニュース
二、(童謠)一、合唱「石炭くべませう」常盤小學校五六年女生徒 二、獨唱「咲いた櫻」同鈴木ヨシエ 三、合唱「蠅人形」同五年女生徒 四、獨唱「夕の鐘」同栗山從子 伴奏久富榮次郎
三、宗教講座(人生を旅するもの)ホーリネス教會吉律好雄
四、ハーモニカ獨奏「一、トラバーレ拔粹 二、東洋の薔薇 三、ポルテイシの啞娘」鈴木[illegible]
五、三曲(まゝの川)三味線富森大檢校、同高木夫人、琴宮森よしゑ、尺八菅井一童
六、ラヂオドラマ「敗殘の男二人」田代賢二
七、料理獻立
八、天氣豫報
九、ラヂオ體操

夫正治儀永々病氣中の處養生不相叶二十六日松山市に於て死去仕候間此段生前辱知諸彥に謹告仕候也
十一月三十日
妻 岡見政子
嗣子 正靖

愛慾の窓 (173)

戸川貞雄作　浅枝次朗畫

犠牲(三)

英輔が、存外容易く打明けてくれたことも、倭文子にとつては思ひ掛けない喜びであつた。それにしても、焼き棄たといふのは嘘で匿して持つてゐるにちがひないと云つた美知子の勘の好さが、今更のやうに顧みられる。

——さうだわ、あの方も大さう心配して、弟さんにまで骨を折らせてゐるんだから、一寸お知らせして上げやうかしら？

倭文子はさう思つてペンを取上げたが、しかし今から手紙でもあるまいと思ひ返して、亢奮してゐる自分に気付くと、ふつと可笑しくなつた。

——が、これが亢奮しないでゐられる事柄だらうか！

この上は英輔の手からどんな犠牲に代へてでも、遺言を取戻せばいゝのだと、倭文子は雀躍りせんばかりに思つた。

するとやがて英輔から電話がかゝつて来た。

ステーション・ホテルからだつた。

「……倭文子だね？まだ起きてゐるんだね？、どうだ、若し来られたらこゝへ来てみないか、先刻の話、片を附けようぢやないか」

英輔はさう彼女に語りかけた。

「……でも、あなたのお帰りをお待ちしてゐますわ！まだそちらの御用はおすみにならないの？」

倭文子はいつになく優しい調子で応じた。

「はゝゝゝ。現金だね、自分にいゝ話だと思ふと、急に態度が変つたな……」と英輔の少し酔を帯びてゐるらしい声が受話機の底からひゞいた「……こちらの用はまだ片附かないんだが、こゝ一時間ばかり暇が出来たのだ、その暇にお前に会つて先刻の用件をすましたいと思ひついたんだよ」

「……では、直ぐ支度してお伺ひしますわ！」

「待つてゐるよ、ステーション・ホテルだよ……小森と云つてもわからんよ、森だ、森と云つて訪ねておいで」

電話は切れた。

倭文子は、まだ鎮まりきらぬ亢奮のまゝに、支度もそこ〳〵に自動車を呼んだ。一気に片附いてゆくやうな予感がした胸がわく〳〵した。彼女は自動車のなかでもひそかに黒天鵞絨のコートの胸に掌を合せて、目に見えぬものに向つて感謝の祈りを捧げた。

ホテルの三階の奥まつた一室で英輔は彼女を待つてゐた。古風な大ストーヴには、赤々と火が燃えてゐた。そして円い卓子の上にはキング・オブ・キングスの陶器の壺が置かれ、グラスには琥珀色の液体が波々と満たされてゐる。

——もう来さうなもんだな。

英輔は、腕時計を覗く。それから手を伸ばして、グラスを取上げる。そして何杯目かのウヰスキイで唇を濡らすのである。

ほと〳〵とノックの音。

「……おはいり！」

英輔はウヰスキイで濡れた唇に手帛を宛てながら、優しい声で応じた。

扉が明いた。そして倭文子の姿が現れた。黒い天鵞絨のコートに手には黒貂の毛皮のショール、手袋も黒い絹だ。彼女の好む喪に似る婦人の黒い装ひで、それ故一さう顔や頸が白く大理石のやうに映えて見える。

扉口のところで、英輔の方に背を向けて、倭文子はさら〳〵とコートを脱いだ。

「……よく来てくれたね、さ、こゝへお掛け、火の傍がいゝ」

英輔は皮の椅子から腰を擡げて手で彼女を招じた。

「……御用はどうでしたの？」

倭文子は気懸りらしく訊ねた。

「……先づ決裂だよ、銅山の方は人手に渡すことになるかも知れん」

英輔は煙草を啣へた。

「はゝ、しかしそんな話はお前には用がなかつたね」

重苦しい吐息とともに彼は云つた

「……しかしだ、よく聞いてくれ、親父の遺言をお前に渡すことゝ、小森家の事業とは、決して無関係ではないんだ」

新刊紹介

▲協和(第三巻第三十號)大孤山殉職者の追悼號である(定價金二十錢、大連滿鐵本社、滿鐵社員會發行)
▲會報(第十四號)定價金十五錢　大連市浪速町一四六滿洲鐵入組合聯合會發行
▲電氣之友(第七一九號)定價金四十五錢、東京市京橋區南金六町五番地電氣之友社發行
▲世界美術全集(第十一卷)ローマネスク、五代及北宋、高麗時代、藤原時代の遺品約百四十を集む(非賣品、東京市麹町區下六番町一〇平凡社發行)
▲南滿洲警察協會雜誌(十一月號)定價金四十錢、旅順關東廳警務局内南滿洲警察協會發行
▲マルクス主義財政特に租税論(四方田敏郎氏編譯)マルクス、レーニン、バルガ、ノイパウエル、クニーク、レンツ號の論文を集む(定價金八十錢、東京市麹町區四番町九番地叢文閣發行)
▲中央佛教(第十三巻第十一號)秋野老師總持寺後董推薦號で東本願寺の傷害事件等の記事もあり(定價金三十五錢、東京市牛込區矢來町五七中央佛教社發行)
▲短唱(十一月號)定價金三十錢、東京市芝區君塚町一八短鳴社發行
▲拓殖公論(十一月號)定價金三十錢、東京市麻布區六本木町四五、拓殖公論社發行
▲我等(十一月號)如是閑の社會戰と國家戰其他(定價金三十錢、東京市中野町上ノ原九三七我等社發行)
▲菊寛全集(第八卷)明眸譜と新女性鑑とを收む、何れも曾つて天下の子女を熱狂せしめた作品(豫約品、東京市麹町區下六番町一〇平凡社發行)
▲少年倶樂部(十二月號)少年潜航艇、大洋に迷ふ、家なき兒、先生の日記、僞田々村、苦心の學友、河童異形變、山嶽奇談其他多數の面白き讀物あり且つ大演習遊戲と云ふ附錄あり(定價金五十錢、東京市本郷駒込坂下町四八、大日本雄辯會講談社發行)
▲向上の少女(十二月號)花ものがたり、渦巻く河、路傍の花等(定價金二十錢、東京市神田區一ツ橋通り廿一帝國文化協會發行)

絶對手術をせずに治る 蓄膿症療法

—皇漢藥學の齎せる一大發見—

日常生活の状態から生まれる病気は色々あるが、最近の統計上最も急に増加しつゝあるものは鼻の病気である、現代人の中でも特に日常机に向つて事務を執る人乃至勉強に耽る人などは一日顔面を俯向けてゐる関係から鼻の疾患に罹り易いと称されてゐる。そしてその鼻の病と称するものゝ大多数は実に鼻茸と蓄膿症である。この二つは何れも鼻病中最も性質の悪いもので専門家の診察を乞へば十中の八九までは切つて取るとか孔を開けて膿を吸出さうとかいはれるのである。神経性の人などにあつてはこの手術のために脳貧血を起して卒倒したり失神したりすることは珍しくないのである。

低能となる病気

たゞそればかりでなくこれらの病気に罹ると脳に故障を誘起するために色々な不快な症状を現はし甚だしくなると神経衰弱ヒステリーとなつて明快な頭脳が何時ともなく低能痴呆に近くなるの虞があるから捨て置くと一大事である。中でも蓄膿症は鼻の両側の骨の間に化膿がたまり鼻をかむとその膿が鼻汁と一緒に出て一種異様の悪臭を發し全身は何となく不快になつて仕事などに一向能率が上がらなくなるといふ特徴がある。この療治には是非とも長い錐に似た器械を鼻孔から挿入して患部まで突き刺すのである、この手術を嫌ふためにどれ程多くの人が躊躇して病気を重くするか知れないのである。實際これらの病気に對して内服薬の有効なものが出現したら如何に患者に取つて大きな恩恵であるか知れないと云はれてゐた。

特殊植物の薬効

所が皮膚の表面にできる種々の化膿性腫瘍に對しては既に内服薬で化膿を分解し痛くも痒くもなく治す薬が發見されて多くの人を救つてゐるのであつて獨り鼻病にのみその恩恵が及ばないといふのは遺憾千萬なことゝ云はなくてはならぬ譯であるといふので最近この方面の研究が盛んになつた結果面白い實驗が報告された。それは玄参科、漆樹科、菊科、薔薇科等の植物中のあるものゝ成分を抽出したものから合成された新成分を内服すると前に述べた症状に於ける膿菌や膿栓が體内で分解されて死滅しさしも頑固な蓄膿症や鼻茸が何時ともなく忘れた様に治つて仕舞ふといふ事實である。これは實に耳鼻科の治療に一大光明を投げたもので其の恩恵の及ぶ廣さは測り知るべからざるものがあるのである。しかも其後續けられた研究によると此の新成分は實に鼻加答兒、臭鼻症、肥厚性鼻炎等をはじめとして前記の蓄膿症、鼻茸、アデノイド、中耳炎など、耳鼻疾患のすべてに特殊の薬効をもつことを認められたのである。

迅速な分解作用

そこで、これらの成分からあらゆる副作用を除去して完全な内服薬たらしめるために錠剤とし一般に提供されることになつた、チクノール錠がそれで現在に於ては全く我國唯一の特殊薬として各方面に賞用されてゐる。此薬を服用すると非常な勢ひで體内の白血球(つまり病菌を喰ひ殺す作用を為す血球)が増加し新陳代謝が旺盛となり、平生から脳の工合の悪い人などは頭がハッキリした感じを伴ふものである。そしてその病気分解作用は迅速且つ正確で大抵の人は服用後間もなく便通が緩和となり快よい程度の軽い下痢を起すものである。これがこの薬の作用をよく證明するもので、この時から既に着々として病症が減退を始めるのである、現に角服者は一度試みる價値があると思ふ。

チクノール錠は我國唯一の耳鼻疾患内服藥にて左の諸症を内部的に消退、治癒させる特殊の卓効を有するものです。【適應症】—蓄膿症、肥厚性鼻炎、鼻加答兒、鼻汁過多、中耳炎、外聽道痛瘍、耳だれ、頭重等。定價は四十八錠入金貳圓、九十六錠入金參圓五拾錢、百九十二錠入金六圓である。尚本劑は全國各地の著名藥局藥店にて販賣せられてゐるが萬一品切れの場合は發賣元東京日本橋區瀬戸物町一〇玉置合名會社(振替東京七二番)へ直接注文すれば直に送藥する由。又端書に此新聞名を記入して發賣元へ申込めば鼻病に就ての美麗な説明書を誰にでも無代で送呈する筈

夕刊
滿洲日報
十一月廿九日
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

露支和平交涉地は結局大連に決定しやう

全權
支那側　哈爾賓籌備處長　蔡運升氏
勞農側　元哈爾賓總領事　メリニコフ氏

【ハルビン二十八日發電】東鐵問題に關する奉露間の原則的取決め成るとの報に依り北滿の勞農國民は愁眉を開く、露支交渉地點につきロシアはハバロフスクを指定してゐるが支那側は通信其他の點に於て同地を不便としてゐるので結局大連、奉天、哈爾賓、滿洲里の内大連に落つくだらうと、交涉全權は支那側はハルビン籌備處長蔡運升氏、ロシア側は元哈爾賓總領事メリニコフ氏と傳へらる、尙細目交涉は幾多の紆餘曲折を經るものと見られてゐる

支那側の解決案
第三國を加へ實地調査

【南京廿八日發電】王正廷氏は露支紛爭解決のため廿五日ドイツ政府を通じてロシアに左の妥協條件を提出した旨本日外交部より發表した
一、露支兩國は同數、第三國より一名を選び共同調査委員會を組織し實地調査をなした上双方の責任を明かにす
二、ロシアが本提案を應諾せば兩國軍隊は直ちに現在戰線から三十哩を後退す
三、双方共責任回避又は相手國非難の如き言動を一切中止し第三國の正當なる判斷を待つこと
四、斯くて東支鐵道其他一切の懸案を解決する

兩國とも駈引多く
露支交涉の前途は多難

【ハルビン特電二十八日發】露支交涉の氣運は奉天を中心に動いてゐるが交涉の形式と面子に引つかかり今や協議を重ねてゐる、ロシアは支那國防軍の内兜を見すかし最初聲明せる原狀の回復を擲棄せず支那の具體的誠意の披瀝があるまで交涉に應じない、その誠意とはソウエート管理局長の無條件就任にある、支那は外交手段として米國に信頼せんとしてゐるがロシアは期待しない、且つロシアは今回の支那が採つた軍事行動に反擊を與へる用意を有してゐる支那は表面は和平を主張せるも海拉爾以西の勞農軍の撤退を眺めては再び强腰となり勞農軍の軍事行動はこれ以上に出ぬと限度を知り高を括り交涉は容易に進捗せぬと觀られ、若し交涉する場合は第三國の居中調停を避ける意嚮である

前線の支那兵進出
勞農軍國境撤退を見て

【ハルビン特電二十八日發】ハイラル以西に勞農軍の隻影を認めずとのことで一時狼狽して潰走した支那軍はハイラルに一ケ旅を派遣し前線には諸部隊を派し勞農軍の狀況を偵察せしめつゝあり札ラ諾爾滿洲里の奪回は双に觀らず容易に行へるであらうと

英國支那の好意
駐英公使の依賴に

【パリー二十七日發電】ロンドンよりの來報に依れば英外相ヘンダーソン氏は本日駐英支那公使より露支紛爭に關する南京政府の依賴を受けたが之に關する回答を保留せるも英國は支那側の希望に好意を有し居り成行は注目されてゐる

對露强硬主義の呂督辦辭任せん
和平機運濃厚に伴ひ

【ハルビン特電二十九日發】露支紛爭の種を蒔いた東鐵督辦呂榮寰氏の位置が問題となつて來た、氏は對露强硬論者でこれまで十二分に交涉成立し得る機會があつたのに徒らに時期を失し大軍を損傷するに至つた、これは明かに呂督辦の政策の失敗であると見[illegible]

し來た、從つて氏の辭職は時の問題である之に次で對露政策に種々なる役割を演じた張國忱氏も同樣辭職せねばならぬであらうと

外交權の奉天還元

【ハルビン二十八日發電】過去四ケ月間に亘つてさしも紛糾した露支問題も愈々圓滿解決の時期に達したが奉露單獨交涉開始は一旦南京に移つた東北四省の外交權が實質的に還元した譯で此結果日本對東北四省外交關係は必然的に好轉

あす、晴れの海軍會議へ
鹿島立つわが若槻全權一行

ロンドン海軍會議の我全權隨員一行は愈明三十日午後三時横濱解纜のさいべりあ丸にて出發米國經由ロンドンへ向ふ筈で　聖上陛下には畏くも去る廿五日宮中において全權以下に御陪食を賜はつた【寫眞は當日御暇乞言上に參内する若槻全權】

博克圖驛大混亂

【ハルビン特電二十九日發】ブヘト驛に廿八日午後二時勞農機八臺同二時三分五臺飛來し驛及び第二軍司令部を破壞し大混亂を呈してゐる、支那兵は算を亂して退却しつゝあり

するものと見られてゐる

博克圖機關庫撤退

【ハルビン特電二十九日發】博克圖驛の機關庫は札蘭屯に撤退し驛内にあつた列車一二等車は爆彈のため破壞された

軍縮開會式場
英上院皇族室

【ロンドン廿八日發電】ロンドン海軍會議出席のイギリス代表は來月二日マクドナルド首相より發表せられる筈であるが會議會場は最後の決定なきも開會式は多分上院皇族室の模樣である

對支政策の要諦は
日支共通の福利に立脚
現内閣は斷じて瓦解しない
近畿大會における濱口總裁演說

【京都廿八日發電】民政黨近畿大會に於ける濱口總裁の演說要旨左の如し

軍備縮小問題　我國の海軍々備縮小問題に關する態度は夙て確定不動の方針がある、卽ち我海軍は世界の何れの國をも脅威せざると共に世界の何れの國からも脅威されざること、國際平和の精神を貫徹すると共に國民負擔の輕減を圖るべく可及的に軍縮の實を擧ぐる事である、此主張により我海軍力は必ずしも英米より低きを厭はず只比率の限度は萬一の際我が國の存立を脅かされぬを要する

對支問題　對支政策の要諦は日支共通の根本的利害に立脚して百年の長計を定め當面の各問題に善處するにある、個々の問題に就ては不諦の點もあるであらうが限界を廣くし靜かに考ふれば結論は自ら明かである大所高所に立ち互に疑念を避け胸襟を開いて東洋平和の維持、兩國の使命の遂行につき目標を定めて進むべきである

緊縮と金解禁　金解禁は國民經濟發展の行路に横はる第一の關門を突破し我國經濟をして世界經濟の常道に歸らしたに過ぎぬ、今後益々國際貸借關係を改善し金本位制を擁護し財界の回復發展を圖るべく國民的努力をなすを要す、今尙ほ解禁時期尙早として惡聲を放つ如きは時代錯誤と云はざるべからず

陰謀排斥と政黨政治　最近疑獄事件を利用して内閣倒壞を圖らんとの陰謀說を聞く政府は司法部の活動を何等制肘せざるのみならず益々司法權の威嚴を確立せんとす現内閣は斷じて瓦解するものにあらず國民は政黨の美點を認識するに先立ち政黨の缺點を見せつけられた感がある、斯くては政黨政治の信用を繫ぐ所以にあらず國民が政黨政治を信用せざれば我國の憲政は再び逆轉せざるを得ぬ若し今日の社會思想混亂の時に憲政の逆轉を見ば其結果は眞に恐るべきものであるべしと思ふ

小橋文相辭表提出
病氣其任に堪へずとの理由で
けさ濱口首相を訪ひ

【東京廿九日發至急報】小橋文相は本日午前十一時病氣其任に堪へずとの理由にて濱口首相を訪ひ辭表を提出した

文相後任に田中氏
他の閣僚入替は行はず

【東京二十九日發至急報】文部大臣の後任は田中隆三氏に決定今日中に左の如く親任式を擧行さるる筈
任文部大臣　從四位勳二等　田中隆三
尙政府は單に文相の椅子を補充するに止める事となつた

田中新文相略歷　田中隆三氏は舊秋田藩士田中鑑世の長男で、元治元年十月生れ明治二十九年家督を相續し、同二十二年帝大法科を卒業し農商務省に入り參事官、審判官、鑛山監督官となり後衆議院書記官法制局參事官、長崎縣書記官等を經て農商務省鑛山局長、行政裁判所評定官等に歷任し又一時辯護士たりし事もあり、退官後藤田組に入り、小坂鑛山長、本店常務理事等に擧げられ、尙農商務省次官たりしこともある、從四位勳　等で、秋田市より推されて衆議院議員に當選する事四回に及び現に其職にあり又秋田銀行、秋田水力電氣取締役である、かま子夫人は明治三年八月東京に生れ、長男隆一郎氏は明治二十三生れ東京帝大工科出身、隆一郎氏のふじ子夫人は明治卅三年生れ、小坂順造氏の妹で、次男隆二郎氏は明治廿八生年れ、帝大農科出身、藤田組兒島灣農場勤務、同氏の操夫人は明治卅七年生れ海軍中將齋藤半六氏長女で、尙此の外、孫テツ子（大正九年生れ隆一郎氏長女）同喜久子（同十二年生れ同二女）あり妹ヨネ（明治三年生れ）さんは秋田縣士族小野崎佐助氏に嫁してゐる

小橋氏辭任後の優遇考慮

【東京二十九日發電】小橋文相辭職後の優遇方法については安達内相が頗る心配し首相と協議の上遺憾なきを期する意向である、なほ大藏參與官は小橋氏の慰留に依り辭任を見合すに決した

小橋氏の辭任挨拶

【東京二十九日發至急報】小橋文相は濱口首相と午後一時よりの閣議に列席し自己一身上に關し種々辯明した後辭任の挨拶をなして辭去した

現内閣彈劾聲明
政友緊急幹部會で決議

【東京二十九日發電】政友會は二十八日午後六時半より本部に緊急幹部會を開き時局問題につき協議の結果左の如き要旨の聲明書を決定發表し九時半散會した
國務大臣は天皇輔弼の重責に任ずるものなり、若し一閣臣國法に問はれんとし天下の疑惑を招ける時之を

奏請せる　總理大臣の責任は素より重大なり、小橋文相の免るべからざるを知るや濱口首相は内閣改造を行ひて時局を瀰縫せんとするが如し、抑現内閣が十大政綱を掲げて政治の公明民心の作興、綱紀肅正を唱へながら文教の府に小橋氏を長たらしめし濱口首相の責任は斷じて免かるべからず、況んや若槻全權に對する疑惑未だ解けず波邊法相の司法權濫用未だ糺されず疑獄の前途なほ幾多の

閣臣に及　ぶや知るべからざる時に於てをや、且つ十大政綱は畏くも曩に陛下に奏上せりと聞く、總理は自から省みて政治道德上何等責任なしとするか小橋文相は國民敎化總動員をなし國民精神の涵養を力說す、その國民を欺瞞したる罪斷じて許すべからず、之れ小橋文相獨りの責任に非ず、濱口首相は須らく上輔弼の重責に鑑み下國民に對する責任に顧み正に闕下に伏して罪を待つべきなり

外務省善後協議
佐分利公使自殺の爲

【東京二十九日發電】佐分利公使突如自殺の急報に外務省では日支通商條約改訂交涉を控へてゐるので大いに狼狽し、幣原外相は直に午前十時濱口首相を訪ひ此旨報告善後策を講じ一方省内では吉田、永井兩次官、有田、武富、堀田、松永等各局長參集重要會議を開いた

治廢一方的宣言引込みの前提か
國民政府商議を要求

【北平廿八日發電】國民政府は英米駐在支那公使をして來年一月一日より自發的治法撤廢の積りなれも一方的宣言にて撤廢するは不法なる故速かに代表を派し商議せられ度いと通告したが、這は列國の絕對反對する所なり且つ内亂鎭定に至らず北滿の形勢益々惡化の形勢に在るを以て常分既[illegible]の外なしと見し單獨廢棄の强がりを引込ませる前提と見られてゐる

汪精衛氏黨籍褫奪

【南京二十八日發電】國民政府では陳公博氏等改組派に對して斷然たる處置を取り只汪精衛氏に對しては黨の元老たるの故を以て寬大に取扱つてゐたが、最近汪氏の態[illegible]

疑獄事件と研究會改革派

【東京廿九日發電】貴院研究會は二十八日午後茶話會を開き疑獄事件の進展につき意見交換する所あつたが、席上曾我、大河内子等は研究會の一部にも疑惑高まり居る實狀に鑑み疑惑の渦中に在る會員に潔白を聲明せしむべしと說き一掃の第一聲を揚げたが、全會一致的贊成を得るに至らず其儘散會したが、曾我、大河内子等の革正派は近く幹部に會見聲明問題につき進言すると共に司法權の徹底的發動を促すこととなる模樣で會員佐竹三吾氏に就ては有罪を待つて除名處分を提議する方針を決定して居り今後革正派の活動は注目を惹いてゐる

大連の近接地に製鋼所設置陳情
市會委員滿鐵總裁へ

大連市會に於て可決された昭和製鋼所を大連近接地に設置する件に就て廿八日委員會を開いたが市より調査研究實行の事務を委囑され廿八九日中石本市長は右九名の委員と共に仙石總裁を訪問して陳情することとなつた

市長辭任口約は自治政治の反逆
區長有志輿論を喚起

二十八日石本鏆太郎氏が市長職を投出すとの噂が傳はつたが二十九日午前中に於ける市役所の空氣は表面何等平日と異るところなく市長の決意を訊せば區々言明した如く紳士協約の趣旨に基き有給案を提出せしむるに其の道を以てせざれば提出し難いと頑張つてゐる、然し各派市議を繞る空氣は當ならぬものがあり寄々密議を凝らしてゐる、一方區長間に於ては市役所は市民の自治機關であつて市會議員の市役所ではない、市民が關知しない所謂有給市長案の口約は一種の密約であつて市政を私し民意を反映しない自治政治への反逆である、故に石本市長は口約に束縛されず市民の市長として市民の前に責任ある措置をとるべしとする市長に好意を持つ區長が蹶起し寄々鳩首協議を重ねて區長大會を開くべく目論でゐると傳へられるが差當り約十名の區長有志が今明日中市長並に議長を訪問して有給案の經過と市長の決意を聽取したる上都合によつては市長に留任勸告を爲す模樣である

一部市民の市長擁護大會

之と同時に石本市長を擁護せんとする人達が市民大會に名を藉り市長有給案を主題とする演說會を來る日曜日、三ケ所に於て開催し大いに氣勢を擧ぐることに決定した、主催者は今日中に確定するが多分區長有志主催になる模樣である

人事

▲エマーソン氏（技師）廿九日出帆榊丸にて上海へ
▲橋本關雪氏（畫家）同上
▲陳希豪氏（各省政治專員）同上
▲徐兆葆氏（同）同上
▲ボンドリヤン氏（國際聯盟保健局新嘉坡支局長）廿九日入港大連丸にて來連
▲伍連德氏（東三省防疫總辦）同上
▲蔡鴻氏（南京政府防疫部長）同上
▲坂本一次氏（前大汽青島支店長）同上
▲田部章一氏（陸軍步兵中佐）外六名と共に青島視察中のところ同上
▲三浦義秋氏（關東廳外事課長）二十九日朝來連英國領事館に駐日英國大使訪問

大觀小觀

奉天側は、東支鐵道の原狀還元を條件として、勞農側と單獨交涉を開くことに屈古垂れた。
◇
一事は萬事。支那のことは、總ね斯くの如し。
◇
例の治法撤廢、一方的の宣言のみにて斷行も出來ぬとあつて、代表を派し商議せられたいと英、米駐在公使をして通告せしめたと。
◇
矢ッ張り氣になるか。
◇
田中隆三氏、小橋氏に更りて文相に親任さる。
◇
内閣の生命たる政策に破綻を來さぬ限り、政變などと騷ぐは尙早。
◇
佐分利公使、突然の自殺。時局過勞で神經衰弱の結果とは哀悼の至り。
◇
殊に對支案件の山積せる秋において、邦家のためにも最大損失。

天氣豫報

（三十日）北西の風晴れ
日出 六、五一　日沒 四、三三
滿潮 前九、二五　午後 九、五五
干潮 前三、三〇　午後 三、一五

暴風警報解除　二十九日午前十一時三十分、南滿洲附近一帶の暴風警報を解除

荻川放談（126）
惡夢なれ（其三）

もう宣傳の時期じやない、今度の經濟國難打破は、その國難と云ふ大事なるだけ、趣旨は夙に國民に徹底したかと思ふ、況んや金解禁の現實問題は刻々に逼り來るとき、之に伴ふべき諸問題も亦現實として取扱はねばなるまい、そうして國民個人に對すべき緊縮の要諦は、之を其[illegible]

[illegible]際の働きに待つべしとは既に說いたところなるが、關東州及び滿洲の各地方でも、在留邦人に此活躍はこれあり、殊に新聞紙上に報ぜらるゝ撫順滿鐵社員婦人部の、之が爲に立てる如き、特に婦人團體なるがゆえに、之を歡迎し、之を尊重す。
◇
由來我婦人の社會的奉仕は乏しい、我等大和民族は斯うしたことを婦人に委ね、男子には須らく國家的事業に心身を傾投せんことを希ふべきにあらずや、云ふ勿れ、婦人にも國家的事業ありと、之は否認せぬ、されど[illegible]

ゝに云ふは家庭を營む婦人に就てのこととなり、此意義に於て今度の緊縮には、最も多く婦人の力を借りたい、そうして堂々たる男子が、其緊縮の爲めに、やれ時刻の勵行だとか、宴會の改善だとか、緊縮ならずとも常に考えねばならぬ事柄につき、浮身を窶せるを、婦人側からひつくり返してやりたいのである、これから考えると、公私經濟緊縮委員にも婦人を參加させたくなる。
◇
今更公私經濟緊縮委員に、婦人を參加せしめよとは云はぬが、亦これまでのような婦人では參加せしめても盆り無しかるまいが、こゝに婦人團體が立つた、公私經濟緊縮委員會は直にそれと連絡し、其支持或は其指導を爲さねばならぬ、すべての民衆團體にも此事は必要である、併し婦人團體に期するところ多いだけ、それだけ同委員會の注意をこゝに集注して欲しい、斯くならんには委員會に前編で述べた部門の設定、其部門による研究、其研究を以て當該團體に臨むの急務を感ずるではないか、そうして部門の研究は抽象ならずして、須らく具體のものたるべきなり。
◇
[illegible]消費節約を最先とす、これが出來てこそ、物價の高貴に喙を容れ得る、赤負擔の輕減に向つて口を挾むべし、諦なく賦稅の高率を呪ひ、失費の多額なるを喞つ如きは末なり、そこに家政社交の改善方法が、婦人によつて考案さるべし、婦人團體によつて實行さるべし、進んでは緊縮から來る失業なんかも、或程度迄は婦人の手に拯はれたいものである、こゝに濱口内閣の經濟國難打破に共鳴し、其運命を氣遣ふに方り、端なく起つた感想を錄つて爾か云ひしのみ。

わが佐分利駐支公使 箱根でピストル自殺す
ゆふべ宮ノ下富士屋ホテルで 原因は神經衰弱

【小田原廿九日發至急報】目下歸朝中の我駐支公使佐分利貞男氏は二十八日朝箱根宮ノ下富士屋ホテルに投宿したが、今朝六時半に至るも起き出でず、樣子が怪しいと見た女中がノックしたところ、更に應答なきためドアーを破つて入り見たるに公使はピストル自殺を遂げてゐた、この旨屆出により所轄署では目下原因その他詳細取調中である（寫眞は佐分利公使）

はなからうかと自分は想像してゐる、操行嚴格で人格の立派だつた氏を失つたことは返す／＼も惜しいことである

略歴

自殺した佐分利氏は工學博士佐分利一嗣氏の令弟で明治十二年一月生れ、同三十八年東京帝大法科を卒業後外交官領事試驗に合格、外交官補に任じ露支佛各國に在勤、同四十一年十月外務省參事官に轉じ、同四十五年四月大使館三等書記官に任ぜられフランスに駐在、大正三年十二月二等書記官に、同五年十二月一等書記官に進み同七年五月外務書記官に任じ大臣官房人事課長を命ぜらる、大正八年講和會議全權委員隨員仰せつけられ、後外務省參事官となり次いで大使館一等書記官に轉じ米國駐在を命ぜられ、翌九年國際通信會議豫備會議隨員を仰せつけられ同十年大使館參事官に陞任し、華府會議全權隨員となり、同十三年九月外務省通商局長に任じ更に本年芳澤公使の後を襲ひ支那公使に任ぜられた、家族は亡兄一嗣妻みつ（明五、一生）同長男一武（明三二、六生）及びその弟妹がある

夫人を喪つてこの方は 味氣ない生活振だつた
急死を聞いて驚愕この上なく 外相、令姉ら急行

【東京二十九日發電】歸朝中の佐分利公使は帝國ホテルに滯在し幣原外相等と共に二十七日外務省に於て支那の形勢、今後の日支條約交涉方針等につき會議をなし至極元氣で自分の意見等をも陳述し何等變つた 樣子もなかつたが、二十八日朝箱根富士屋ホテルに赴き投宿したが、今朝六時ピストル自殺を遂げたことを發見しホテルより直に外務省に急報して來たので幣原外相、吉田次官、有田亞細亞局長は驚愕措く能はず直に午前十時東京發、谷アジア第一課長、藤井人事課長、佐分利氏の令姉光子、公使の甥等は箱根に急行した、原因については外務省でも思ひ當ることがないので頗る不審に思つてゐるが、頃日來對支外交の經過につき憂慮してゐた模樣であつた、併し這は直接

事件の原因 とは思はれない、公使は往年關稅會議事務總長格として日置全權に隨伴して北京に赴き活動中最愛のフミ子（小村侯の令妹）夫人を失ひ以來自ら本鄕吉祥寺住職に頼んで戒名を貰ひ得度式まで行つて一生獨身生活を續けることに決心してゐた、その後各方面から妻帶を勸められてゐたが、公使はいづれもこれを一笑に附して取合はなかつた、そして單身支那公使として十月初め赴任し南京、北平を經て本月歸京したのである、公使は

家庭を持ず 常に帝國ホテルに宿泊し餘暇あれば箱根に出掛ける位のもので全く無味乾燥の寂寥たる生活を續けてゐるうちに自然神經衰弱に罹つてゐたものと見られてゐる

孤獨の 生活から箱根の如き雄大な大自然に接し發作的氣分からあゝしたことになつたので

極めて冷靜な外交官だつた
『仲よし』を失ひ暗然として 大藏滿鐵理事語る

僕とは仲のよい友達でしてね、高等學校では二年先輩、大學では佐分利君は法科で一年先輩だつたが僕が歐洲旅行中も不思議に二人はよく出會つたよ、最初は昨年の暮モスクワで會ひ次に今年五月ロンドンでも會ひ

最後は 先日來滿した際に會つたのだが惜しい人物を殺したものだと思ふ、性格は外交官としても極めて冷靜な方で何が今度の自殺の原因であるか全く見當もつかない、學校時代は非常に快活なスポーツマンでボートが非常に好きでロンドンで會つた時もスカールを二隻も有つてゐて暇を得ては漕いでゐると云ふ風だつた、先日來連の際は晩餐を共にしたが林檎が大變好きで滿洲產林檎を口を極めて賞美し、南京に歸つたら大に滿洲林檎を宣傳する等と

悅んで 出發の際四籠も持歸つた程だつたが、今はそれも故人を偲ぶ悲しい追憶となつたよ恰度一昨日僕の家へ來た時撮つた記念寫眞が出來たので發送した所だつたがあの寫眞も遂に受取人を失つて了つたよ、頭腦の非常に緻密な調査的好きの男で近代支那に對しては可成り深い理解があり一時軟弱外交だ等といはれたこともあるが、これから幣原外相の

片腕と なつて大に働かうと云ふ今になつて君を失つたことは我が對支外交のため大きな損失であり、恐らく幣原さんが大きに力を落されたことだらう、最近では「僕は妻も亡くなつたしこれからは本でも澤山讀んで見聞を廣めて、政府が使つて與れる限り働く決心でゐるよ」と語つてゐたが、君、實際悲痛な心持ぢやないか

對支外交上 非常な損失だ
大平滿鐵副總裁談

佐分利公使の訃報を齎し大平滿鐵副總裁を訪へば「僕も今その電報を見て驚いてゐるところだ」と冒頭して大要左の如く語る・公使は備後福山の生れで僕とは同鄉で大名黌に通つてゐる當時からの知合である、本年四十七八歲かと思つてゐる、氏の長兄一嗣氏は既に他界してゐるが次兄秋山廣太氏は大阪合同紡績の社長で關西の財界には

重鎭を なしてる人である、氏のフランス語に堪能な事は有名なことで曾つて西園寺公がフランスに行かれた際などはその通譯の任に當つて非凡な才を認められ、外務大臣幣原男にとつては懷中刀として信任最も厚く公私とも非常に惠まれた人であつたが、唯家庭の人としては夫人に先だゝれたゝめ一子もなく全くの孤獨の生活で惠まれずこの點が氏の

煩悶を 作つてゐたことではなからうかと思はれる、東京ではよく帝國ホテルに泊つてゐたが外出の際などホテルのボーイなどをよく連れて出たものだ過般上京の途次大連に立寄つたときは僕の自宅で公使と二人晩餐を共にしながら三時間ほど話したが當時は僕の現在の生活を見てオレと同じ孤獨の生活だのうと述懷してゐたが今日自殺しようなどゝは夢にも思はれなかつた、對支問題に對しても

相手方 がどう出ようと自分は權謀術數などを用ひず何處までも誠心誠意正直にやつて行く積りだ、それが最後の勝利を得る秘訣である、然し對支外交は右から左へと片付くものでなく時を要する――副總裁もこの點はよく玩味されたがいゝなどゝ話してゐたが、今日同公使を失つたことは帝國の對支外交上非常な損失であらうと思ふ、自殺の原因など考へられもせぬが矢張

珍らしく元氣な人
森少佐の談

過般の來旅に際し爾靈山戰蹟を案內した關東軍司令部の森少佐語る

佐分利公使が變死された事は全く夢のやうな話です、爾靈山に案內した折なぞは隨行の書記官等は自動車で普通の路を登つたがたゞ一人公使は私と二人であの松山の中の五町に餘る惡い坂道を眞直に頂上を極めたのでした、迚も元氣で自動車から降りるなり手早くオーバを脫いで片手に持ち戰爭當時の模樣などを私に尋ねながら年にも似合はぬスバしこさでグン／＼登られた元氣で快活で神經衰弱なんてそんなお方とはちつとも見えなかつた、私もこれまで幾十回となく戰蹟の案內をしたがあんた方は全く始めてゞした

いふべき言葉も出ぬ
神田內務局長談

餘りに意外な事で云ふべき言葉も直ぐには出ない、氏があの溫顏に微笑さへ浮べながら語られたのはツイ二週間前のことで私の目には未だあの時のことがハッキリと寫つてゐる、此度こそは懸案の日支條約改正問題も必ず解決出來るかと只管に期待したのであつたが皆水泡に歸して了つたわけである、全く此際に方つての此の變死はたゞ國家のため惨しいと云ふ外はない

惜みて餘りあり
今朝來連の 三浦關東廳外事課長談

來奉中の駐日英國大使サーチレー氏に挨拶の爲め二十九日朝九時五十五分列車にて來連の三浦關東廳外事課長を佐分利公使自殺の報をもたらし驛頭に出迎へると「それは夢のやうな話ですね、本當ですか」と驚きながら

非常に 元氣で、先日公使が大連に立寄られた時は旅順戰跡を案內した時など爾靈山の麓まで行くと公使は自動車を降りて上衣を脫ぎ、シャツ一枚になつて徒步で、それも道のない急勾配を頂上目がけて眞直ぐに駈け登られ、我々が道路を步くより遙に早く山頂に達し、歸りも同じく道のない急斜面を山麓まで一直線に駈降り隨行員を驚かされた、公使は一高時代から運動には非常に興味を持たれ、私共が一高在學中も時々母校へ來て

後輩に 話をされる序には必ず運動を奬勵されたもので、今度の旅行中も機會ある每に運動を續けて居られた、別に神經衰弱などに罹つてゐられた模樣も認められなかつたし、例の日支通商改訂交涉に關しては沿線視察中にも朝早く夜は更くまで書類や參考書を見て熱心に研究を續けられ、時に自信の片鱗をも漏らされてゐた位であるから決してこの難問題を目の前に控へて煩悶の爲め神經衰弱に陷られた結果などとは考へられない

最愛の 夫人を亡くされて以來ずつと獨身で華かなるべき外交官としての生活に孤獨の淋しい影が搖曳してゐるかに餘所目に觀られたことは非常にお氣の毒に感ぜられてゐました、公使の自殺が果して事實とすれば其の原因の如何に拘らず、日支難問題解決に對する折衝の最適任者として內外より期待されてゐた丈けに、惜みても餘りある次第です

學生時代は 運動の選手

【東京特電二十九日發】箱根に於て自殺した佐分利公使は三十八年帝大佛法科の出身で、同窓には前大藏次官黑田秀雄、佐竹三吾、川崎第百銀行頭取、堀越日銀理事等多數の名士あり、學生時代はボートの選手で當年名コックスとして其名を稱はれたものであるさうである、死因は不明だが先年愛妻を亡なひ且つ支那問題に關し憂慮の結果、神經衰弱に罹つたものだらうと友人達は云つてゐる

遺骸けふ歸京

【東京廿九日發電】佐分利公使の遺骸は多分本日中に遺族知友に護られ歸京のはずである

奉天醫大氷滑部の 歐洲遠征を送る
附＝滿洲スケート界の將來
岡部平太 (3)

アイス・ホッケー

アイス・ホッケーは氷上に於て行はるゝ[illegible]も壯快なる集團ゲームで[illegible]醫大のテイームは奉天[illegible]の利を占め、學生といふ集團力を利用して、始めからアイス・ホッケーの研究に沒頭した。大正十四年始めて天津の日本人テイームが遠征して來て以來まだ[illegible]シーズンを出でざるに

▽…醫大 の進步は實に目覺ましいものであつた。それまで每年七對〇、八對〇と云ふ樣な大きいスコーアで破れて居た、奉天外人團に對してさへ、醫大は今日逆さのスコーアで悠々勝つ樣になつた。早稻田、慶應、明治あたりの强テイームを以てしても醫大に對して七或は一〇以內の得點の差は望み得ないとである。醫大が今や日本に志を充たし得ず遠く北歐に遠征の壯擧を試みるといふ事は其研究的良心から云つて至當の事であつて現狀の儘に於てはホッケーも亦此後幾年か停滯行き詰りの狀態に陷らねばならぬ、それは若き醫大として到底絕之得ることでないであらう。

スポーツと創造的進化

スポーツは他の科學、及藝術と共に前途に常に無限の擴がりを有つ、それは單に外面的でなく內面的にもそうである。ラグビーに於てプレヤー三十人のすべての知識と全神經は常にたつた一つのボールの動きに集注されて居る。然かもそのボールがスクラーム（密集）の中に投げ込まれた瞬間、誰一人としてそのボールの次の運命を知るものはない。そうして次から次に起り來るボールの變化に從つて三十人の敵味方は各々一人一人の創造力によつて砂を蹴つて動いて居る、また動かされて居る。一瞬間も絕えざる創造的進化がゲームの生命であり、プレヤースのゲームの心理である。

▽…曾て 或人が陸上競技を見て、スポーツマンが其五分ノ一秒を爭ひ、十分の一センチメートルを爭ふことの愚を笑つたと云ふことを聞いたがそれは勿論ゲームを知らないばかりでなく恐らく世に創造の愉悅に浸つたことのない人達に相違ない。繪畫や彫刻に就ても名作佳品の模寫で滿足の出來る程度の人達に相違ない、スポーツの世界は一歩も絕えざる創造である、そうしてその前途は無限の原野である。

▽…若し スポーツからその創造的進化と云ふことを取り去つたならば、其スポーツはたゞに形骸だけが存する生命なき一つの身體操作に過ぎなくなり、やがて其身體操作は精神と興味を失つて社會生活の表面から其存在の意義をさへ失つて終ふ。斯かる具體的事實は運動史上種々として起つて來る現象である行き詰りは有ゆるスポーツを頽廢に導くものである。

▽…日本 スケート界の行き詰りに對して滿洲全體は今や打開の義務を感ずる。アイスホッケーの進路を開拓すべく全日本の第一人者である醫大が遠くヨーロッパに遠征を企つる意氣を壯とする。經濟的、思想的に今や日本は受難の時代である。そうして之等の理由から諸君の遠征に反對するものもある樣だが自分は不贊成だ。翻へつて日本の國史を解いて何時の時代か大和民族の

▽…受難 の時でなかつたか。吾々大和民族には如何なる受難の時代にも常に生成發展の力を失はない天稟があつた。それこそ民族をこれまでに偉大にした力であつた。諸君が今若き力、尊き野心に燃えて社會の極めて一角ではあるが其一角に於ても新らしき時代を創設せんとして遙かに渡歐せんとする意氣を壯とす。その意氣と野心とはやがて諸君が科學者としての業績の上に力をもたらし。また曠野の中に建てられた君等の滿洲醫科大學其者の學究的意氣と野心をも鼓舞するに相違ない（寫眞は歐洲遠征を試みる奉天醫大氷滑部選手で向つて右から木下樹昌、西內豐比古、北河清、稻葉眞久、高橋篤夫、林清一、庄司敏彥、平野進の諸選手）＝終＝

受持教師に叱責された 級友への同情休校
沙河口公學堂の高等科女生徒 教育界近來の不祥事

受持教師に叱責されて休校した級友に同情して沙河口公學堂高等科一、二年女生徒が同盟休校をしたといふ近來にない教育界の不祥事が勃發した、事件の起りは去る廿五日午後、同校に見學に來た旅順師範學堂生徒と同校の高等科生と

蹴球試合 があるため前記高等科女生徒一、二年（同一教室）は午後よりの授業である五時間目の中國文と六時間目の清書時間を蹴球應援のため入れ替へて授業を行つたが、五時間目の授業終了の直前、一年生徒朱淑英、鄭桂貞の兩名は受持教師楊堂升氏の許可なきうちに椅子を机の上に置き歸り仕度をなしたるため、兩名は楊教師より叱責され同日はそのまゝ歸宅したが翌廿七日は兩名のほか朱淑英の親戚關係にある二年生級長朱淑新及び朱淑珍の四名が

無斷にて 休校、更に廿八日は突然同教室の生徒十五名が休校し廿九日も引續き同盟休校を行つてゐるので、學校當局では大いに狼狽し小澤堂長以下各關係者が目下善後策を講究中である、右につき小澤堂長は語る

支那人の教育はなか／＼困難なもので今回の事件も日本人の教師が起したものとすれば日支間の融合上問題となつたかも知れないが支那人教師であつたゝめそんなこともあるまい、生徒は日本人の教師には良く從ふが

支那人の 教師には時々不遜な態度を取ることがあつて持てあますことがあります、取敢ず昨日は登校して居る幾生徒には良く訓戒して置きましたが引續き休校するやうであれば父兄を呼び出し善後策を講じ生徒の登校を促すつもりであります

けふ彌生高女で 正しい力の測定
體育の普遍化を圖るためと 關東廳の新しい試み

體育の普遍化を圖る爲めにはまづ體力を正しく測定調査せねばならぬと云ふので、文部省あたりが中心となつて新器具應用の體力測定を行つてゐるが、關東廳でも管轄各中等學校からこれを始めやうと云ふので、今廿九日午後一時から關東廳體育研究所の山本主事が彌生高女を振り出しに從來の（一）身長（二）體重（三）胸圍の各測定以外に（四）背筋力（五）肺活量（六）握力の測定をやりはじめた、卽ち（四）の背筋力計はほんとうの人間の持つ力を測定し得る珍しいものである（五）のハッチンソン肺活量計は寫眞の如く自分の吐く息を以つて肺の活動量を示す器具（六）握力計もスメッドレー氏式と云つたものである、これ等を綜合して各個人の「正しい力の測定」が出來る結果となるのだと

滿洲警備へ
獨立守備隊新入營兵 今夕、大連港外着

極寒を控え滿洲警備の重任を双肩に擔はされた獨立守備隊新入營兵千百十五名は各師團より選拔されたもので何れも邦家のため、艱苦もなんのそのと意氣物凄いものがあるが一同は平尾、鈴木兩大尉に引率され、補充馬八十頭と共に去る廿六日大阪出帆の

御用船 宇品丸をもつて希望多く責任重い滿洲目指して出帆したが、愈々本夜大連港外着、卅日午前九時より廿一番バースに繫留、上陸する事となつた、從來とかく歡迎者の少いうらみがあつたが明朝は旗を押立て喊をあげてこれらの新しく選ばれた

諸勇士 を迎え樣ではないか？尙上陸と共に一同は關東倉庫に向ひ午後四時半よりは協和會館における歡迎會に出席すると

滿鐵で歡迎會

別項の滿洲獨立守備隊新入營兵に對し滿鐵では恒例により同日午後四時半より協和會館に全員を招待して歡迎會を開く筈で小日山理事歡迎委員長となり副委員長は宇佐美鐵道、保々地方兩部長、各課長および囑託將校等を接待委員として大に遠來の勇士達の勞を犒ふ筈である

マネキン嬢 奉天に現る
年末賣出して

【奉天特電二十九日發】奉天においても年末賣出し期間中マネキンガールがショーインドに艶姿を現はし顧客の足を惹つけることになつた、それは市場正門前森島吳服店で十二月一日からの大賣出しを機會にこの程東京マネキン俱樂部に交涉の結果、同俱樂部のスター星早瑠璃子、青木みどり子の兩孃が來奉し同店のショーインドに一日から五日間現はれるといふのであるが、早くも顧客の胸を躍らせてゐる

平安異香 (184)

葉多默太郎 作
一瓣 畫

～中～

戀の行方(二)

邦貞ははつとなつて、思はず陣十郎を見返した。

母お蘭の方の腕の下に、奇妙な大きな痣があるといふ陣十郎。もとより邦貞はそんなことは更に知らない、家人がそんな話をするのを聞いた覺えもない。が、こんな事を云つて尋ねる陣十郎が愈々氣味の悪い人間に思はれるのだつた何といふ不思議な事を訊く男だらう――思つてゐると、陣十郎がニヤリと歯を見せていふのだつた。

「あるだらう痣が。見たことがあるだらう――尤も實は痣ぢやねエんだがなあ。知つてるだらう、髑髏の圖柄の刺青……」

云ひながら陣十郎は邦貞の面てを見まもつた。些細な顔の動きも見遁すまいとするやうな眼――

「そんな馬鹿な――」

邦貞は激しく頭を振つて叫んだ

「そんな馬鹿なことがあるものですか。そんな事はない……」

「見たことはない、といふのか見たれども、そんなものはなかつたといふのか」

「腕なんか、誰だつて見ないでせう。だが、母はあなた太政入道の娘ですよ」

「さうさ、だが、廿歳そこ〳〵まで筑紫の片田舎で育つた人だ」

「その時に、何かあつたといふのですか」

「――」

「お前は知らないらしい。噂は噂だけのもの、根も葉もないことかも知れねエのさ」

さらりと流して、陣十郎はそれきり口を噤んでしまつた。

が、邦貞の心は穏かでなかつた。變なことをいふこの陣十郎の本心が知りたくて、疑惑が[illegible]めぐるのだつた。そして激しく目を据ゑて、陣十郎の横顔を見まもつた。

日はとつぷり暮れて、光を増した月光に、陣十の面は死面のやうに蒼かつた。しかも不思議なはその顔に不可思議な憐みの色が漂ふてゐる――

「誰だ――」

と、突然その顔が叫んで振返つた。

驚いて邦貞が顧みると、月を浴びて一人の女がしやがんでゐた。

「あたしだよ」

と女は應へる。

「お京か。さつきからそこにゐたのか」

「いえ、今來たばかり――幕屋が暑いので……」

「さうか――」

と安堵したやうに云つて陣十郎はもとの姿勢に戻つた。が、長くは續かなかつた。間もなく立上つて、ザク〳〵と砂を踏んで幕屋の方へ返つて行つた。

お京もついて行くだらうと思つたが、一向動く氣配がない。そこに坐つてゐられると、何だか窮屈な氣がしたが、邦貞は再び陣十郎が遺して行つた疑惑に捕はれて、お京のことをすつかり忘れてしまつた。

疑惑は深かつた。陣十郎の言葉が根強く氣になつて仕方がないのだつた。

そんな馬鹿なことがあるものかと、念頭から追拂つてみても、酒の滓のやうに淀に殘る不安がある腕の下に髑髏の刺青――そんなものが義母にあるべき筈がない。もし事實とすると、世間の噂にたつほどで同じ家に住む自分に、十何年の間知れずに濟む筈がない――と思ふ。

一體、腕の下の髑髏の刺青があればどうだといふのだ――とも思ふ。

邦貞は、今からでも家へ駈て歸つて、お蘭の方の腕の下を確めたい焦立を覺えもした。

そして、何にもないきれいな腕下を陣十郎に見せてやりたい――

だが、何か他の目的の爲に、陣十郎がこんな荒唐無稽な云ひ種で以て、わしから何かを探らうとしてゐるのではないか――と、ふと邦貞は考へた。多分さうだらうと思ふ。

すると、遽に自分の馬鹿正直が馬鹿々々しくなつて、同時に心がひどく輕くなつた。

お京のことを思ひ出したので振返ると、お京はなほもとの所に動かずにゐる。

大日活 愈よ開館
梅村蓉子が挨拶と舞踊

去る廿三日華々しく開館式を擧行した新映畫館大日活はその後内部の設備を整へつゝあつたが、愈々興行を許可されたので昨二十八日夜間興行より一般に開館し落成記念興行の蓋をあけた、歡迎梅村蓉子來るの噂と新館に憧れるファンで初日早々大入満員の盛況であつた、プログラムは晝夜別ちなく日活現代劇傑作品溝口監督の「蒼白き薔薇」に次いで梅村蓉子が舞臺挨拶をなし、新館落成と共に生れた大日活の名物と自負するジャズ、バンドの演奏後再び梅村蓉子が三田尻連中の地方で長唄「都鳥」の舞踊を演じ最後が日活時代劇特作品大河内傳次郎一人二役主演の「血煙荒神山」である

日本菊子再演
歌舞伎座で

沿線巡業中であつた新進女流浪曲家日本菊子は昨二十八日より向ふ五日間歌舞伎座に於て再演してゐるが、今回は新に米國より歸朝した立花芳子が加入し餘興に米國土産ホレホレ節を唄ひ共に好評を博してゐる

怪力實演會

四十五貫の鐵の棒を口に啣へて振廻すといふ稀代の怪力大日本體育獎勵普及會長北畑象高君は二十九日午後十二時四十分から滿鐵社員倶樂部の構内で二十人を乘せた自動車を曳く實演を一般に公開し同夜六時から協和會館で三十日一日の兩日大連劇場で公開する由

ゆふべ蓋を開けた大日活は流石にファンが待ちこがれてゐただけに▲開館早々から大入満員、二階は固定席だけで足らず初日早々から補助椅子を出す騒ぎ▲そして梅村蓉子の舞臺挨拶と舞踊「都鳥」が物凄い人氣で館内は破れるやうな熱狂振り伊庭孝氏等一行はゆふべ奉天へ出發したが、昨日放送の神明高女の講堂で内田、筊田兩氏が特に女學生のために演奏▲ピアノが問題にならず筊田氏のために氣の毒であつたが女學生は思はぬ催しに大喜び▲映畫「死のアラスカ探險」に服部氏が[illegible]してゐたが遂に服部氏解雇の廣告となつたが、その裏面に日露衝突のチャンバラの場面があつたとのこと▲ところで服部氏は婦人に對する紳士の禮儀を[illegible]といふので大變な評判である▲宗像氏が東亞映畫配給權を持つて歸つたとのことである

滿洲日報

殷鑑は遠きにあらず
現實暴露の露支時局に觀よ

さすがの支那も、今度といふ今度は、その傀儡たる弱點を、世界の面前にさらけ出した。勞農側の威嚇に對し、一も二もなくへこ垂れ、國防軍の暴狀を、遺憾なく暴露してしまつた。これでは、いかに强がつても、その事實が伴はず結局は、勞農側の威嚇の前に屈服するより外はあるまい。勞農側としては、勿論、いまだ宣戰を布告せるにあらず、その國內の事情等から、支那に對し、眞に戰爭することの不可能なる經緯がないでもなく、いはば、かりそめの威嚇であつたやうであるが、とにかく、その勞農の威嚇に、一トたまりもなく縮みあがつてしまつたのであるから、今度の支那側の現實暴露は、實に何とも、申しやうのない醜態事を通り越して、滑稽事とでもいふべきであらう。

それはともかく、逃げる以外に能もなく、働くかと思はるゝは、ただ良民を掠奪するときばかり、といふやうな支那の軍隊、しかも全く統率がない。さすがの張學良司令の總司令官さへ、反古同然に顧みられぬ以上は、萬事休すで、勞農側に屈服し、東支鐵道を原狀に還元し、以て當面を糊塗することにせねばなるまい。

もと〳〵露支の紛糾は、支那側の權利回收の夢に根ざし、例の理不盡なるクーデターによつて、東支鐵道を占收した結果に外ならぬのである。張景惠氏が、東省特別區行政長官となるや、その下に敎育廳長たる張國忱氏らの野心にそゝのかされ、無理押しに、暴力を以ても東支鐵道を回收せねばならぬとの方策を立て、それには、奉天における張學良氏も、一も二もなく賛成し、勞農側の、全く爲すなしとの誤診を信用し、つひに今春のクーデターを敢てすることになつたのである。然るところ、昨多易旗以來、東北四省の統制に野心滿々たる南京政權も、東支鐵道の收益に着眼し、外交權統一の名義のもとに、露奉の交渉に割り込み、露支（といつても勞農と南京政權、奉天政權は同じ支那と內といふものゝ南京政權の意思には統轄されぬ）交渉によつて、東支問題を、南京側に有利に解決せんものとあせつた。朱紹陽氏などを、はる〴〵滿洲里まで特派したのも全く露奉の間に、漁夫の利を占めんとした南京政權の策動であつたのである。がしかし、朱は全く勞農側より翻弄され、面子を喪失して引き下つた。その當時から、いや最初から、奉天政權には、對露交渉を、奉天單獨にて解決せんとするの肚があり、最近に至り、奉天における最高會議の結果、やつぱり哈爾濱交涉使の蔡運升氏が、勞農側に受けがよく、彼を働かしむるより外に、出づべき策なしとしてゐるところに、今次の威嚇が襲來し、支那國防軍の弱點が、遺憾なく暴露されたから、周章狼狽したのは、何といふても先づ第一に奉天政權であらう。

かくなる以上は、面子も何もあつたものにあらず、南京側のいふことなど心にかけるの必要は更にない。ともかくも當面を糊塗して北邊の時局を收拾してゆかねばならぬといふことになり、東支鐵道の原狀還元はおろか、いかなる犧牲を拂ふも、勞農側の威嚇政策を中止させねばならぬといふことになるは自明の理である。

時局が、かくまで切迫せぬ折、南京政權の信賴し得ぬことを痛感した奉天政權は、この大連において、この露支の紛糾問題に關し、露奉の交渉を開くことに、嚴秘裡に交渉を進めつゝあつたのであつた。然るに、形勢は急轉直下し、支那の無力を、餘り實力の伴はない勞農側の面前にさへ暴露したのであるから、滿洲里における梁忠甲氏の屈從と同じく、奉天側としては、ハバロフスクが、よしモスクワであつても、勞農側の交渉に應諾せねばならぬ實情に置かれてゐるものとすべきである。

奉天政權、南京政權が、對外的に、いくら威張つたところで、その實力の伴はぬこと、概ねこの類である。支那の實情といふものが、いまだ、そこまで進んでは居らぬのである。共産革命以來、疲弊に疲弊を重ねつゝある勞農ロシアに對してさへ、かくの通りでありとすれば、その他は推して知るべきであらう。何といふても、支那はやつぱり依然たる支那であること に相違はない。而して外交權の統制などと、近代的國家を眞似んとしても、支那の現實が現實であり中央政權の確立なく、地方政權の分權が、相當に有力なる實情にある以上は、南京政權の思惑なども全く夢物語たることを知らねばならぬであらう。この現實の支那を領得することなくして、支那の時局を收拾せんとする外國人、いづれも結局、問題を解決せんとする支那人、終るのではあるまいか。勞して功なきに求むるまでもなく、露支の時局が、何物よりも雄辯に、萬事を物語つてゐる。」

避難者の群でごつた返す哈爾賓
南行列車は毎日鮨詰め
支那大官の夫人連は奉天引揚

【ハルビン發】東支東西兩部線は露軍の積極的軍事威嚇で避難民はハルビンに連日殺到し、驛三、四等待合室は勿論のこと一、二等室も身動きもならぬ程の雜沓で、東西兩線から到着する旅客列車は文字通りの人間の鈴生りである

氣早の連中

は家財道具を引纏めて南下するが萬福麟氏の夫人等は既に廿五日洮昂線で洮南に避難し、ハルビンの文武官の支那夫人で奉天に引揚げるものも多い、長哈南行列車は其等の避難乘客で毎列車ともに充滿してゐる、白系露人のうちにはハルビンに見切をつけて上海方面に逃げるものありソウエートの國籍を有し東鐵に從事してゐるものでもソウエート幹部が再び東鐵に來る時は行動を共にしなかつた爲めに如何なる壓迫を受けるか判らぬので戰々兢々としてゐる、特別區警察管理處にて發給してゐた

露人の護照

は廿八日限り管理處の事務室を撤廢し警察街の一事務所に移轉することになつたが、旅券査證を求める白系露人

第一線として興安嶺を防守
以逸待勞支那軍の戰法

【ハルビン發】東北第二軍長胡毓坤氏は部下四萬の大軍を統率し滿洲里を奪回するとの氣勢を示し、張學良氏の指令を仰いだ際、興安嶺自然の天險なればこれを第一線として防守し、露軍の襲來に以逸待勞の戰法で當れと訓令あり、博克圖を司令部として興安嶺を守備することになつたが、大敗した軍隊を整頓した後一時露軍が積極的に出て來ない場合は又々例の强がりを主張することだらう、これは咽喉もと過ぎて熱さ忘れるの類である

避難支那大官

【長春發】哈爾賓方面から避難して來る支那大官の家族は益々增加する一方であるが、今日まで長春を通過した知名士の家族は東鐵管理局長范其光、副理事長李章庚、督辦呂榮寰夫人及び家族である

が殺到し午前十時から午後四時まで一日平均百名以上の露人が列を造つて押しかけてゐる

中傷を目的とするものは採らず、新聞行數五十行以内のこと

緊縮の眞意義

鐵嶺　田之上長江

緊縮々々の聲は轟々として渦卷く、曰く生活改善、曰く石炭の値下、曰く電燈ガス料の値下、曰く家賃の値下、曰く等等々、此の我等細民の眞の叫びは既に報いられつゝある、これは我等の指導者たる言論機關の賜に外ならぬ事を感謝する者であるが、其の反面に徒に資本家に反對せんが爲の論評に依て我等無智の者を附和雷同せしめ益々惡思想を煽り堅實なる社會を害するものあるを悲む、我等はよく聽く「無い物は拂へない」と、然り無き物は拂へない、しかし三四個月も僅の電燈料をも拂はずに只「無き物は拂へぬ」と毒つく事が許され、沒電中止を不當と堂々と紙上に書き立て得る現代の思潮を甚だ悲む、共產主義は吾國家の容れざる處、愚な私は「無き物は拂へない」此の思想を赤化思想と見る、此の思想のある間は滿蒙の發展は百年河淸を待つに等しいであらう、見よ無き物を拂へぬと云ふ者が洋車に乘り、芝居を見、八々麻雀で豚饅を食ひ居るを、そしてストーブの前で股ぐらを眞赤にして一多二三嘶しか裝かない裝備に就て明快なる議論を吐き夜ふかしするをば、よく日本人は物を掛で買つて拂はうとしない、請求すれば乞食呼はりする殊に華人に對して然り、惡習慣が大は日支貿易より小は日常の取引に如何に惡影響を及ぼしつゝあるか、滿蒙の第一線に立つ同胞よ、緊縮の第一義は拂へる自信が出來て初めて物を需めるにあるではなからうか、電燈料が拂へねばランプに、米代がなければ高粱に、其の意氣で行く時、電燈料が、石炭が、米が少し位高いとて何のその、滿鐵が儲ければ國家が富むのではないか、我等は先輩の血を流せ一辛苦を思ひ只働けば足りる、華人を見習へ、彼等は金を用意して然る後物を購ふ、我等が彼等の長所を見習ふ事によりて滿蒙の發展は得られる、歡して働け

海拉爾戰で正體を暴露
支那軍豫定の退却を在哈各國人は嘲笑

【ハルビン發】赤衞軍が聯々國境を襲ひ支那に威嚇を與へてゐた當時にあつては支那は不戰條約を高唱して世界の視聽を惹くに努めてゐたが、ヂャライノールに次でハイラルに於ける勞農軍の大膽の攻勢振を視て

一溜りも

無く潰走し「これは豫定の退却である」と說明し「メウリヤを一氣に攻略しカルイムスカヤより沿黑龍の背後を遮斷する」と豪語した胡毓坤氏が衆に先立つてブヘトに退却し美事な逃げ振をみせたので、一般外人方面では「常に內國戰で訓練された支那軍隊であるから斯うももろく敗退するものとは考へてをらなかつたが」と支那軍隊の統制力なきと彼等が無秩序な指揮に慣いてゐる、殆ど慷慨悲憤し排外思想の宣傳に氣勢を擧げ中國二百萬の軍隊を高潮し不平等條約の撤廢法權回收を絕叫し被壓迫民族の解放、打倒帝國主義の行進曲で勇ましく

最後の一

線に至る迄も「瓦となつて全きより玉碎するにしかず」と例の甲高な調子で激勵し不戰條約は歐米人の注意を惹かない、對露の戰ひは既に一東路問題を離れ民族主義戰ひとなつた東方赤化の侵略を防止する戰爭である——我四億の民は一億五千萬のスラブ民族のために征服されるか否やの危機に直面してゐるのだと觸れたてゝゐる、飛行機五十臺をもつて散々に脅威されては百萬の大軍も一片の塵芥にも及ばない、まして案山子のやうな掠奪主義の暴兵では東北政權の今日までの權威はこれによつて俄然地に墜ちたものである

つた獅々は依然として事大思想の滿蒙のうちに包まれ、外面的に誇張してゐる强がりは結句支那式の粉飾であつたことが判つたのであ る、眠つてゐる獅々は永久に醒めない阿片の魔藥に耽つてゐる——在哈各國人はこの現狀を直觀して「支那は矢張り支那であつた」と皮肉な嘲笑をもつて迎へてゐる、支那側の輿論は興安嶺を第一線として死守し假令東北軍は

租界回收

のチャンズで熱血の迸り出る示威運動をすれば「睡れる獅々は目覺めり」とヤング、チャイナの前途に光明の面影ありと囃し立てたのであるが、眼

◇海外兒童へクリスマスの贈物◇

日本少年赤十字團では今年も海外四十八ヶ國の兒童にクリスマスの贈物をする事になつた【寫眞はその贈物】

南征雜錄 (46

難波勝治

墨と醫師

斯く醫師の自由開業は禁止されたが、それは必しもメキシコの醫術が進步した爲でも、日本醫師の信用がなくなつた爲でもない、寧ろ無資格者が淘汰されたことに依つて、正規の開業醫は一層安定を得たらしく思はれる、尤もメキシコ市及び歐米人の

多數住居

する地方は、それ等の諸國から入込んだ競爭者があつて、段々顧客が得にくくなつたさうだが、太平洋岸や南部各地では頗る人氣好く、グスマン小林槐章君の如きは幾んど毎日來診客の應接に遑ないと話して居た、タンピコの野醫師と並び稱せられる斯界の長老は、マサトランの淸水齊雄醫師だが、本縣は山梨縣、曾て金澤醫專に學んだ後北米に渡り一百名の

デンバーで數年間の苦學と實驗とを積んだが、マサトランに來住してから間もなく革命に遭遇した、當時は在留邦人の數も非常に少なく

兵馬倥偬

の間に總ゆる不便と戰ふたが、メキシコ政府の信用を得て大佐相當官の待遇を受け一時は毎日五千ペソ位の收入があつた、紙幣相場の非常に下つた時分だつたが、併し亦能く儲かつたさうで、勢ひに乘じて君はロステホネス金鑛の大株主となつた、これは過去十餘年間醵分喧しかつた事業だが、君の出資額は彼これ十萬近くに上つて居る、併し今は專ら餘力を土地に投資し、市街地約六萬米突、借家三十戶許りを所有して居る、溫厚篤實の長者だけに民間の信用深く、毎日百名乃至二

來診者が

あつて、殆ど朝から夕方まで殆んど寸暇ないが、斯した間にも君は常に邦人の發展の上に注いで居る、メキシコの今後の政情は漸次北米の勢力下に壓され、その感化の下に發展を遂げるであらうが、メキシコが果して自主獨立の繁榮を來るや否やは疑問である、唯だ日本人がこの間に著實で平たる地步を占むることだ、メキシコの自然は無限の富源を有するが、之を開拓する者は知識と努力とである、左れば勤勉な日本人の奮闘は固より必要だが、同時に

其努力の

結果を利化すべき堅實な組織を樹立せねばならぬ例へば農家の如きも生産者たると共に市場の販賣權を掌握し、他の外人と伍して遜色ない信用基礎を掘ゆべきである、自分は既にこの點に着眼して市街地に放資し、更に五十餘町步の耕地を郊外に購入して、果樹の栽培や畜獸の種付けに着手して居る、北米在住者が既往に於ける蹉跌の迹を見るに、動もすれば各人が個々に分立して、唯目前の小利小益に汲々した傾きがあつた、メキシコに於ては幸ひこ國人の對日感情が良好であり、又一面邦人と米國人との關係も惡くない、之は著しく注意すべき點であらう」と、沁み〳〵語つたが、私もメキシコの現狀を見て殊に君と感を同ふした、

我國官民

我國官民の深く就中前にも屢々說明したやうに、太平洋岸に於て比較的邦人と關係の深い港市は、アカプルコ、マンサニヨ、及びマサトランの三ケ所であるが、交通の便否、文化の遲速、ヒンタアランドの淺深等を比較すれば、マサトランが最も多望な地域とされて居る、アカプルコも、マンサニヨも、人口纔かに五六千に過ぎない漁村だが、マサトランには既に上下水道並に電燈設備があり、公園や廣場を

點綴して

アスファルト道路が四通し、旅館、劇場、學校、公設市場等も一通り整頓して居る今でこそ僅々三萬五千の人口しかないが、今後は急速に進步すべき商工都市の條件を具へてゐる、日本領事館設置以來僅かに三年、何となく官憲と在留民との間に隔りがあつたやうだが、春日領事が赴任してから漸次改善せられつつある、春日君名は鄭明、第四回の外國語學校出身で、海外に在勤すること既に日久しく、能く食ひ能く語る快活練達の良商務官である。(寫眞は中央二人が春日領事及び夫人)

満日地方版

奉天

石炭の需要が例年の半分
近年にない暖氣に

本年は近年にない遲くまで暖氣味の惡い程の暖かさで緊縮時代に相應して自然まで惠んで異れるなど大喜びである一方冬季の必需品となつてゐる石炭は先づ滿鐵販賣課等の調査によると例年に比し五割減と見られ最近一日平均五百五十噸搬出してゐるこの計算から行くと一ケ月に約一萬五千餘噸の減少であるから何處の家庭及び會社等でも十一月は例年より半減してゐる譯である

緊縮委員會 決議事項

公私經濟緊縮委員奉天支部では廿八日午後三時から商工會議所會議室に於て委員總會を開催、出席者百卅名、太田支部長議長席につき過般幹事會に於て決議されたる實行項目案につき協議をなした結果贈答の改善の事項中中元及び歳暮の贈答の次に「はなるべく之を」を加へ修正されたのみで他の事項は全部原案通り可決しその他幹事會に於ける研究事項等を申合せ且つその實行方法については幹事會に一任することになつて五時閉會した

火連寨地方に牛疫

安奉線火連寨を北方に距る火連寨堡子、梨樹底等の地方にこの程から牛疫が流行し同地方民は恐怖の念を抱いてゐるが右の病名全く不詳で發病後食慾なく盛に下痢を催し五、六日で死亡し今日まで十餘頭も斃れてゐるしかも支那側官憲は全く防疫の方法も講じてゐないため益々蔓延の兆あり我當局も大いに警戒してゐると

邦人の無賃乘車

不景氣の生むこれは又珍しい機關車に乘り込んだ邦人の無賃乘車…香川縣琴平町生れ住所不定大工近石米吉(四一)は廿八日朝四時半頃新城子驛にて乘車券なきため人の氣付かぬ機關車の車の下に隱れ文官屯まで來たが車の間から黒ひげけない人が飛び出したといふので發見され直に逮捕し目下取調中である

怪しい邦人 奉天署で取調

去る廿六日午後八時ごろ奉天驛三等待合室を徘徊する擧動怪しい一邦人を認め取調べをなさんとすると中川某とか森牛林とか曖昧な事を云ふので遂に本署に連行し廿七日嚴重取調べた結果左の如く判明した

彼は福岡縣安德村生れ無職森勝衞門(四六)と稱し一攫千金を夢みて本年九月大連に來り同地で就職口を探してゐたがこれとい ふ處もないので同地聖德街居住某滿鐵社員宅でボーイを勤めてゐたが一家の都合によつてそこ

町の便り

十一月二十八日銃砲火藥取締違反として領事館法廷に於て判、言渡されたものは市内青葉町七番地德佐茂(三〇)琴平町一番地松岡良太郎(三四)青葉町十四番地西岡明(二二)の三名で何れも罰金卅圓に處せられた

◇

市内江島町二番地中央旅社周田貴方炊事夫孫渡仁(二三)はこの程同家に雇はれたばかりであるが前から居た炊事夫楊月貴(三八)と仲惡しく二十七日午後五時頃同炊事夫劉榮と共に楊を別室に呼び込み約一ケ月の打撲傷を負はしめ逃走し南市場附近を徘徊中を周が取押へ目下取調中

◇

廿七日午後一時二十分頃下り十一急行列車が沙崗驛南方六百米附近に差掛つた際踏切りを横斷せんとした一支那人が折から來つた上り十六列車のみに氣を取られて十一列車に氣付かなかつたため遂に同急行に跳ね飛ばされ即死した身許一切不明

◇

長春列車區煖房方劉炳恒(三四)が妻を同伴廿七日十四列車に乘り込み中固驛附近に差掛つた際同列車から墜落した事を妻が知りそれと手配した處廿六列車が進行中劉が虫の息となつて横つてゐるのを機關手が發見し直に同列車に乘せ鐵嶺まで送り目下治療中であるが生命には別條ないと

◇

最近市内にチブス患者續出し今月に入つて既に三十名の患者を出してゐるので之が防止策として二十八日午後一時から警察、醫大關係者は地方事務所に參集し衞生委員會を開き種々協議する處があつた

人事

▲藤田關東軍經理部長 廿七日遼陽より來奉

▲中尾長春署長 廿七日歸長

▲山形自治講習生一行卅一名 廿七日赴連

▲陸軍省派遣戰跡撮影隊一行 廿八日安奉線にて歸國

▲光井與四郎氏(新任勸業係商工主任) 二十七日夜着任

▲サー、チレー氏(駐日英國大使)令孃同伴二十八日急行にて赴連

▲ロバート、スミス氏(英國クリスチアンサイエンス紙記者)夫妻 二十八日安奉線急行にて來奉同日哈爾賓へ

▲ゼーティスケシト氏(萬國工業會議米國出席者)一行三名二十八日長春へ

▲柏桂林氏(兵工廠總務長) 今回露支戰線の督戰司令に任命さる

完成した旅順の新埠頭

旅順

滿鐵新埠頭に最初の横附
上海からの新屯丸

旅順の新設埠頭は二十七日の初入り貨車四輛が粉炭九十餘噸を卸し一般の埠頭氣分を現したのに引續き二十八日は午前六時二十分の貨物列車が三十二噸積粉炭を積載し十一輛か新設埠頭に引込まれ即時貨車卸しの活氣を呈した、大連汽船所屬の新屯丸千七百八十四噸は二十八日早朝上海から入港、直ちに新埠頭へ横附され同時に二百餘名の福昌華工に依つて粉炭は刻々船艙に運ばれる、又東寄の一部には三千二百平方米のバースが數百名の苦力に依つてトロの運行土砂の埋沒で腳が上にも活氣を呈し胸が躍る様だ、未完成のバースが出來上ると全長約三萬平方米の岸壁が出來上るのであるが總經費は約五十六萬圓を要したので一股ぎ約二尺の土中には千五百圓程が這入つてゐる、長さ一八米、幅四十サンチ、厚さ十六ミリのシートパイルは最新式のドイツ製ランデン式で一枚二百圓を要する物が七百枚いづれも海の岩盤へ五米の深さに埋沒され日本一と云はれてゐる鶴見の三井の岸壁に使用してゐる十六米五十のシートパイルより一米半大きい物であるから正に東洋一と云つても好い、新設埠頭へ初横附された新屯丸は粉炭二千五百噸を積載の上二十九日の夕刻醬渡に向け出帆の豫定であると

初荷役の祝賀

初荷役を行つた旅順新設埠頭では新屯丸入港と共に二十八日大連から關根船舶主任や九里旅順驛長古藤パイロット松尾旅順販賣主任三浦築港監督等は各關係人一同と共に記念撮影の後事務所に於て冷酒を酌み自祝する處があつた

撫順

苛斂誅求や大金の横領
縣民怨嗟の的となる 張某の地位危し

撫順縣の最要位にある張某は省政府の命令なりと稱し一般商民より印花稅、脫稅に依る罰金等の名目で約三萬圓、千金寨水害の際の炭礦の見舞金五萬三千圓の內罹災民には僅かに一萬七千圓を與へその大半たる三萬六千圓を橫領計六萬六千圓を着服せる事實暴露したとかで、武商總會長、白農務會長始め一般商民の怨嗟の的となり排斥の聲は今や全縣に彌漫せんとしてゐる、右內容を探聞するに張某は私服を肥やさんが爲に印花稅その他の二重課稅を『一般商民に課し、若しそれを納付し得ざるものは極端なる罰金、罰金を納付し得ざるものは體刑に處するなど過酷を極め、商民は罰金納付の金を得べく妻、まなむすめ等を魔窟に賣拂ふの餘儀なきに至るものも相當あり、尚破產者續出するに至り且つ前記多額の撫順炭礦よりの見舞金の過半を着服するなど支那ならでは見られぬ暴政の限りを盡した結果、農商會長等は塗炭の苦みをなしつゝある商民を代表して同人排斥陳情の爲め赴瀋するなどのごった返しを續けてゐるが、同人の罷免されるも近きものと觀測されてゐる

滿蒙植物の採集雜話 (9)

旅順 佐藤潤平

第二編 (四) 北滿のお花畠(A)

北滿のお花畠とはこゝでは大興安嶺のお花畠を云ふのである。大興安嶺は海拔僅に二三千米突にすぎないがその地北邊してゐるので高山のお花畠の氣候に相似よつて居り、從つて高山のお花畠のやうな現象を現出するのである。

即ち五月の下旬エゾムラサキツツジやオキナグサの類が春を告げそれから八月の末までが植物の生育期で九月に入るともう霜を見また雪が降ることがあるから正味植物の生育期は六、七、八月の三ケ月よりなくこの間に各種の植物特有の大きさまで成長し、花を開き實を結んで來るべき聞くも恐ろしい零下四十何度とか云ふ所謂嚴寒を越す準備をしなければならぬから、その成長が實に忙しいものである。實際落葉松などの梢を見てゐるとその成長が目に見えるやうな氣がする。

五月の下旬エゾムラサキツツジが雄大の山野即ち大陸氣分の含まれたなだらかな山の斜面を紅に飾り、オキナグサの類即ちキタノオキナグサ、ホソバオキナグサなどが「原の草」を紫色に織るなど北滿特有の春氣分に打たれる。

六月に入ると各植物の生育はいよいよ急となり、所謂百花爛漫の景を出現し全山お花畠と化する大興安嶺のお花畠は高山のチッポケなお花畠と異り、實に雄大なもので大陸氣分がたつぷり含まれてゐる。何にしろお花畠のうちシベリア鐵道線が通ふてゐるによつてもその雄大さ加減さがうかゞはれる。

ハクサンイチゲは六月の初野に群生して人目を引く。アルプス山下の一小村落ミルケの諺に「我をして白山一夏の如く岩欲の如くに赤からしめよ」といふことあり。眞に此の花の雪の如くに白きは庶くが如き潤澤があつて。恰も珠を磨くが如きものあり、人をして慣れ親ましめず自から渇仰の念を生ぜしむる。

ハナカラマツサウは群生することなく散生して他の草花と相和して北滿の草野を飾り、その花の白きはいと優雅に見える。この頃シロバナヘビイチゴもその白花を草叢に見せて後日ジャムの材料を提供するものゝ如くである。

オホゲンゲ葉は初狀複葉で花莖と共に簇生し花穗は實に美しい紅紫色で草叢に群生してゐる狀は紅玉の華曼を點綴したるが如く、探りて山姫の簪となし無心の愛にその日を暮りたい感がある。

スギナゲンゲ、從來本草をスギナエンドウと呼んでゐたがエンドウと名がつくと豆を思ひ出されるので此の草の形態とは一致せず、私はスギナゲンゲの方が本草に最もふさはしい名として改めたものである。スギナの名を得たのはその葉がスギナに似てゐるからである、スギナのやうな葉と花莖と共に簇生する狀は前種に類似するがその花穗色淡く花期又早く六月初旬にあり。十草の群生してゐる狀も前種には劣らない程である。

【寫眞(上)ハクサンイチゲ(下)スギナゲンゲの群生と標本】

鞍山

滿期兵 三十日出發

滿二ケ年酷寒酷暑と戰ひ鐵道警備に在留邦人の生命財産保護に其の大任を全うし三十日滿期除隊となつて懷しい故鄕に歸る事となつた鞍山守備隊下士二名及兵卒四十名は、同日午前六時十分發の北行列車で離鞍する事になつたが、市民は可成多數驛頭で見送りませうと

除隊兵に感謝 記念品を贈る

林地方事務所長、加藤實業協會長石川地委副議長、堀區長總代の四氏は市民を代表し二十九日午前十時守備隊を訪問し滿期除隊兵四十二名に對して在任中の勞を謝し、在鞍記念としてグラス製灰皿一個宛を贈呈した

モーターカー顚覆して負傷

櫻桃園採鑛所員入鹿山某は二十七日午後四時頃鞍山よりモーターカーを操縱して歸所の途中、沙河附近に於て轉覆しその激動に依つて振り落されて輕傷を負ひ、直ちに滿鐵醫院に收容し手當中であるが又同乘して居た大瀨某は線路外に入鹿山は線路上に顚倒しモーターカーの下敷となつて腰部に重傷を轉覆の原因は何者か線路上に石を

教化動員協議

置いたものらしく目下取調中であると

三十日午後一時から警察署樓上に小中兩學校長、神社神職、各宗教家、實業青年團長、在鄕軍人分會長、白百合會長、修養團支部長、青年聯盟支部長、家庭研究會長等參集の上教化動員に關する協議會を開催すると

輸入組合協議

鞍山輸入組合では二十八日午後七時から實業會堂に於て定例役員會を開き、共同カレンダー作製の件議案聯合大賣出しの件、持口數限度評定の件、小賣商店々主協會より要望の消費組合の件其の他に就て協議する處があつた

賣藥業者に戒告

警察署中木衞生係主任は二十七日午前十時半藥品營業者六名を同署樓上に集め

近時各地の藥品營業者間に於て其の筋の目を掠め禁制品を取扱ふ者が多くなつた樣な傾向であるが、幸ひ鞍山にはそうした不正業者を見ない事は結構なことであるが、今後之れを發見した場合は法規に依つて苛責なく處分する

と、一場の訓戒をなした

琴曲師匠招聘

鞍山に於ける琴、三絃の同好會では斯道に權威ある師匠を招聘して之れが向上を計るべく豫て計畫中であ

鐵嶺

持兇器强盜横行
物騷極まる鐵嶺近郊

最近鐵嶺近郊に持兇器辻强盜頻々と出沒し通行人を脅迫して金品を掠奪し其の被害少なからず、支那側では極力犯人逮捕に努力してゐるらしいが未だ就縛しないと、最近二、三日の被害のみでも

▲二十四日午、五時頃縣下東芦歸途興隆店西方に於て二人組の追剝に襲はれ奉票九百四十元衣類等を强奪され▲二十五日午後五時頃祖編先外一名が城内からを通行中四人組の一團に襲はれ一名は右大腿部を刺され一名は柴河北岸で脅迫されて大洋二十五元奉票千五百七十四元馬四頭を强奪されたが、馬は翌日平頂堡附近で發見した▲二十六日午前八時頃に通行の農夫が襲はれ馬三頭を奪はれ▲同日午前八時頃にも遼海屯附近で農作物賣却の農民十餘名打連れて歸路を急ぐうち三人組の一團に襲はれ所持せる二萬元全部を掠奪されたと

醫大の演奏會 プログラム

奉天醫大スケート部の歐洲遠征援助の爲め既報の如く同校管絃樂團は今三十日午後六時より當地小學校講堂に於て大演奏會を開催一般に公開するが、入場料は大人五十錢小人三十錢とし入場券は圖書館松屋運動具店、大和屋書店等にて前賣りする、演奏プログラム左の如し

一、開會の辭 小野鐵嶺醫院長

一 部

一、高等學校行進曲 オーケストラ

一、砂漠の沃地にて マンドリンオーケストラ、四重奏

一、スケルツオ、ミリテール マンドリン、ソロ

一、ドナウの小波 オーケストラ

二 部

一、エリザールダモーレ マンドリン、オーケストラ、バイオリン、ソロ

一、ドンヂ、オバニー マンドリン、オーケストラ

一、バリトンソロ 東海林太郎、

一、マンドリン四重奏 オーケストラ

一、軍隊行進曲 オーケストラ

尚本日午後一時半から特に駐鐵部隊に於て慰問演奏會を開催すと

旭萠會演奏會

當地岡島旭萠會に於ては現政府教化總動員令の趣旨を體し、一般民衆思想善導のため國民に正しき歌謠音曲を普及せんがため、來る三十日午後七時より演奏會を滿鐵俱樂部に催し入場無料を以て公開する由

熊岳城

落花生 出廻り旺盛

滿洲特產物中の主なる生產品として熊岳城を中心とする落花生の出廻りは今や出盛りとて、多數各地よりの華客當地に乘り込み驛ホームに押し寄する運搬の馬車は每日數百車に及び、山積みされた落花生の山に驛貨物係に於てはてんこ舞の多忙を極めて居る、今年は戰亂の爲め北滿行きは割合に少くも大連方面へ向け新に搾油用食用として輸送せらるゝに至り相當多量の發送を見るに至つた、目下の相場は現地引受百斤に付き現大洋五圓內外の由

つたが、今回奉天滿鐵音樂會指揮部講師名和榮治郎氏の推薦に依り近く大連から來鞍當地に永住する由であるが、入會希望の向きは大正通り村松夫人まで申込まれたいと

列車から墜落 全身に大怪我

廿七日午後九時鐵嶺着第十四列車が開原平頂堡間進行中列車から振落されたといふ乘客あり、其妻が鐵嶺驛着と同時に屆出で大騷ぎをしたが、右は長春列車區備員劉炳恒(三四)と稱し妻王氏を引き連れて奉天に行く途中滿鐵乘車證を所持するので急行料金は不要と思つてゐたところ、車掌から請求されたので業を煮やし車中で火酒を呷り醉つ拂つてデッキに出たところ全速力で走る急行の動搖に一たまりも無く振落され、全身數ケ所に打撲傷を負ひ人事不省に陷つたのを巡邏中の守備兵に助けられ、二十八日鐵嶺醫院に入院したが生命に別條なしと

民會の議員會

當地居留民會では來る三日午後六時より事務所に於て通常議員會を開催左の諸案を附議すと

一、昭和四年度上半期收支決算

一、同賦課金未納及缺損處分の件

一、同上半期所有財產報告

一、昭和五年度上半期賦課金査定

一、同收支豫算の件

茶話會協議會延期

昨日開催の筈であつた鐵嶺茶話會設立協議會は都合により今三十日午後五時半より滿鐵クラブに於て開催すと

長春

西公園スケート場 十二月一日から開く

待ち焦がれてゐた西公園潭月池のスケート場は本年が例年より寒氣の遲れた爲めに開場するに至らなかつたが、一兩日前から一段と寒氣が加はつて氷の厚味が增したので、愈々十二月一日から開場すると

除隊兵 三十日出發

當地守備隊更代兵四十二名、三八聯隊除隊兵三百名は何れも三十日當地發內地に向ふ筈

教化聯盟行事

長春教化聯盟の十二月行事として左の通り常任委員會で決議した

▲十二月一日 第三回國恩感謝デー

▲十二月中 時間尊重の時

一、公私集會時間の勵行

二、時の空費を戒め業務の能率增進並に思想の向上人格修養の爲め活用すること

終航は遲る

北滿露支時局の影響を受け南下貨物の激增に依り當港は例年にたき活況を呈し、時に本年は暖氣の爲め終航も例年に比して後れ終航は多分十二月五日出帆の岡崎汽船八千丸代なるべしとのことであるで

(前略)贓品を引揚げて來た、近來盜難頻出に居住民を脅かして居た大泥棒も署員不眠不休の活動に依つて檢擧せられ安堵の胸を撫下すに至つた、犯人は前科八犯連類者も多數あることゝて續々檢擧さるゝ模樣である

營口

大泥棒 逮捕せらる

去る二十七日南本街淡路政太郎氏方に忍び入りたる犯人については警察に於て極力捜査中であつたが、同日午後四時ごろ舊市街路上に於て擧動怪しき支那人を發見し尾行し來りたるに、新市街の入口、タルク會社前に差掛るや愈々擧動怪しいので直に取押へ、本署に同行取調べたるところ思ひ掛けなくも淡路氏方に忍び入りたるのみならず川野佐吉、長谷川館太郎方へ忍び入りたるものも此奴なることが判明、犯人の申立による贓品隱匿の方面に繼續活動し續々と山なす

大石橋

澤幡巡査殺しの李頭目は親の仇
檢擧されて香玉悅ぶ

本日二十一日支那官憲に引渡しを了せる馬賊頭目李洪恩の情婦香玉には悲慘なるエピソードがある、香玉の父は曾て該頭目に人質となつて慘殺されたので香玉は彼に身を任せつゝも復讐の念に燃えてゐたが纖手の能く爲すなきを涙を呑んでゐたものであるが今回檢擧されて親の仇を打つて貰へることになり非常に歡喜してゐると

伊藤社司着任

新任大石橋神社々司伊藤実雄氏は二十八日急行十一列車にて家族帶同着任、驛ホームには多數出迎へ者あり挨拶の上社務所に入る

安東

滿期除隊 本日內地へ

連山關獨立守備第四大隊の滿期兵除隊式は二十八日連山關本隊に於て執行され、安東よりは四十五名の滿期兵と同下士三名に大津中隊長以下多數參列した、尚今期安東滿期兵の安東出發は三十日午後五時三十分であるから一般市民も擧つて見送られたいと

司法官會議

安義司法官會議は三十日午前九時から安東署に於て開催される事に決定した、近來安義兩地には司法關係事件が山積して居る事とて今回の會議は安義兩地市民より期待を以て迎へられてゐるが、會議は相當永びく模樣である

親和會の献金

安東驛親和會評議員會では國債償還献金問題に對し滿鐵社員會より贊助を求めて來たので、二十六日協議會を開催した結果次の如く決議した

一、献金額は各自の任意とする

二、献金は復興債券又は無記名公債で差支ない

三、献金は各係で取纏め十二月五日迄に庶務係に通知する事

四、現金は十二月俸給から差引く事

音樂と講演會

東京中外文化協會員一行六名は今回音樂趣味普及及び正しき音樂の紹介の爲め十二月一日地方事務所社會係後援の下に安東高等女學校講堂に於て午後六時三十分より講演と蓄音音樂の實演を開催する事となつた、料金は大人金五十錢、學生小人金二十錢にて多數の聽講を歡迎すると

モグリ損ねる

二十六日午前十一時頃採木公司に風體卑しからぬ一日本人が訪れ來り、新義州中之島營林署構內に水天宮分社を建設するからとて喜捨を依頼せるが、課長不在の爲め斷り立去つた後警察に問合せたるところ許可せる事實なく警察では同日午後二時三十分頃八番通五丁目路上に於て逮捕本署に引致取調べるに、原籍長崎縣南彼杵郡下波佐見村皿山鄕一六一無職本山義美(三一)にて新義州府及び中の島在住の知名の士の名を書連ね僞造印鑑を捺したる寄附帳を所持し居り一儲けせんと企しゝ居たものである

岡見氏永眠

元南滿電氣安東支店長岡見正治氏は心臟病と痔疾に冒され本年初めより伊豫松山市小川ツギ方で專ら靜養中であつたが二十六日午後二時遂に永眠した享年五十四

平北技師更迭

平安北道技師松井猪之助氏は二十五日附を以て平安南道技師に轉任を命ぜられた、後任としては現產業技師本田武孝氏が任命されたと

咄堂氏講演會

加藤咄堂氏の講演會が廿八日午後零時半から滿鐵道場で開催された當日は警察署が恰も定期召集日に相當したので點檢訓授後全員聽講したのを初めとし多數の社員有志が參集極めて盛會であつた

家庭慰安活動

滿鐵社會係では廿九日夜遼陽座に於て社員及び家族の慰安活動寫眞會開催て其の額を決定すと

遼陽

演能大會開催 斯界權威集る

遼陽謠曲聯合會では滿鐵の後援で十二月一日午前十時から斯界の權威者森川莊吉、片桐覆作氏等廿餘名を招聘して小學校講堂內に舞臺を設け演能大會催の準備中であるが、當日は駐遼軍隊の將校及び同家族も招待慰安すと當日の能題は

△淸經(觀世)稻本勇、泉泰一郎、久津見晴一外

△鉢丸(寶生)片桐發作、森川莊吉牧野壽太郎外

△藤戶(觀世)泉泰一郎、林猛、平山武夫外

△黑塚(寶生)片桐發作、久津見晴一、平山武夫外

囃子

△枕慈童 森川千賀江、池田之業三原豐外

狂言

△鼻取相撲 土田他吉郎、岡田久太郎、瀨崎久雄

△因幡堂 松本謙三郎、龜川允俊

△棒縛 土田他吉郎、龜川允俊、瀨崎久雄

附祝言千秋樂

警察互助會

遼陽警察署では署員相互の困厄に際し融通救濟をなす目的を以て今回警察職員互助會を組織した、內容の概略は監督者一時出資卅圓巡査卅圓で新加入巡査は卅圓に達する迄毎月五圓とし、困厄救濟を要する事故發生の場合は委員會に於

開原

冬期射場 新設せらる

開原弓道部にては年と共に弓道の隆盛に向ひつゝあるが、冬季射場なく練習し能はざるを遺憾とし之れが新設につき種々評定中なりしが、本年漸く其希望を達し滿鐵俱樂部道場內に射場を新設し多季射的を練習する事となり、十二月一日午後三時より同所に於て發會式を擧行する事となつた、同好者は奮つて來會され度いと、尚同射場使用時間は每日午後四時まで日曜日は終日使用差支なき由なりと

空巢狙ひ御用

二十七日午後一時頃當地敷島街滿鐵社宅大熊味方留守宅の便所窓を破り屋內に侵入したる賊あり、夫人の歸宅に驚き逃走せるが屆出により追跡逮捕された、同人は奉天某客棧の客引曾文華(二一)と稱し當地へ來るまでに既に鐵嶺に於ても同樣滿鐵社宅某家の便所の窓を破り侵入金側懷中時計、腕卷時計、置時計現金等を窃取せる旨自狀

人事

▲中西敏憲氏(滿鐵地方課長) 廿七日朝北方から來遼同日急行で南行

▲藤田關東軍經理部長 廿七日來遼

强盜被疑者

去る十月四日掏匪大街盛隆號粮米店に三人組の强盜侵入せるが、爾來當局にては捜査中原籍山東省濰河縣解家庄住所不定王成立(二七)を被疑者として去る二十五日開原城內で渡部刑事等逮捕し取調中なるが同人は前科五犯のしたゝか者なりと

咄堂氏講演日變更

加藤咄堂氏の講演は四日夜公會堂に於て開催の豫定なりしが、旅行日程の變更不可能の爲め四日午後八時二十四分來原一泊翌五日午前八時より開原驛敎室に於て現業員諸君の爲めに講演

敗退將棋 (其二)

滿日 名家

【志澤氏一回勝二回目】

香平交左手番 落 四段 鈴木 一禎

三段 志澤 春吉

持駒 志澤氏 ナシ

【圖は六二玉迄の局面】

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
香	桂	銀	金			銀	桂	香	一
			王			飛	角		二
歩	歩	歩	金		歩		歩	歩	三
			歩	歩					四
					歩				五
									六
歩	歩	角	銀	歩	歩	歩	歩	歩	七
				飛	玉				八
	桂		金		金	銀	桂	香	九

持駒 鈴木氏 ナシ

【盤面以下指方】△三八銀▲七四歩△三九玉▲七二玉△二八玉▲八二玉△八六歩▲七二銀△一六歩▲一四歩△八五歩▲九四〇歩

【對局者の感想】志澤三段曰く七四歩は敵に位を張られると桂の捌きが重くなるので當然の運びでせう。鈴木四段曰く八六歩は敵玉頭を壓する意味で此形では飛の働きを廣くしないと損が生じます。志澤三段曰く九四歩は四二玉が順當の樣に思つたが同じ樣な結果になります。

【大崎八段講評】上手三八銀と締りしは豫定の運びなるも緩し。直ちに七五歩と突進する方自然に敵玉の形を低くし七六銀と活躍する順を作りて遙かに優れり。

コドモページ

學校劇　正しき道（中）

濱野健三郎

……間……

さきほどの少年があわてゝ飛込んで來る。

少年。（あたりをさがすやうな目つきで）あのー、こゝいらに僕の財布が落ちて居なかつた？

主人。（ニコニコして出て來る）あゝ、坊つちやん、何です？財布ですか、えーと、そんなものは落ちてゐませんでしたがねえ、おい！李、財布が落ちてゐなかつたか（默つてゐろと目でしらす）」

李。（もぢもぢしながら）……ない……。

主人。なかつたか、坊つちやん、やはり無かつたさうですよ。どこか外で落したのではありませんか。

少年。僕家に歸つてから氣がついたので、今、ずうつと道をさがして來たんだけれどなかつたんだよ。どこで落したんだらうなあ。

主人。もう一度外をさがしてごらんなさい。

少年。困つたなあ、お金が澤山入つてゐたんだが……（泣き出しさうになる）……あのう、ほんとうにこゝには落ちてゐなかつたんだね。

主人。ありませんでしたよ。若し見つかつたらあとでおとどけいたします。

（少年は力なく外に出やうとする）

李。（ためらつてゐたが決心したやうにすつくと立ち上つて）もしもし坊つちやん、一寸待つて下さい、あなたの財布ありましたよ（主人がしまつたところから財布を取り出して少年に渡しながら）これでせう。

主人。（李を恐ろしい顔でにらみながら）何？あつたのか、何故早く出さないんだ。

少年。あ、これだよ、有難う、では、さよなら（ニコニコしながら出てゆく）

主人。（少年のあとを見送つてゐたが、少年の姿が見えなくなると急に恐ろしい顔をして）馬鹿奴！、よくも主人に恥をかゝせたな、貴様のやうな奴は店に置くことは出來ない、出て行け、（李を力まかせになぐる）」

李。……（土間に倒れながら涙にうるんだ目で主人を見上げる）

主人。えーッ、何をぐづぐづしてゐるか、早く出て行け。

「（李は首をうなだれながらトボトボと外に出て行く）」

冬の理科　霧のかゝるのはどんなわけ

はるみち

一郎。あゝ、ひどい煙だ、お父さん、向ふが見えない位に煙で一ぱいですよ。

父。煙ぢやない、あれは霧だよ。

一郎。あれが霧ですか、僕は煙突から出た煙が一ぱいたまつてゐるんだと思つた。今日はお天氣がよかつたら西公園に寫生に行くことになつてゐたんだが、こんなお天氣では駄目だな。

父。今日はいゝお天氣だよ。

一郎。だつてこんなに霧がかゝつてゐるぢやありませんか。

父。なあに、もうしばらくするとこの霧はすつかり霽てしまうさ。

一郎。どうしてそんなことがわかるんです。

父。陸上で霧のかゝるのはお天氣のよい日に限つてゐる。

一郎。ふしぎですね、お父さん霧はどうして出來るんですか。

父。それは霜ができる時と同じやうに、水蒸氣をたくさん含んだ空氣が溫度の下つた地面に冷された時にできるのだ。

一郎。さうすると霧は水蒸氣なんですね。

父。水蒸氣ではない、水蒸氣がこまかい水滴になつて空中に浮んでゐるのだ。

一郎。では雲と同じやうなものですね。

父。さうださうだ、つまり地面に近いところに出來た雲が霧なのだ

一郎。霧は太陽が出るとどうして消えてしまふのですか。

父。それは太陽の熱によつて地面が暖められ、それと一しよに今まで水滴になつてゐたのが再びもとの水蒸氣になるからだ。

一郎。日中に霧がかゝることがありますか。

父。あるとも、それは、地上の空氣が非常に冷てゐるところへ水蒸氣を多量に含んだ空氣が送られて來るやうな場合だ。

一郎。海にも霧がかゝりますか。

父。海の霧は陸の霧よりももつとひどい。航海をする者に取つて最も恐ろしいのは海上の濃霧だ船員は霧のことをガスと言つてゐるが、此のガスがかゝると一間先も見えなくなるので船はめくら同様だ。盲人ならば杖をたよりにあるくが汽船は他の船と衝突するのを避けるために汽笛を鳴らしながらそろそろと進んでゆくのだ。

一郎。さうさう、このまへバイカル丸が朝鮮沖で暗礁にぶつかつたのも霧のためでしたね。……では、海の上に霧のかゝるのはどんなわけですか

父。それはいろいろの場合があるが、大ていは水蒸氣をたくさん含んだ暖かい空氣が冷たい空氣のあるところに流れて來たり寒流だとか、流氷などに出遭つた場合急に霧が出て來るのだ

一郎。お風呂の中に入つてゐるやうな時窓をあけたりすると急に湯氣が一ぱい出來るのと同じですね

父。さうださう

ニドメノ　大チャンノタンケン（151）

ハルミチ作　ジラウ畫

「オヤア！　マタ　アンナトコロニ　アタマヲ　ダシタナ、オヂサン、コンドハ　モグツテオツカケテ　ミマセウ」「ソレハ　イイ　カンガヘダ」フタリ　ハ　ミヅ　ニ　モグル　ジユンビ　ヲ　シマシタ。

大チヤン　ハ　ボンヤリシテヰル　ダラス　ヤ　ブル　ヲ　センシツニ　ハイラセ　ジブンタチモ　シタニ　オリテ　イリグチ　ノ　トヲ　ミヅ　ノ　ハイラナイヤウニ　シツカリ　トヂテ　シマヒマシタ。

オヂサン　ガ　キカイ　ニテヲカケルト　センスキテイ　ハマタタクウチニ　ミヅ　ノ　ナカ　ニ　モグツテ　シマヒマシタ。ダラス　ハ　ビツクリシテメ　ヲ　パチパチ　サセテ　キマス。

兒童の作品

足のきづ

龍岳城小學校　尋三　森川浩吉

僕は十一日くらゐ前に左の足をすりむいて血を出しました。それがどうしたものか、うみ出しました

二日ばかりはいたくてたまりませんでした。朝學校へ行く時、くすりをつけてゆくのに一しゆうかんたつてもなほりません。ふろにはいつて、うんでゐるそばのきたないところをきれいにしてもなかなかなほりません。ある日おかあさんにきくと「からだをあらひましたら、おかあさんの言れたとほりなほりましたらだに、どくがまはつてゐるのでせう」といはれました。右の足を見ると、すこしうんでゐました「やつぱり、からだにどくがはまつてゐるのだ、右の足も左の足もきずをするとすぐとうむから」と思ひました。おかあさんにきくと「からだをきれいにしてよく、くすりをつけたら早くなほります」といはれたので僕は、さうしようと思ひました。それから、おんせんのふろへ行つて、きれいにからだをあらひましたら、おかあさんの言れたとほりなほりました

短歌

神明高女二年生作品　金子幸枝

×

ちさければ浪に遊らふすべ知らず行きつかへりつ小蝶よあはれ

×

浪きたり消してはかへる砂もじの渚に今日もたはむれにける

×

星ケ浦なみまに月のさゆらぐを我はなぎさに浪とたはむる

×

玄關の鉢にさかりの夾竹桃友の便りをふと封じこむ

×

ぬば玉の闇に今宵も秋をきく、晋して散し白き落葉に

×

名山の霧りなるらし、紅き葉の肩にさげしをしと思へり

濟田美穗

×

我が友をのせた汽船が尾を引いて去りしあとには唯かもめ飛ぶ

×

夕燒けを埃とゝもに背にあびて馬鐵の馭者はむちを振りゆく

市橋ツル子

×

泳ぎ得ぬ我は寂しくこしかけぬ暑きプールの石の上かな

新年兒童讀物　……懸賞募集……

一、童話　尋常三四年程度、一回十五字詰七十行內外三回完了のもの

二、童謠

締切　十二月五日限り

發送先　滿洲日報社編輯局

但し「懸賞兒童讀物」と朱書のこと

◇賞金

童話　一等三十圓、二等二十圓、三等十圓

童謠　一等十圓、二等五圓、三等三圓

【注意】

▽童話の應募はどなたでも差支へありません

▽童謠の應募は小學生に限る

▽童話、童謠共に滿洲の色彩の豐かな內容の明るい無邪氣なもの

▽字體は明瞭に書くこと

▽一人で何篇應募してもかまひません

▽原稿の末尾には必ず住所姓名を明記して下さい、紙上匿名は差支なし

▽童謠は自分の學校名と學年を書き添へて下さい

洋上に浮ぶ飛行機の着陸場

米國では大西洋の眞只中に飛行機の途中着陸場をつくることになり先づ此の寫眞のやうな模型をこしらへて實驗をしましたが大成功でした

北崗子の新埋立地に大操車場を建設
貨物輸送の長大列車のために
四十萬圓を投じて

滿鐵では貨物輸送の能率増加から一列車六十輛以上の長大列車運轉を開始した關係上、各驛の有效長を延長したが、埠頭構內への廻へには吾妻橋操車場が三十五六輛をへるゝに過ぎぬため南關嶺驛にて列車の編成替を餘儀されるの狀態である、これは列車運行上非常な經費を要することで滿鐵では操車場新設の計畫があるが、北崗子海岸より小崗子海岸に至る埋立地も大體に完成したので來年度豫算に四十萬圓餘を計上し愈々該埋立地に大操車場の建設をなすことゝなつた、完成期は來年十一月頃にならうがその完成の上は貨物列車全部を沙河口驛より同操車場に廻入し北大山通電車終點海岸から現用度事務所內をぬけ濱町から埠頭構內へ通ずることになる模樣である、操車場より埠頭構內間の線路は取敢ず二本(複線)とし漸次增設することゝならうが、同工事のため用度事務所倉庫及び濱町滿鐵宿舍の一部分を取毀されることになる而して吾妻橋操車場は現能力の半減に止める模樣である、從つて貨物列車の往復は全部大連驛を通過せず北大山通海岸廻りに變更されることになると

無殘に蹴られた貧書生の熱烈な戀
コウして永井長春領事の結婚は延びてゐた

【長春特電二十九日發】一時映畫界の人氣女優であつた高島愛子孃と永井長春領事との婚約問題に對し意外にも高島孃の父から四十七歲の今日まで永井氏が獨身でゐた理由が判明しなければ娘はやれないと飛んだ苦情が出でその成りゆきは注目されてゐるが、永井氏が今日まで家庭を持たずに不自由な生活を忍んで來たのには痛ましい物語がある。

◇……◇

それは氏が學窓を出でゝ外交官の試驗を受やうと準備してゐた血氣盛りの青年時代にさかのぼる氏が敎へを受た某大學敎授の家庭へ接近するうち敎授の愛娘に熱烈な戀を捧げた、然し大學出の秀才なら娘をやらうといふ時代であつたから外交官の試驗を受かつてゐない貧書生この結婚には敎授の父はあまり氣のりがしなかつた、そして折角咲いた花も無殘に蹴られてしまつた

◇……◇

眞正直なそして飾りけのない性格を持つた永井氏は二十年前のことではあるが、自分にとつてはこの生々しい記憶を抱いて五十近い今日まで獨身生活を續けて來たのだといふ「その時一生結婚はしまいと決心したので」と永井氏は云つてゐた、爾來永井氏は芬蘭、浦鹽、滿洲、外交官の帑として轉々として席の暖まる時もなかつたから新しい戀の芽生へる機會もなかつたらしい、その永井氏が今度二十年間の固い決心を翻へして家庭の人とならうと決心したのは氏としては隨分愼重に考へたことであらう。

癌研究に御下賜金

【東京二十八日發電】畏き邊りにては癌研究の補助に二十八日癌研究會に對し金一萬圓を御下賜の御沙汰あり同日午前十一時會長長與博士宮內省に出頭拜受した

音樂學校記念式
開校五十周年を迎へ

【東京二十八日發電】開校五十周年を迎へた上野東京音樂學校では二十八日秩父宮殿下を始め一二宮殿下の台臨を仰ぎ午前九時半より同校音樂堂に於いて盛大なる記念式を擧行した、式後演奏會に移り能樂長唄等の日本樂を終り正午より記念午餐會を開き午後二時半より洋樂の演奏をなし聽衆を魅了し四時終了したが、各宮殿下には終始御熱心に御傾聽遊ばされ閉會と共に夫れぐ御還啓遊ばされた

冬を青々と——電氣遊園の溫室

外遊に先だつて藤原義江氏のお目見得
獨伊の大物に日本民謠を織交ぜ
素晴しき彼の美聲

この春歐洲より歸朝の途次大連を訪れてあの豐富な甘美な肉聲をもつて義江ファンを陶然たる恍惚境に誘ひ憎いほどの好評を殘して內地へ立つたテナー藤原義江は、今回六度目の外遊に先だち來月四日入港のほんこん丸で下の關から來連、五日午後六時半から**協和會館**に於て本社の主催で獨唱會を催すことゝなつた、歸朝後病を得て一時靜養してゐたが退院後天性の美聲はますぐ冴へて細かくよくなり、深さと幅が加はりそのテクニックも完全に洗練されてきた、彼は二月早々渡米してトーキーに這入ることになつてゐるが今度來連して唱ふ曲目は獨伊等の大物に日本民謠の輕い甘いもの、それに滿洲のローカルカラーの多分に出た**滿洲小唄**民謠の類を織交ぜて唄ふことになつてゐる、この內でも特に今度の呼物は「佐渡おけさ」である、これはヴイクター會社がこの民謠を世界的にするために彼に囑し本月五日に東京で吹込んで原板をアメリカに送つたもので切々たる哀調を帶びた唄は聽者を魅了せずにはおかぬであらう

彼の甘い美しい男性的の魅力に富んだ聲、黒い濃い眉、痩せ形ではあるがジョン、ギルバートを思はせるやうな凜とした顏、これ等を綜合して**ステージ**に立つたあのスマートな姿は新らしい男女のファンがわれ等のテナーとして騷ぐのも無理はない、來月の五日の宵テナー義江を迎へる協和會館は幾多の藤原讃仰者を引きつけることであらう(寫眞は藤原義江氏)

山林疑獄發展
大臺林業の重役を留置

【東京廿八日發電】樺太山林疑獄事件の取調より二十七日端なくも名古屋市中區正木町大臺林業會社重役西村友三、永谷孝三の兩氏警視廳に留置されたが、事件は金澤檢事主任となり徹底的に摘發さるゝことゝなつた、これに依り幾多疑獄事件に關係ありと喧傳され其の度に逃れてゐた前政府の大官が愈々召喚される模樣である

元來大臺林業は樺太山林の拂下げ一手引受會社で機會を捉へては政府當路に贈賄行爲を爲し拂下確定するや其の權利を亘頭にて他の會社へ轉賣し巨利を占めてゐたので今回疑獄の中心は約八百萬石の木材拂下につき前の政府筋に二十萬圓を撒いたと云ふに在る

警察署長が組合員を田樂刺
秋田縣下の小作爭議

【秋田二十八日發電】小作爭議中の前田村に於て二十七日爭議團と地主側と石合戰の際組合側の工藤兼松(三七)が臀部を田樂刺しに刺され重傷を負ふたが、右加害者につき取調べ中の處本日に至り加害者は米內澤警察署長千葉淸治が自らやつた事と判明したので縣警察部では大いに狼狽し善後策につき目下協議中である

持久戰
小作人の要求を地主側拒絶

【秋田二十八日發電】前田村の小作爭議は爭議團員五十名が立て籠つてゐる爭議團本部を警官隊二百餘名及び消防組自警團員百餘名が遠卷きにし對峙し睨み合つてゐるが二十七日小作人側の要求を地主が拒絶した爲め松浦縣特高課長は警官消防夫七十名護衞の下に二十八日午後一時爭議團本部に乘り込み爭議團幹部と會見し地主側の拒絶を傳達し一方爭議團員は各地よりの應援隊に益々結束を固め目的の貫徹を誓ひ日本大衆黨本部よりは軍資金を送つて來た外幹部の來援する事に決定した斯くて爭議は愈々持久戰に入るものと見られてゐる

漸く解決の緒に
秋田前田村の小作爭議
互讓的態度に出で

【秋田二十九日發電】前田村の小作爭議につき宮脇警務課長等は二十八日午後四時爭議團幹部と會見談の結果、爭議團側も事態の惡化に鑑みこれ以上世間を騷がせ犧牲者を出す事があつては遺憾であるとなし互讓の態度で解決したいと申合せ、幹部三名は自發的に自首して出る事となり、解決具體案を手交すると共に米內澤署に出頭した、かくてさしも世間の視聽を集めた前田村小作爭議も漸く解決の域に達せんとしてゐる

瓦斯槽爆發三名卽死
靜岡縣の慘事

【靜岡廿九日發電】靜岡縣駿東郡泉村字平松五三三番地東海道線裾野驛前近藤製藥所有工業所の酸素瓦斯タンクが廿八日午後二時ごろ一大音響と共に爆發、作業中の職工三名卽死し他に數名の重輕傷者を出し同工場は數間吹き飛ばされて慘狀を呈してゐる、原因目下取調中

夕張でも大火
百五十戸燒く

【札幌廿九日發電】今朝四時夕張本町二丁目より出火百五十戸を烏有に歸して五時鎭火した原因調査中

怪文書事件の恐喝犯人求刑

【東京廿八日發電】宮內省北海道御料地拂下げ十五銀行問題等に關し怪文書を出して恐喝を働いた北一輝等に係る恐喝詐欺行爲取締違反は東京地方裁判所に審理中の處二十八日午後二時病氣のため審理分離の北一輝を除く左記四名に夫々求刑があつた

懲役二年　立川靜雄
同　八月　西田正道
同　六月　橘政明
同　六月　關屋織之助

尙判決言ひ渡しは十二月初めの筈

伊豆伊東の大火
百卅戸を燒失、七名燒死

【熱海二十九日發電】二十九日午前二時伊豆伊東東海自動車會社より發火、濱町附近一帶に燃え擴がり午前五時半漸く鎭火した、燒失戸數七十七戸百四十四棟、損害百五十萬圓、保險高百萬圓の見込みである、燒失個所は伊東一の目貫の町で出火當時は風速十二三米の烈風あり見る見る間に三町餘を燒き盡し溫泉旅館、大阪屋、歸屋等五軒、駿河銀行支店等燒失し、伊東館を半燒にした、この騷ぎに湯治客外一名の燒死者を出した、負傷者多數ある見込みで伊東町では緊急町會を開き救援に努めてゐる火元の東海自動車では自動車三十三臺燒失し附近の自動車を集めて運轉を續けてゐる

石炭の百斤賣り愈よ始める
滿鐵の承諾によつて
市社會館宿泊者の救濟に

大連市社會館では宿泊人救濟の意味で下層階級需要者のために噸値段と同じ割合で石炭の百斤賣を開始すべくそれぞれ關係方面に交渉中であつたが、滿鐵では社會館が商業機關でないので特に便宜を與へ

十噸を限度とし普通卸値段で供給することを承諾した、それで社會館では近く百斤賣の需要に應じ配給を始むることゝなつた、右につき滿鐵小川販賣課長は次の如く語る

滿鐵が地帯炭の一部値下をやつたわけでは決してありません、右の樣な要望は從來も幾度か受けてゐますし各種の

理由でそんな要求を受けますが一個の商業機關として一々それに滿足される樣なことも出來兼ねます、勿論それは社會政策的のものも全部否定するといふのではなく、それには別途に適當な施設方法を講ずべきで今迄やつて來て居り金も出して居るのです、たゞ今回は販賣店側に特に滿鐵から命令して殆んど實費で五十噸、百噸の需要者も一、二噸の小口需要者も同値で右の

行商者に卸す樣にした丈です、從つて今後百斤買位の小口需要者としては噸當切込炭十四圓五十五錢、塊炭十六圓五十五錢見當(持込)の割合で買へるわけで從來割高であつた丈け廉くなることゝなるでせう

香爐礁に四人組强盜
廿八日九時頃

二十八日午後八時四十分頃香爐礁四區百五十七番地郭田淸方に四人組の支那人强盜侵入し拳銃樣のものを突きつけて家人を脅迫し金票二十圓小洋二十圓を强奪逃亡した急報に接した小崗子署では現場に急行し犯人嚴探中である

ゴルフ納會

滿鐵ゴルフ倶樂部では來る十二月一日星ヶ浦リンクに於て本年最終のゴルフ大會を開催することゝなつたが、優勝者には一等より三等までの賞品を授與すると、尙本年のゴルフ戰で入賞せず且つ當日の賞にもあづからなかつた者に對してはその日の成績順によつて一、二、三等までの賞品を授與することになつた

豚の迷ひ子

去る廿日ごろ沙河口公學堂校庭へ大豚一匹迷ひ込み同校にて引捕へて飼主の來るのを待つて居つたが遂に判明しないので廿八日午後二時ごろ同公學堂では沙河口署へ拾得物として屆出でたが同署でも始末にもてあまし遂に換貨處分に附すべく問屋を集めて競賣を行つたところ廿一圓で落札した

圖太い運轉手

二十八日午後四時二十分市內沙河口大正通六五營用タクシー運轉手岡村誠(二一)自動車は市內薩摩町三番地十字街路において市內淺間町王萬堂方倪寶福(三九)の荷馬車と衝突し操馬を傷けたが、其際岡村は營用タクシーのマークをとり自動車後尾の番號を裏返して逃走せんとせるを警官に發見され二十九日午後大連署に呼出され大叱られた

けふのラヂオ

昭和四年十一月三十日(土曜日)

自午前十一時　相場(特產、錢鈔、株式、各地相場)
自午後零時三十分　相場(特產、錢鈔、各地相場)ニュース
自午後三時三十分　相場(特產、錢鈔、株式、各地相場)ニュース

一、ニュース
二、(童謠)一、合唱「石炭くべませう」常盤小學校五六年女生徒二、獨唱「咲いた櫻」同鈴木ヨシヱ三、合唱「蝸へ形」同五年女生徒四、獨唱「夕の鐘」同栗山從子伴奏久原榮次郎
三、宗教講座(人生を旅するもの)ホーリネス教會吉津好雄
四、ハーモニカ獨奏「一、トラバーレ拔粹二、東洋の薔薇三、ポルチイシの啞娘」鈴木醛
五、三曲(まゝの川)三味線富森大檢校、胡弓高木夫人、琴宮森よしゑ、尺八菅井一薫
六、ラヂオドラマ「敗殘の男二人」田代賢二
七、料理獻立
八、天氣豫報
九、ラヂオ體操

夫正治儀永々病氣中の處養生不相叶二十六日松山市に於て死去仕候間此段生前辱知諸彥に謹告仕候也

十一月三十日

妻　岡見政子
嗣子　正靖

愛慾の窓（173）

戸川貞雄作
淺枝次朗畫

犠牲（三）

英輔が、存外容易く打明けてくれたことも、倭文子にとつては思ひ掛けない歡びであつた。それにしても、焼き棄てたといふのは嘘で、隠して持つてゐるにちがひないと云つた美知子の眼の好さが、今更のやうに顧みられる。

──さうだわ、あの方も大さう心配して、弟さんにまで骨を折らせてゐるんだから、一ずお知らせして上げやうかしら？

倭文子はさう思つてペンを取上げたが、しかし今から手紙でもあるまいと思ひ返して、躊躇してゐる自分に氣付くと、ふつと可笑しくなつた。

──が、これが躊躇しないでゐられる事柄だらうか！

この上は英輔の手からどんな犠牲に代へてでも、遺書を取戻せばいゝのだと、倭文子は雀躍りせんばかりに思つた。

するとやがて英輔から電話がかゝつて來た。ステーション・ホテルからだつた。

「……倭文子だね？まだ起きてゐるんだね？、どうだ、若し來られたらこゝへ來てみないか、先刻の話、片を附けようぢやないか」

英輔はさう彼女に語りかけた。

「……でも、あなたのお歸りをお待ちしてゐますわ！まだそちらの御用はおすみにならないの？」

倭文子はいつになく優しい調子で應じた。

「はゝゝゝ。現金だね、自分にいゝ話だと聞くと、急に態度が變つたな……」と英輔の少し醉を帶びてゐるらしい聲が受話機の底からひゞいた「……こちらの用はまだ片附かないんだが、こゝ一時間ばかり暇が出來たのだ、その暇にお前に會つて先刻の用件をすましたいと思ひついたんだよ」

「……では、直ぐ支度してお伺ひしますわ！」

「待つてゐるよ、ステーション・ホテルだよ……小森と云つても分からんよ、森だ、森と云つて訪ねておいで」

電話は切れた。

倭文子は、まだ鎭まりきらぬ亢奮のまゝに、支度もそこ／＼に自動車を呼んだ。一氣に片附いてゆくやうな豫感がした胸がわく／＼した。彼女は自動車のなかでもひそかに黒天鵞絨のコートの胸に掌を合せて、目に見えぬものに向つて感謝の祈りを捧げた。

ホテルの三階の奥まつた一室で英輔は彼女を待つてゐた。古風な大ストーヴには、赤々と火が燃えてゐた。そして圓い卓子の上にはキング・オブ・キングスの陶器の壜が置かれ、グラスには琥珀色の液體が波々と滿たされてゐる。

──もう來さうなもんだな。

英輔は、腕時計を覗く。それから手を伸ばして、グラスを取上げる。そして何杯目かのウヰスキイで唇を濡らすのである。

ほと／＼とノックの音。

「……おはいり！」

英輔はウヰスキイで濡れた唇に手帛を宛ながら、優しい聲で應じた。

扉が明いた。そして倭文子の姿が現れた。黒い天鵞絨のコートに手には黒貂の毛皮のショール、手袋も黒い絹だ。彼女の好な喪にゐる婦人の黒い裝ひで、それ故一さう襟や額が白く大理石のやうに映えて見える。

扉口のところで、英輔の方に背を向けて、倭文子はさら／＼とコートを脱いだ。

「……よく來てくれたね、さ、こゝへお掛け、火の傍がいゝ」

英輔は皮の椅子から腰を擧げて手で彼女を招じた。

「……御用はどうでしたの？」

倭文子は氣懸りらしく訊ねた。

「……先づ決裂だよ、鑛山の方は人手に渡すことになるかも知れん」

英輔は煙草を啣へた。

「はゝ、しかしそんな話はお前に用がなかつたね」

重苦しい吐息とともに彼は云つた

「……しかしだ、よく聞いてくれ　繼父の遺書をお前に渡すことゝ、小森家の事業とは、決して無關係ではないんだ」

新刊紹介

▲協和（第三巻第二十號）大孤山殉職者の追悼號である（定價金二十錢、大連滿鐵本社、滿鐵社員會發行）

▲會報（第十四號）定價金十五錢　大連市浪速町一四六滿洲輸入組合聯合會發行

▲電氣之友（第七一九號）定價金四十五錢、東京市京橋區南金六町五番地電氣之友社發行

▲世界美術全集（第十一卷）ローマネスク、五代及北宋高麗時代、藤原時代の逸品約百四十を集む（非賣品、東京市麹町區下六番町一〇平凡社發行）

▲南滿洲警察協會雜誌（十一月號）定價金四十錢、旅順關東廳警務局内南滿洲警察協會發行

▲マルクス主義財政時に租稅論（四方田敬郎氏編譯）マルクス、レーニン、バルガ、ノイパウエル、クニーク、レンッ諸の論文を集む（定價金八十錢、東京市麹町區四番町九番地叢文閣發行）

▲中央佛教（第十三卷第十一號）秋野老師遷化持寺後繼推選號で東本願寺の傷害事件等の記事もあり（定價金三十五錢、東京市牛込區矢來町五七中央佛教社發行）

▲短唱（十一月號）定價金三十錢、東京市芝區若松町一八短唱社發行

▲拓殖公論（十一月號）定價金三十錢、東京市麻布區六本木町四五、拓殖公論社發行

▲我等（十一月號）如是閑の社會議と國家戰其他（定價金三十錢、東京市中野町上ノ原九三七我等社發行）

▲菊寬全集（第八卷）明詐謡と新女性鑑とを收む、何れも曾つて天下の子女を熱狂せしめた作品（豫約品、東京市麹町區下六番町一〇平凡社發行）

▲少年倶樂部（十二月號）少年講談、大洋に迷ふ、家なき兒の日記、眞田幸村、苦心の學友、河童異形變、山獄‥奇談其他多數の面白き讀物あり且つ大演習遊戯と云ふ附録あり（定價金五十錢、東京市本郷駒込坂下町四八、大日本雄辯會講談社發行）

▲向上の少女（十二月號）花ものがたり、渦巻く河、路傍の花等（定價金二十錢、東京市神田區一ツ橋通廿一帝國文化協會發行）

絶對手術をせずに治る 蓄膿症療法

─皇漢藥學の齎せる一大發見─

日常生活の狀態から生まれる病氣は色々あるが、最近の統計上最も急に增加しつゝあるものは鼻の病氣である。現代人の中でも特に日常机に向つて事務を執る人乃至勉强に耽る人などは一日顏面を俯向けてゐる關係から鼻の疾患に罹り易いと稱されてゐる。そしてその鼻の病と稱するもの大多數は鼻茸と蓄膿症である。この二つは何れも鼻病中最も性質の惡いもので專門家の診察を乞へば十中の八九までは切つて取るとか孔を開けて膿を吸出さうとかいはれるのである。神經性の人などにあつてはこの手術のために貧血を起して卒倒したり失神したりすることは珍しくないのである。

低能となる病氣

たゞそればかりでなくこれらの病氣に罹ると腦に故障を惹起するために色々な不快な症狀を現はし甚だしくなると神經衰弱ヒステリーとなつて明快な頭腦が何時ともなく低能兩呆に近くなるの懼があるから捨て置くと一大事である。中でも蓄膿症は鼻の兩側の骨の間に化膿がたまり鼻をかむとその膿が鼻汁と一緒に出て一種異樣の惡臭を發し全身は何となく不快になつて仕事などに一向能率が上がらなくなるといふ特徴がある。この療治には是非とも長い錐に似た器械を鼻孔から挿入して患部まで突き刺すのである、この手術を嫌ふためにどれ程多くの人が躊躇して病氣を重くするか知れないのである。實際これらの病氣に對して内服藥の有効なものが出現したら如何に患者に取つて大きな恩惠であるか知れないと云はれてゐた。

チクノール錠は我國唯一の耳鼻疾患内服藥にて左の諸症を内部的に消退、治癒させる特殊の卓効を有するものです。【適應症】─蓄膿症、肥厚性鼻炎、鼻汁過多、鼻加答兒、中耳炎、外聽道癤腫、耳だれ、頭重等、定價は四十八錠入金貳圓、九十六錠入金參圓五拾錢、百九十二錠入金六圓である。尚本劑は全國各地の著名藥局藥店にて販賣せられてゐるが萬一品切れの場合は發賣元東京日本橋區瀬戸物町一〇玉置合名會社（振替東京七二番）へ直接注文すれば直に送藥する由。又端書に此新聞名を記入して發賣元へ申込めば鼻病に就ての美麗な說明書を誰にでも無代で送呈する筈

特殊植物の藥効

所が皮膚の表面にできる種々の化膿性腫瘍に對しては既に内服藥で化膿を分解し痛くも痒くもなく治す藥が發見されて多くの人を救つてゐるのであつて獨り鼻病にのみその恩惠が及ばないといふのは遺憾千萬なことゝ云はなくてはならぬ譯であるといふので最近この方面の研究が盛んになつた結果面白い實驗が報告された。それは支那の參科、漆樹科、藥科、蓼科等の植物中のあるものゝ成分を抽出したものから合成された新成分を内服すると前に述べた症狀に治つて化膿菌や膿栓が體内で分解されて死滅しさしも頑惡な蓄膿症や鼻茸が何時ともなく忘れた樣に治つて仕舞ふといふ事實である。これは實に耳鼻科の治療に一大光明を投げたもので其の恩惠の及ぶ廣さは測り知るべからざるものがあるのである。しかも其後續けられた研究によると此の新成分は實に鼻加答兒、臭鼻症、肥厚性鼻炎等をはじめとして前記の蓄膿症、鼻茸、アデノイド、中耳炎など、耳鼻疾患のすべてに特殊の藥効をもつことを認められたのである。

迅速な分解作用

そこで、これらの成分からあらゆる副作用を除去して完全な内服藥たらしめるために研究し一般に提供されることになつた、チクノール錠がそれで現在に於ては全く我國唯一の特殊藥として各方面に賞用されてゐる。此藥を服用すると非常な勢ひで體内の白血球（つまり病菌を喰ひ殺す作用を營む血球）が增加し新陳代謝が旺盛となり、平生から腦の工合の惡い人などは頭がハツキリした感じを伴ふものである。そしてその病菌分解作用は迅速且つ正確で大抵の人は服用後間もなく便通が緩和となり快よい程度の輕い下痢を起すものである。これがこの藥の作用をよく證明するもので、この時から既に着々として病症が減退を始めるのである、兎に角患者は一度試みる價値があると思ふ。